# CDR-HD1500

HDD/CDレコーダー

ヤマハHDD/CDレコーダーCDR-HD1500をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。本機の優れた性能を充分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に保管してください。

## 保証書をご確認ください

保証書に販売店名、購入日などが記入されておりませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがあります。

# 取扱説明書

# 安全上のご注意(安全に正しくお使いいただくために)

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

**この「安全上のご注意」に書かれている内容には、お客様が購入された製品に含まれないものも記載されています。**

**絵表示の例**

気をつけなければならない内容を表しています。
たとえば⚠は「感電注意」を示しています。

してはいけない行為を表しています。
たとえば🛇は「分解禁止」を示しています。

必ずしなければならない行為を表しています。
たとえば●は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

プラグを抜く

**下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。**

- 異常なにおいや音がする。
- 煙が出る。
- 内部に水や異物が混入した。

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

禁止

**電源コードを傷つけない。**

- 重いものを上に載せない。
- ステープルで止めない。
- 加工をしない。
- 熱器具には近づけない。
- 無理な力を加えない。

芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

水ぬれ禁止

**本機を下記の場所には設置しない。**

- 浴室･台所･海岸･水辺
- 加湿器を過度にきかせた部屋
- 雨や雪、水がかかるところ

水滴の混入により火災や感電の原因となります。

接触禁止

**雷がなりはじめたら電源プラグには触れない。**

感電の原因となります。

分解禁止

**分解･改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。**

火災や感電の原因となります。
修理･調整は販売店にご依頼ください。

禁止

**放熱のため本機を設置する際には:**

- 布やテーブルクロスをかけない。
- じゅうたん･カーペットの上には設置しない。
- あおむけや横倒しには設置しない。
- 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。

(少なくとも本機の左右20cm、上30cm、背面10cm以上離して設置してください。)

本機の内部に熱がこもり火災の原因となります。

禁止

**電池を充電しない。**

電池の破裂や液もれにより火災やけがの原因となります。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

禁止

**電池からもれ出た液には直接触れない。**

液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。

必ず行う

**本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検を依頼してください。**

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

必ず行う

**必ずAC100V(50/60Hz)の電源電圧で使用する。**

それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

必ず行う

**電源プラグのゴミやほこりは定期的にとり除く。**

ほこりがたまったまま使用を続けるとプラグがショートして火災や感電の原因となります。

禁止

**CDの挿入口や、背面にある放熱用の通風孔にものを入れたり、落としたりしない。**

火災や感電の原因となります。

禁止

**本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。**

- 水や異物が中に入ると、火災や感電の原因となります。
- 接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因となります。

# 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容
および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

禁止

**不安定な場所や振動する場所には設置しない。**

本機が落下や転倒してけがの原因となることがあります。

禁止

**直射日光のあたる場所や温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）には設置しない。**

本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因となることがあります。

必ず行う

**電源を入れる前や再生を始める前には、アンプの音量（ボリューム）を最小にする。**

突然大きな音が出て聴力障害等の原因となることがあります。

プラグを抜く

**長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。**

火災や感電の原因となることがあります。

接触禁止

**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。**

感電の原因となることがあります。

禁止

**電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。**

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

プラグを抜く

**移動をするときには電源スイッチを切り、すべての接続をはずす。**

- 接続機器が落下や転倒してけがの原因となることがあります。
- コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。

禁止

**長時間音が歪んだ状態で使用しない。**

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

**大きな音で長時間ヘッドホンを使用しない。**

聴力障害の原因となることがあります。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

必ず行う

**電池は極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に従って、正しく入れる。**
間違えると破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。

禁止

**指定以外の電池は使用しない。また種類の異なる電池や新しい電池と古い電池をいっしょに混ぜて使用しない。**
破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。

禁止

**電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。**
電池がショートし破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。

禁止

**電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。**
破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。

禁止

**ほこりや湿気の多い場所に設置しない。**
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となることがあります。

プラグを抜く

**手入れをするときには、必ず電源プラグを抜いて行う。**
感電の原因となることがあります。

注意

**本機はデジタル信号を扱います。ほかの電気製品に障害をあたえるおそれがあります。**
それらの製品とはできるだけ離して設置してください。

禁止

**CDの挿入口には手を入れない。**
本機のメカニズムに手を引き込まれ、けがの原因となることがあります。

必ず行う

**電源プラグはコンセントに根もとまで確実に差し込む。**
差し込みが不充分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因となることがあります。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

禁止

**電源プラグを差し込んだときゆるみがあるコンセントは使用しない。**

感電や発熱・火災の原因となることがあります。

禁止

**ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したCDは、使用しない。**

CDは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

注意

**環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。**

正常に動作しないときには、電源を入れずにしばらく放置してください。

禁止

**薬物厳禁**
**ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。**

外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

注意

**年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご依頼ください。**

ほこりがたまったまま使用を続けると、火災や故障の原因となることがあります。

禁止

**レーザー光源をのぞき込まない。**

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

**デジタルオーディオインターフェース規格は民生用と業務用では異なります。本機は民生用のデジタルオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続は、本機の故障の原因となるばかりでなくスピーカーをいためる原因となることがあります。**

# 本機で使用できるディスクについて

## ■ 本機で録音できるディスクについて

本機の性能を十分生かすために、信頼できるCD-RまたはCD-RWをご使用ください。
本機で録音する場合、下記のマークが付いたディスクを必ずご使用ください。

FOR CONSUMER
FOR CONSUMER USE
FOR MUSIC USE ONLY

## ■ 録音用ディスクについて

・CD-Rディスクは一度のみ録音が可能で、録音したデータの消去はできません。
・CD-RWディスクは録音、データの消去、新たな録音が繰り返し可能です。

## ■ 本機で録音できないディスクについて

・上記のマーク/表示が付いていないディスク
・パソコン用のデータを記録するためのディスク
・「FOR PROFESSIONAL USE ONLY」と表示のあるプロフェッショナル用のディスク

## ■ 79分のCD-Rについて

市販されているCD-Rのパッケージに「80」という表示があるディスクの実際の録音時間は79分57秒です。本書ではパッケージに「80」の表示があるCD-Rを「79分のCD-R」と表現しています。

## ■ CD-R/CD-RWのファイナライズについて

CD-Rを一般のCDプレーヤーで再生したり、CD-RWをCD-RW対応プレーヤーで再生するためには、ファイナライズが必要です。ファイナライズすると、TOC(Table of Contents)がディスクに書き込まれます。

### ファイナライズ済みのCD-R

・一般のCDプレーヤーで再生することができます。
・曲を追加して録音することはできません。
・ファイナライズ済みのCD-Rでも、CDプレーヤーによっては再生できない場合があります。

### ファイナライズ済みのCD-RW

・一般のCDプレーヤーでは再生ができません。本機のような、CD-RW対応プレーヤーでのみ再生が可能です。
・録音した曲を消去したり、TOCを消去すれば追加録音も可能です。

## ■ データ消失などの責任について

本機の使用に伴い、HDD、CD-RまたはCD-RWに書き込んだデータの消失、破損などお客様に生じた逸失利益、特別な事情から生じた損害(損害発生につき弊社が予見、または予見し得た場合を含みます)および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害については、一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社で記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

## ■ 本機で再生できるディスクについて

前記のマーク/表示がついたCD-RおよびCD-RW、音楽CD規格に準拠して作成されたCD-RおよびCD-RW、または下記のマークがついた市販のCDをご使用ください。CD規格に準拠しない特殊なディスクを使用すると、正常に作動しない場合があります。

## ■ コピーコントロールCDについて

現在発売されているコピーコントロールCDは、現CD規格に合致しない特殊なディスクであるため、当社としてはCD再生機器での再生等の保証は致しかねます。通常のCDを用いた場合は問題がないのに、コピーコントロールCDを使用した場合に再生できない等の問題が生じる場合は、CDの発売元にお問い合わせ頂きますようお願い致します。

## ■ AudioMASTER™でコピーしたCD-Rの再生について

AudioMASTER™はCD-Rへのコピー時の線速度を高めることにより、より音の品位が高いCDを作成します。この方式でコピーしたCD-RはCD規格を満足しておりますので、通常のCDプレーヤーで再生できます。
ただし、ごくまれに他のCDレコーダーでは正常に再生されない場合があります。

## ■ DVDプレーヤーでの再生について

ファイナライズ済みのCD-RまたはCD-RWをDVDプレーヤーで再生する場合、お手持ちのDVDプレーヤーがCD-RまたはCD-RWの再生に対応しているか、ご確認ください。
対応していない場合は、DVDプレーヤーでの再生はできません。

**重要**

・本機のご使用に際しては、著作権法に抵触しないよう、ご注意ください。

**著作権について**

放送やレコード、ディスク、テープ、その他の録音物の音楽作品は、著作権法により保護されています。
したがって、それらから録音したディスクやテープを
・売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合
・営利(店のBGMなど)のために使用する場合
は、権利者の許諾が必要です。
詳しい内容や申請、その他の手続きについては、下記までお尋ねください。

お問い合わせ先:
(社)日本音楽著作権協会(JASRAC)
TEL(03)3481-2121

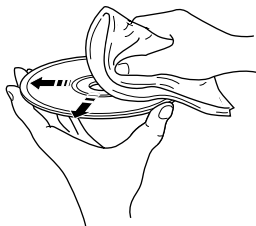
あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

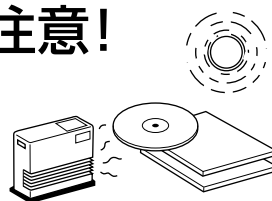
お問い合わせ先:
(社)私的録音補償金協会　TEL(03)3261-3444

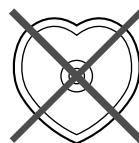
## ■ ディスクの取り扱い

録音が正常にできない録音したデータが損なわれる、本機が故障する等の障害が発生する原因となるため、ディスクのお取り扱いに関して、以下の事項を必ずお守りください。

・本機では、下記のマークがついたコンパクトディスク（8cmのディスクを含む）をお使いください。本機ではCD-G、CD-ROM、VCD、CDV、DVDなどは再生できません。

・ディスクは本来、消耗しないようにできていますが、ディスクの取り扱い方によっては傷がつく場合があります。そのようなときは、正しく再生できないことがあります。
・CD-RやCD-RWのレーベル面に文字を書き込むときは、油性のフェルトペン等を使用してください。
・クリーニングディスクや歪んだディスクは使用しないでください。故障の原因となることがあります。
・CD-RやCD-RWの記録面に、ほこりや指紋、傷などがあったり、直射日光が当たると、録音や再生できなくなる場合がありますので、以下の点に特にご注意ください。
  1. できるだけディスクの縁を持つようにして、表面に触れないように扱ってください。またディスクトレイにセットしたり、取り出したりする際は、ディスクを傷つけないようご注意ください。
  2. 使用後のディスクは必ずケースに入れて保管してください。
  3. 記録面に、指紋やほこりが付いたら、柔らかい布などで軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。
     コンパクトディスクにはレコード盤のような音溝はありません。
     ホコリや汚れは柔らかい布で軽く拭き取るだけで十分です。

・レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。
  ディスクはプラスチック製です。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。また、水で拭くことも避けてください。

・直射日光の当たる場所や、高温多湿な場所に長時間置くとディスクが変形したり、変色したりして、使用できなくなる恐れがありますので、避けてください。

## ■ 本機の故障を防ぐために

・規格外のディスクはご使用にならないでください。
  ハート型や花の形などの変形ディスク（シェイプCD）は、重量バランスがアンバランスであるため、ご使用にならないでください。
  規格外のコンパクトディスクを本機にセットしますと、正しく再生できないばかりでなく、ディスクトレイが開いたり、異音の発生や故障の原因となる場合があります。

・レーベル面に紙やシール（レーベル面用ラベルシート含む）などを貼ったり、ボールペン等の先の尖ったものや硬いもので文字を書かないでください。
・ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるものはお使いにならないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。
・8cmのディスクをご使用の場合、上に12cmのディスクを重ねて置かないようご注意ください。
・市販のラベルプリンターで表面に印刷したディスクは使用しないでください。

# 目次

## 1. はじめに



## 2. 基本的な操作



## 3. HDDへのコピー・録音



## 4. CD-R/CD-RW へのコピー



## 5. 編集機能



## 6. その他の機能



## 7. 参考資料

# 本機の特長

◆ 洗練されたデザイン、見やすいフロントパネルディスプレイ

◆ 10倍速HDD録音、8倍速CD-Rコピー、4倍速CD-RWコピーに対応

◆ 137GB以上(最大400GB)の大容量HDDに対応

◆ 外部入力による長時間連続録音が可能

◆ デジタル(同軸デジタル、光デジタル)、アナログ入出力端子を搭載

◆ AudioMASTER™で高音質コピー(CD-R録音時)

◆ お好みの曲を選んで再生・コピーするブックマーク機能搭載

◆ 外部タイマーを使用してタイマー再生(オートプレイ機能)、タイマー録音

◆ テレビと接続してオンスクリーンディスプレイ(OSD)表示も可能

◆ HDDのデータをカスタマイズする豊富な編集機能

# 本書について

## ■ 本書の構成

本書は以下のように構成されています。

**1. はじめに**
使用前の準備(付属品、各部の名称、HDDのインストール方法、各種接続など)について説明します。本機をご使用になる前に必ずお読みください。

**2. 基本的な操作**
本機を使用するうえで頻繁に必要になる操作について説明します。

**3. HDDへのコピー・録音**
CDからHDDへコピーする方法や、接続した外部機器からHDDへ録音する方法について説明します。

**4. CD-R/CD-RW へのコピー**
HDDからCD-RまたはCD-RW へコピーする方法や、CDの複製、ディスクのファイナライズ処理などについて説明します。

**5. 編集機能**
HDDに記録したデータ(アルバム、トラック、ディスク)を編集する方法について説明します。「編集メニュー一覧」(P.52)で概要を把握することができますので、まずそちらをご参照ください。

**6. その他の機能**
HDDの情報確認や本機の設定を初期化するシステムリセットなどシステムに関する設定について説明しています。

**7. 参考資料**
困ったときの対処の方法、ディスプレイの表示メッセージ、デジタル録音のルール、本機の仕様など状況に応じて必要になる情報を記載しています。

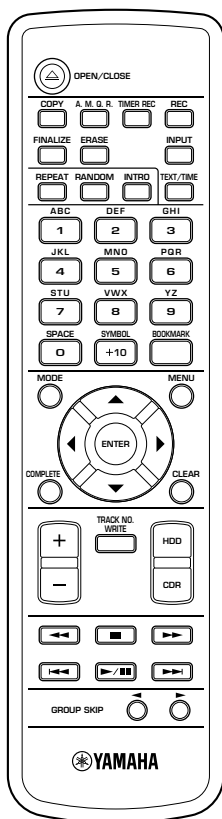
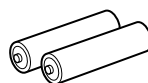
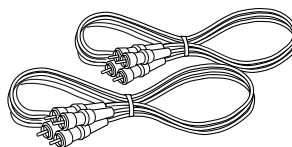
## ■ 本書の記載について

· 本取扱説明書は製品開発に先がけ印刷されております。その後、操作性の向上、その他の理由により、製品仕様の一部が変更となることがあります。その場合は製品自体の仕様が優先されます。

· 説明の便宜上、文中のイラスト等が実際の製品と異なる場合があります。

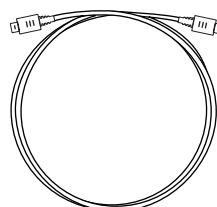
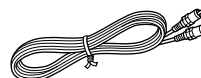
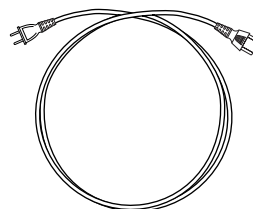
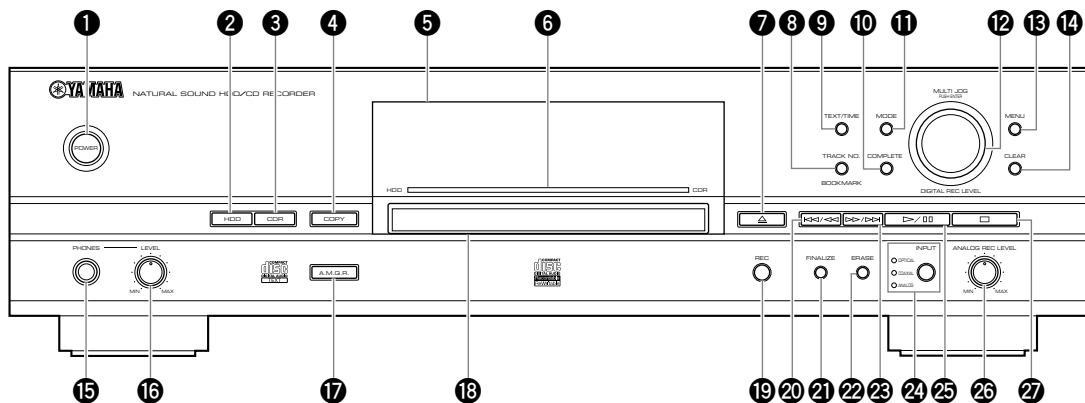
# 付属品を確認する

付属品がすべてそろっているか、確認してください。

• リモコン

• 単3乾電池（2本）

• ステレオピンケーブル（2本）

• 光ファイバーケーブル

• ビデオ用ピンケーブル

• 電源コード

# 各部の名称

## ■ フロントパネル

❶POWERスイッチ

本機の電源をオン/オフにします(P.16)。

❷HDDボタン

ハードディスクドライブ(HDD)を操作する際に押します(P.16)。

❸CDRボタン

CDRドライブを操作する際に押します(P.16)。

❹COPYボタン

本機をコピー待機状態にします。

❺ディスプレイ

再生情報または録音情報が表示されます。TEXT/TIMEボタンを押すと表示内容が切り替わります(P.20)。

❻イルミネーション

本機の動作に応じて、青色または赤色に点滅／点灯します。

❼≙(ディスクトレイ開閉)ボタン

ディスクトレイを開閉します。

❽TRACK NO./BOOKMARKボタン

お好みのトラックにトラックマーク(P.39)またはブックマーク(P.26)をつけます。

❾TEXT/TIME(表示切り替え)ボタン

ディスプレイの表示内容を切り替えます(P.20)。

❿COMPLETE(実行)ボタン

指定した操作や項目を実行します。

⓫MODEボタン

再生、録音、コピーなどのモード選択に入ります。

⓬MULTI JOGノブ/DIGITAL REC LEVELツマミ

通常画面では、押してGROUPとTRACKを切り替え、回してグループ(ディスク、アルバムなど)やトラックを選択します。

メニュー画面では、回して項目の選択やパラメータの調節を行い、押して確定します。

⓭MENUボタン

本機の状態に応じて、対応するメニュー画面をディスプレイに表示します。

⓮CLEAR(削除)ボタン

選択した項目の削除や設定のキャンセルを行います。

⓯PHONES端子

ヘッドフォンを接続します(P.27)。

⓰PHONES LEVELツマミ

PHONES端子にヘッドフォンを接続している際に、ヘッドフォンの音量を調節します(P.27)。

⓱A.M.Q.R.(Audio Master Quality Recording)ボタン

CD-Rを録音する際にAudioMASTER™機能(P.43, 48)をオン/オフにします。

⓲ディスクトレイ

ディスクをセットします。

⓳REC(録音)ボタン

本機を録音待機状態にします。

⑳|◁◁/◁◁(スキップ/サーチ)ボタン

押すと再生しているトラックの最初(繰り返し押すと前の曲)にスキップし、押し続けると再生しているトラックを早戻しします(P.21)。

㉑FINALIZEボタン

CD-RやCD-RWのファイナライズ処理を行います(P.49)。

㉒ERASE(消去)ボタン

CD-RWからトラックやTOCを消去する際に、消去する項目を選択します(P.50)。

㉓▷▷/▷▷|(サーチ/スキップ)ボタン

押すと次のトラックにスキップし、押し続けると再生しているトラックを早送りします(P.21)。

㉔INPUT(入力)ボタン

入力ソース(OPTICAL、COAXIAL、ANALOG)を選択します(P.33)。選択している入力ソースのランプが点灯します。

㉕▷/▯▯(再生/一時停止)ボタン

選択しているトラックやグループの再生を開始します。再生中に押すと再生が一時停止します(P.21)。

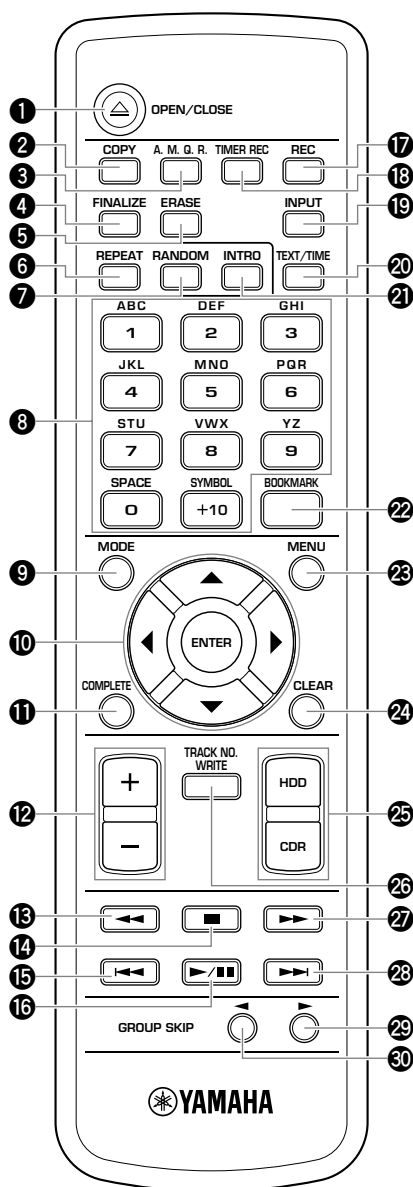
コピー待機状態または録音待機状態で押すと録音を開始します。

㉖ANALOG REC LEVELツマミ

アナログ録音を行う際の録音レベルを調節します(P.36)。

㉗□(停止)ボタン

選択しているドライブの再生を停止します(P.21)。

## ■ リモコン

**❶ ⏏OPEN/CLOSE(ディスクトレイ開閉)ボタン**

ディスクトレイを開閉します。

**❷ COPYボタン**

本機をコピー待機状態にします。

**❸ A.M.Q.R.(Audio Master Quality Recording)ボタン**

CD-Rを録音する際にAudioMASTER™機能(P.43, 48)をオン/オフにします。

**❹ FINALIZEボタン**

CD-RやCD-RWのファイナライズ処理を行います(P.49)。

**❺ ERASE(消去)ボタン**

CD-RWからトラックやTOC(ディスク情報)を消去する際に、消去する項目を選択します(P.50)。

**❻ REPEATボタン**

リピート再生(1曲リピート、全曲リピート)を設定します(P.23, 24)。

**❼ RANDOMボタン**

ランダム再生を設定します(P.24)。

**❽ 英/数字ボタン**

選曲する際のトラック番号や、アルバムやトラックのタイトルを入力します。

**❾ MODEボタン**

再生、録音、コピーなどのモード選択に入ります。

**❿ ▲▼◄►(カーソル)、ENTERボタン**

通常画面では、ENTERボタンを押してGROUPとTRACKを切り替えます。GROUP選択時は、▲、▼ボタンを押してグループを選択し、◄、►ボタンを押してトラックを選択します。TRACK選択時はいずれかのカーソルボタンを押してトラックを切り替えます。

メニュー画面では、カーソルボタンで入力位置や項目の移動、パラメータの変更などを行い、ENTERボタンで決定します。

**⓫ COMPLETE(実行)ボタン**

指定した操作や項目を実行します。

**⓬ ＋、－ボタン**

＋を押すと次のメニュー項目に、－を押すと前のメニュー項目に移動します。またパラメータを調節する際にも使用します。

**⓭ ◄◄(サーチ)ボタン**

再生しているトラックを早戻しします(P.21)。

**⓮ ■(停止)ボタン**

選択しているドライブの再生を停止します(P.21)。

**⓯ |◄◄(トラックスキップ)ボタン**

再生しているトラックの最初(繰り返し押すと前の曲)にスキップします(P.21)。

**⑯►/❚❚(再生/一時停止)ボタン**

選択しているドライブの再生を開始します。再生中に押すと再生が一時停止します(P.21)。

コピー待機状態または録音待機状態で押すと録音を開始します。

**⑰REC(録音)ボタン**

本機を録音待機状態にします。

**⑱TIMER REC(タイマー録音)ボタン**

タイマー録音を行う際の録音時間設定に入ります(P.34)。

**⑲INPUT(入力)ボタン**

入力ソース(OPTICAL、COAXIAL、ANALOG)を選択します(P.33)。選択している入力ソースのランプが点灯します。

**⑳TEXT/TIME(表示切り替え)ボタン**

ディスプレイの表示内容を切り替えます(P.20)。

**㉑INTROボタン**

イントロ再生を設定します(P.25)。

**㉒BOOKMARKボタン**

お好みのトラックにブックマークをつけます(P.26)。

**㉓MENUボタン**

本機の状態に応じて、対応するメニュー画面をディスプレイに表示します。

**㉔CLEAR(削除)ボタン**

選択した項目の削除や設定のキャンセルを行います。

**㉕HDD、CDRボタン**

操作するドライブ(HDD、CDR)を切り替えます(P.16)。

**㉖TRACK NO. WRITEボタン**

録音している際にトラックマークをつけます(P.39)。

**㉗►►(サーチ)ボタン**

再生しているトラックを早送りします(P.21)。

**㉘►►❘(トラックスキップ)ボタン**

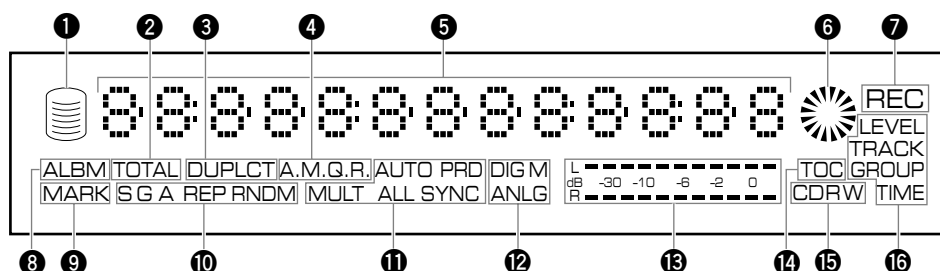
次のトラックにスキップします(P.21)。

**㉙GROUP SKIP ►ボタン**

次のグループにスキップします(P.21)。

**㉚GROUP SKIP ◄ボタン**

前のグループにスキップします(P.21)。

## ■ ディスプレイ

**❶HDDマーク**

ハードディスクドライブ(HDD)が選択されているときに点灯します。

**❷TOTALインジケーター**

再生時間や残り時間などの総計が表示されているときに点灯します。

**❸DUPLCTインジケーター**

ディスクの複製を行う際、コピー待機状態およびコピー中に点灯します。

**❹A.M.Q.R.インジケーター**

AudioMASTER™機能がオンになっているときに点灯します。

**❺インフォメーションディスプレイ**

選択しているドライブの情報(再生/録音時間、タイトルなど)を表示します。TEXT/TIMEボタンで表示内容を切り替えることができます(P.20)。

**❻CDRマーク**

CDRドライブが選択されていて、ディスクトレイにディスクがセットされているときに点灯します。

**❼RECインジケーター**

HDD、CD-R、CD-RWへの録音を行う際、コピー待機状態およびコピー中に点灯します。

**❽ALBMインジケーター**

アルバムを選択しているときに点灯します。

**❾MARKインジケーター**

ブックマークをつけたトラックを選択しているときに点灯します。

**❿再生モード/プレイスタイルインジケーター**

**Gインジケーター**

プレイスタイルに“Style Group”が設定されているときに点灯します。

**Aインジケーター**

プレイスタイルに“Style All”が設定されているときに点灯します。

**REPインジケーター**

リピート再生が設定されているときに点灯します。1曲リピート再生が設定されている場合は“S REP”と点灯します。

**RNDMインジケーター**

ランダム再生が設定されているときに点灯します。

**⓫録音/コピーモードインジケーター**

**AUTOインジケーター**

録音している際、自動機能が設定されているときに点灯します。オートピリオド録音が設定されている場合は“AUTO PRD”と点灯します。

**SYNCインジケーター**

シンクロ録音が設定されているときに点灯します。マルチシンクロ録音が設定されている場合は“MULT SYNC”、全曲シンクロ録音が設定されている場合は“ALL SYNC”と点灯します。

**⓬コピー方式インジケーター**

**DIGインジケーター**

デジタルコピーを行っているときに点灯します。デジタルムーブ(HDDからCD-R/CD-RWへのデジタル録音)を行っている場合は“DIG M”と点灯します。

**ANLGインジケーター**

アナログコピーを行っているときに点灯します。

**⓭レベルメーター**

録音レベルや実行している処理(ファイナライズなど)の進度が表示されます。

**⓮TOCインジケーター**

セットしたディスクにTOC(ディスク情報)が含まれているときに点灯します。

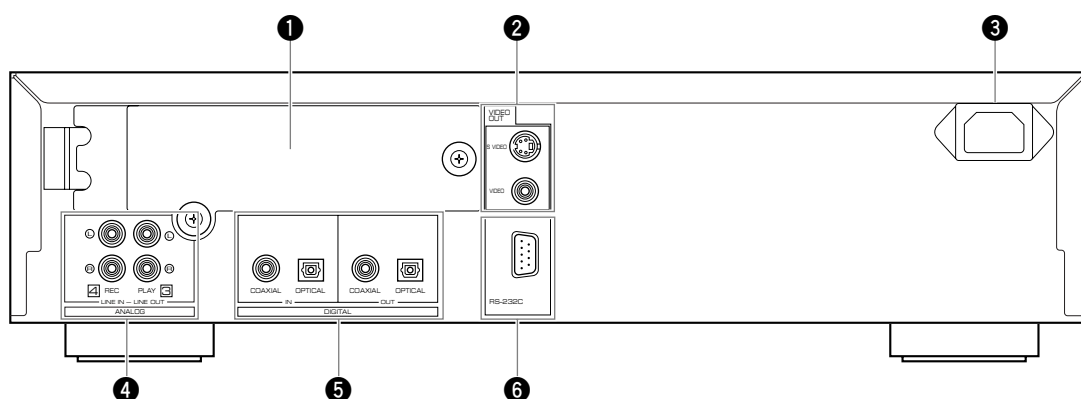
**⓯ディスクインジケーター**

セットしたディスクの種類が表示されます。

**⓰MULTI JOGステータスインジケーター**

現在選択しているMULTI JOGステータス(MULTI JOGノブによる操作で変更が可能な項目や設定)が表示されます。

## ■ リアパネル

ハードディスクのインストールについては「HDDのインストール」(P.10)、本機と各機器との接続については「接続する」(P.12)をお読みください。

**❶HDD用スロット**

ハードディスクを取付け/取外しする際に開きます。

**❷ビデオ出力(VIDEO OUT)端子**

**Sビデオ(S VIDEO)端子**

Sビデオ信号を出力します。

**ビデオ(VIDEO)端子**

コンポジットビデオ信号を出力します。

**❸電源コード挿入口**

電源コードを接続します。(他の機器との接続がすべて完了してから、電源コードを接続してください。)

**❹アナログ入出力(ANALOG)端子**

**アナログ入力(LINE IN)端子**

アナログ信号を入力します。

**アナログ出力(LINE OUT)端子**

アナログ信号を出力します。

**❺デジタル入出力(DIGITAL)端子**

**同軸デジタル入力(COAXIAL IN)端子**

デジタル信号を入力します。

**光デジタル入力(OPTICAL IN)端子**

デジタル信号を入力します。

**同軸デジタル出力(COAXIAL OUT)端子**

デジタル信号を出力します。

**光デジタル出力(OPTICAL OUT)端子**

デジタル信号を出力します。

**❻RS-232C端子**

パソコンなどを接続するための端子です。パソコン上で使用するソフトなど詳細については、ヤマハオーディオ＆ビジュアルホームページ(URLは本書巻末に記載)をご参照ください。

# ■ HDDのインストール

ハードディスク(HDD)の取付けを行なう際は、下記の手順をよく読み、正しくインストールしてください。

メモ
本機で動作確認済みのHDDについては、ヤマハオーディオ＆ビジュアルホームページ(http://www.yamaha.co.jp/audio/)にてご案内しています。

## HDDの必要条件

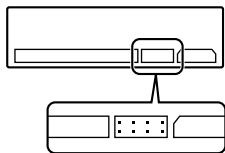
インターフェース ........................................IDE/ATAタイプ
データ転送モード ............................ PIOモード0〜4および マルチワードDMAモード0〜2対応
サイズ ........................................................ 3.5インチタイプ
容量 ..................................................................20〜400GB

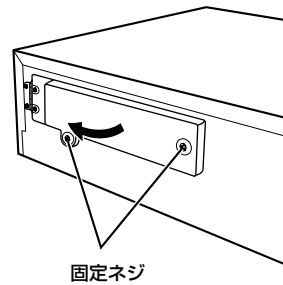
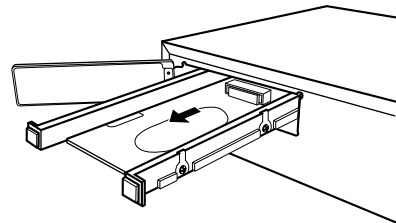
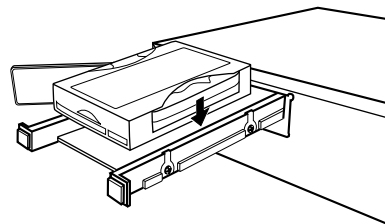
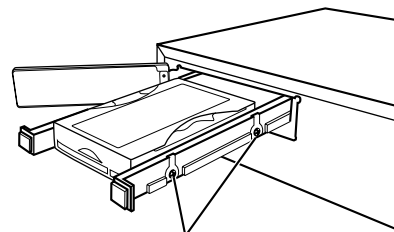
## 取付け手順

**取付けの前に**
- 必ず電源を切って、電源コードをコンセントから抜いてください。
- すべての接続を外してください。
- HDDをSLAVE(スレーブ)に設定してください(下記参照)。

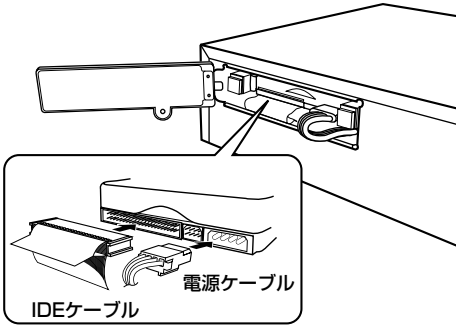
**HDDのMASTER(マスター)とSLAVE(スレーブ)の設定について**

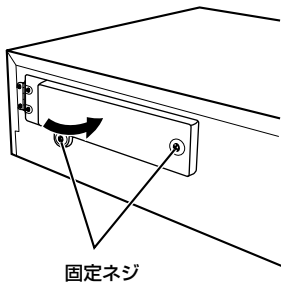
IDE/ATAタイプのHDDは、お使いになる際にMASTERまたはSLAVEに設定する必要があります。本機で使用する場合は必ずSLAVEに設定してください。設定方法については、通常HDD本体に記載されています。

例: Seagate社製ST3160021Aの場合

ショートピンをどの位置にも差し込まないとSLAVEに設定される

**1.** リアパネルのHDDスロットドア固定ネジ2本をゆるめ、HDDスロットドアを開きます。

**2.** HDDトレイを引き出します。
- IDEケーブルや電源ケーブルをHDDトレイに引っかけないようにご注意ください。
- HDDトレイを無理に引っ張ったり、過度の力を加えないでください。

**3.** HDDをトレイに置きます。
- HDDは衝撃に弱い機器ですので、振動や衝撃を加えないようご注意ください。

**4.** HDD固定ネジ4本をしめます。

**5.** **HDDトレイを奥に押し込み、IDEケーブルと電源ケーブルを差し込みます。**

ご注意

- 端子とコネクターの向きが正しいか確認のうえ、しっかりと差し込んでください。
- 静電気により、HDDが破損する場合がありますので、HDDのターミナルピンや基板に触れないようにご注意ください。
- HDDトレイを無理に押し込んだり、過度の力を加えないでください。

**6.** **HDDスロットドアを閉じて、HDDスロットドア固定ネジ2本をしめます。**

## 新しいHDDのフォーマット

新品のHDDを取り付けた場合は、使用する前にHDDをフォーマットする必要があります。

**1.** **電源コードをコンセントに接続し(P.13)、電源を入れます(P.16)。**
"Format Start?"と表示されます。

**2.** **▷/▯▯ボタンを押します。**
"Format Really"と表示されます。

**3.** **▷/▯▯ボタンを押します。**
"Push PLAY KEY"と表示されます。

**4.** **▷/▯▯ボタンを押します。**
"Wait"が点滅し、しばらくするとフォーマットが始まります。フォーマットは約15秒かかります("Format OK"と表示されればフォーマットは完了です)。

メモ

本機ですでにフォーマットされているHDDを取り付けた場合、フォーマットは不要です。ただし他の機器(別のＣＤＲ-HD1500も含む)で使用していたHDDを取り付けた場合は「HDDをフォーマットする(HDD Format)」(P.74)の手順でフォーマットする必要があります。

## ■ HDDの録音可能時間

以下は、HDDの容量と、本機で使用した場合の録音可能時間の関係を示したものです。

| HDDの容量 | 録音可能時間 |
|---|---|
| 80GB | 約120時間 |
| 160GB | 約240時間 |
| 200GB | 約300時間 |

## ■ HDDの取扱い

- **HDDを搭載していない場合、本機の録音機能は動作しません。**この場合、CD/CD-R/CD-RWの再生のみ可能となります。なおHDDを搭載しない場合は、電源を入れてから起動するまで1分程度の時間がかかります。。
- 本機に搭載するＨＤＤは、実際にフォーマットしたＣＤＲ-HD1500本体でのみ読み書きができます。他のCDR-HD1500でフォーマットしたHDDを使用するには、本機で再度フォーマットする必要があります(P.74)。
- HDDは精密機器ですので、HDDまたはHDD取り付け後の本機に振動や衝撃を与えないよう、取扱いには十分にご注意ください。誤った取扱いをすると、HDD上のデータが破損したり、HDDが故障する原因となることがあります。
- 衝撃、振動により生じたデータの消去、破損については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

ご注意

- 万一、何らかの原因でＨＤＤが故障した場合は、記録されたデータの修復はできません。
- HDDはその性質上、長期的なデータの記録場所としては適していません。一時的な記録場所としてご利用ください。また、大切なデータを失わないようCD-Rにデータをコピーしておくことをおすすめします。

# 接続する

外部機器を接続する前に、必ず各機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。接続の際には、接続図を参照して正しいケーブルをご使用ください。

## デジタル入出力端子を接続する

· 本機から出力する場合は、本機のデジタル出力端子と外部機器の入力端子を接続してください。本機に入力する場合は、本機の入力端子と外部機器の出力端子を接続してください。
· 本機に入力できるデジタル信号はPCM信号に限ります。

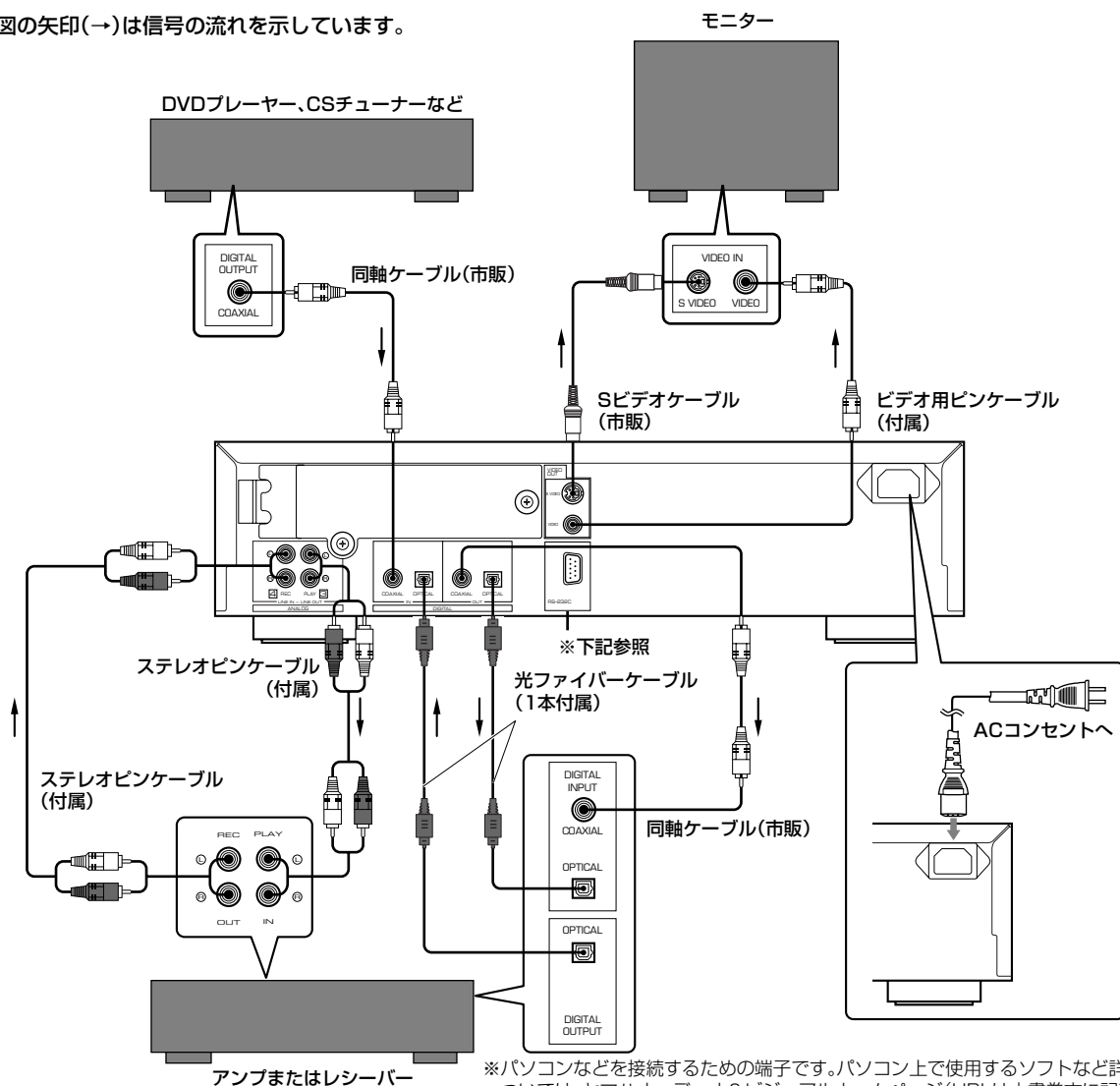
## アナログ入出力端子を接続する

· 本機から出力する場合は、本機のアナログ出力端子と外部機器の入力端子を接続してください。本機に入力する場合は、本機の入力端子と外部機器の出力端子を接続してください。この際、L、Rチャンネルを正しく接続するようご注意ください。
· レコードプレーヤーを接続する際は、フォノイコライザー経由で本機のアナログ入力端子に接続してください。

**メモ**

· HDD、CDの再生時には、アナログ/デジタル両出力端子から信号が出力されます。
· デジタル出力端子から出力される信号のうち、HDD再生時に出力される信号にはトラックマークの情報が付加されていません。この信号をMDレコーダー等で録音した場合、正しくトラックマークがつかないことがあります。

**下図の矢印(→)は信号の流れを示しています。**

※パソコンなどを接続するための端子です。パソコン上で使用するソフトなど詳細については、ヤマハオーディオ＆ビジュアルホームページ(URLは本書巻末に記載)をご参照ください。

### モニターを接続する

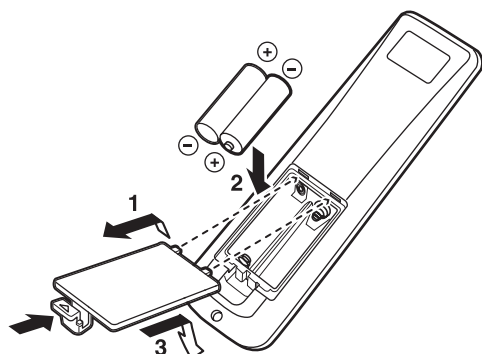
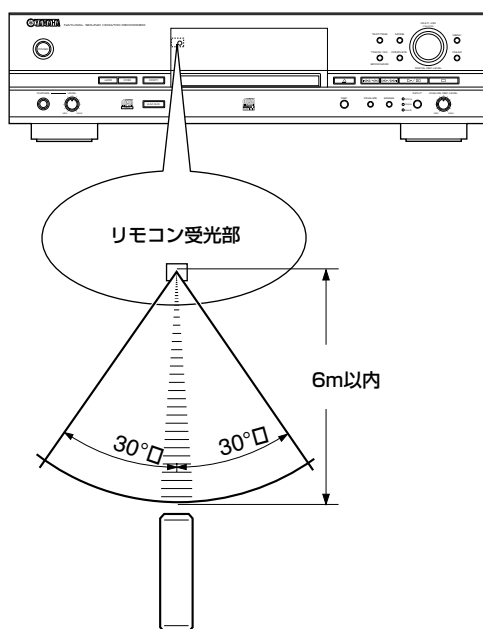
本機にモニターを接続すると、再生するグループやトラックの一覧、コピー/録音時の設定等や各種設定項目の一覧を表示させることができます。お使いのモニターにあわせて、Sビデオ端子またはビデオ端子を接続してください。

### 電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、電源コードを本機の電源コード挿入口にしっかりと差し込み、家庭用AC100V、50/60HzのACコンセントに電源プラグを接続します。
接続するときの電源プラグの向き（極性）によって音質が変わることがありますので、お好みの向きで接続してください。

# リモコンの準備

## ■ 電池を入れる

1. 電池カバーを△の方向に押し上げて取り外します。
2. プラス（＋）とマイナス（－）の向きを確認のうえ、リモコンに電池をセットする。
3. カチッと音がするまでふたを閉めます。

### 電池交換の時期

リモコン操作できる距離が短くなってきたら電池が消耗しています。このときは、2本とも新しい電池に交換してください。

### 乾電池についてのご注意

- 単3乾電池をご使用ください。
- 新しい電池と、一度使用したものを混ぜて使用しないでください。
- アルカリやマンガンなど、種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 充電式の乾電池はご使用になれません。
- 電池のプラス（＋）とマイナス（－）を金属片で直接つなぐこと（ショート）はしないでください。
- 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出しておいてください。
- 乾電池が液漏れした場合は、液に触れないよう注意して廃棄してください。液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。新しい乾電池を入れる前に電池ケース内をきれいにふいてください。

## ■ リモコンの操作範囲

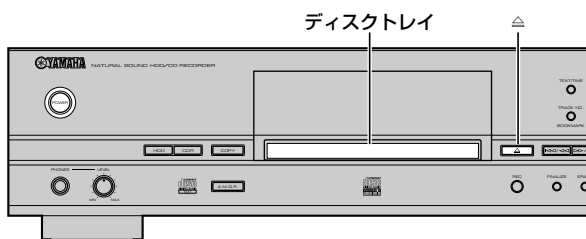
**ご注意**

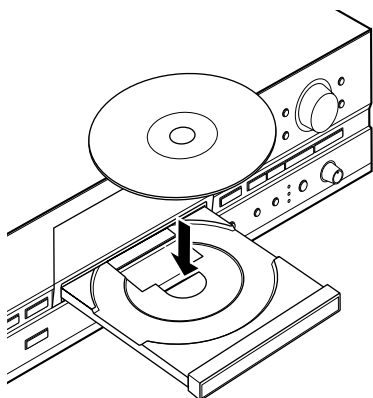
- 本機のリモコン操作によって誤動作をする機器があるときは、その機器の設置場所を変えてください。
- お茶や水をこぼしたり、落としたりしないでください。ストーブのそばや風呂場など、温度･湿度の高いところにも置かないようご注意ください。
- リモコン受光部に、直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようご注意ください。強い光が当たっていると、リモコンが動作しなかったり、誤動作の原因となります。

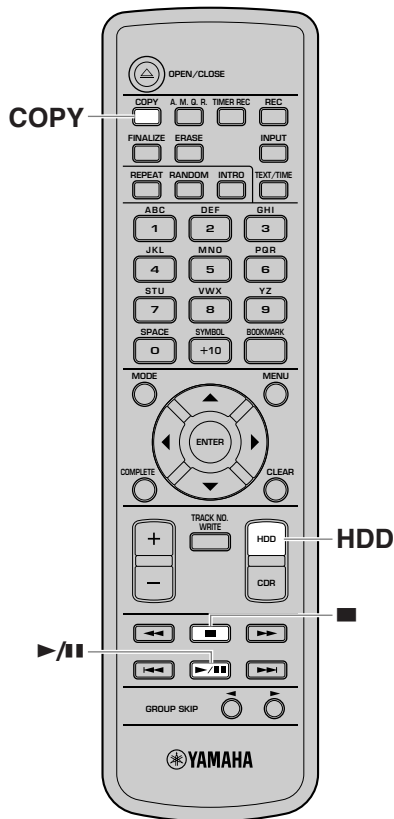
# さっそく使ってみましょう!

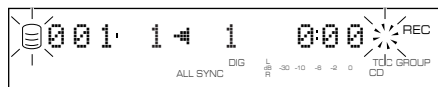
必要な接続(P.12)とリモコンの準備(P.13)が完了したら、まずはお気に入りのCDをハードディスクに録音して聴いてみましょう!(ここではリモコンを使用しての操作をもとに説明します。)

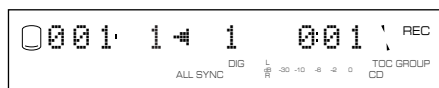
**❶ 本体のPOWERボタンを押して電源を入れましょう!**

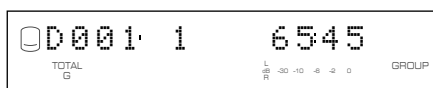
ディスプレイに「WELCOME」と表示された後、操作が可能になります。

**❷ お気に入りのCDをディスクトレイにセットしましょう!**

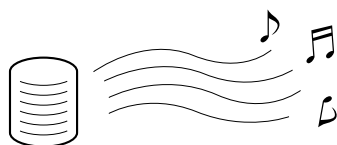
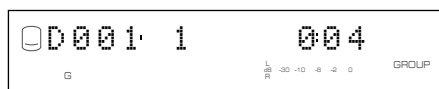
⏏ボタンを押して、ディスクトレイを開閉します。

本機にCDを入れると、CDの種類や容量の読み取りが始まります。読み取りには通常10〜20秒かかりますが、種類によってはこの時間が長くなる場合があります。
その間、ディスプレイには以下のように表示されます。

情報の読み取りが完了すると、ディスプレイには以下のように表示され、操作可能になります。

**❸ COPYボタンを一回だけ押して、コピー待機状態に切り替えましょう!**

ディスプレイのHDDマークとCDRマークが点滅します。

❹ ►/▮▮ボタンを押して、コピーを開始しましょう!

ディスプレイにはコピーの進行状況が表示されます。

❺ コピーが完了したら、HDDボタンを押してドライブをHDDに切り替えましょう!

ディスプレイにHDDマークが点灯し、HDDディスク情報が表示されます。

❻ ►/▮▮ボタンを押して、HDDに録音したトラック(曲)を再生しましょう!

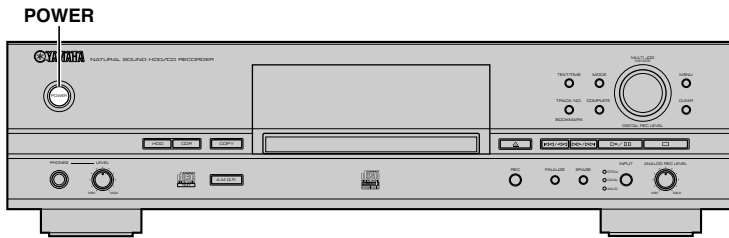
トラックのスキップ(選曲)や早戻し/早送りなど再生時の基本的な操作については、「HDDおよびCDの再生操作」(P.21)をお読みください。

❼ 再生を停止する場合は、■ボタンを押しましょう!

再度►/▮▮ボタンを押すと、停止したトラックの先頭から再生が開始されます。

## さらにこんなこともできます!

- リピート再生、ランダム再生、イントロ再生を使って音楽を楽しみましょう!
  →「便利な再生操作」(P.22−25)
- 外部タイマーを使用して、設定した時間に自動再生してみましょう!
  →「電源オンで自動的に再生を開始する(Auto Play)」(P.77)
- HDDに録音した曲をCD-RやCD-RWディスクにコピーしてみましょう!
  →「HDDからCD-R/CD-RWへのコピー」(P.40−46)
- 外部機器の再生音をHDDに録音してみましょう!
  →「外部入力ソースのHDD録音」(P.33−39)
- HDDに録音した曲を編集してみましょう!
  →「5. 編集機能」(P.52−72)

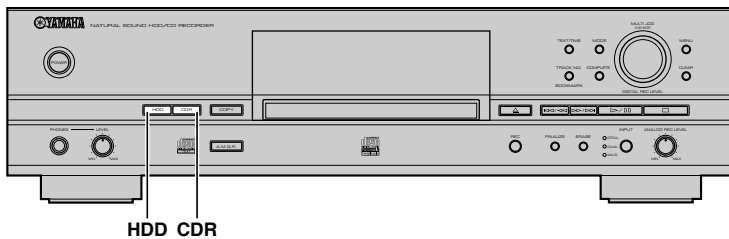
上記以外にも、本機には音楽を楽しむためのさまざまな機能が備わっています。
本書をよくお読みいただき、本機の機能をフル活用のうえ、快適な音楽ワールドを十分にお楽しみください!

# 本機の電源を入/切するには

**本体前面のPOWERスイッチを押して電源を入/切します。**
電源を入れると、ディスプレイに"WELCOME TO YAMAHA HDD/CD SYSTEM"と表示された後、操作が可能になります。
消費電力などの仕様については「本機の主な仕様」(P.85)をご参照ください。

ご注意

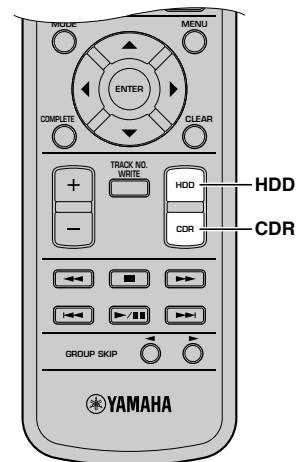
- 再生や録音操作を行っているときは電源を切らないでください。HDDやデータを破損する原因となります。
- 電源を入れた後、"Wait"という表示が20秒以上続くような場合はHDDが正しくインストールされていない可能性があります。P.10を参照のうえ、HDDの接続をご確認ください。

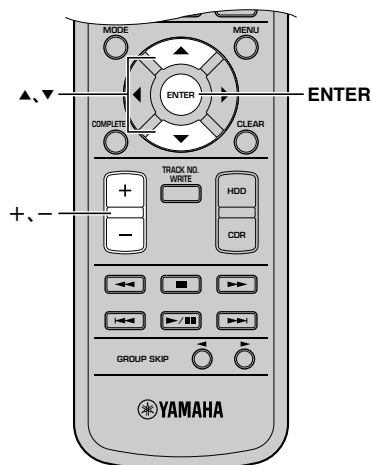
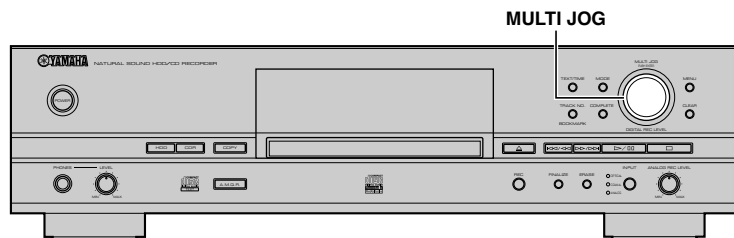
# ドライブ(HDD/CDR)を切り替えるには

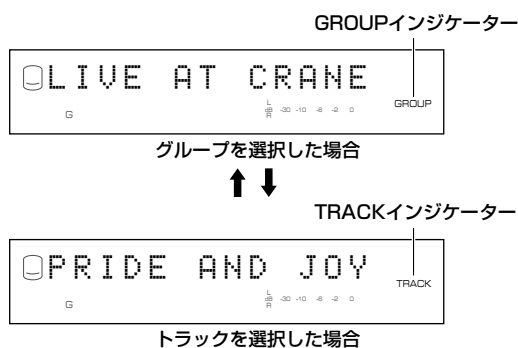
本機では、ハードディスクとCD(CD-RおよびCD-RWを含む)の二種類の記録媒体を使って再生、録音などの操作を行います。この際、実行する操作に応じて、使用するドライブを切り替えます。

**ハードディスクドライブを使用する場合は、HDDボタンを押します。**
ディスプレイにHDDマークが点灯し、ディスク情報が表示されます。

**CDRドライブを使用する場合は、CDRボタンを押します。**
ディスクトレイにセットされているディスクの読み取りが始まります。読み取りが完了するとディスプレイにCDRマークが点灯し、ディスク情報が表示されます。
ディスクトレイにディスクがセットされていない場合は、"No Disc"と表示されます。

メモ

ハードディスクドライブを選択している場合でも、ディスクトレイにCDをセットすると、CDRドライブが自動的に選択されます。

# グループ/トラックを切り替える

再生や録音操作を行う際は、グループまたはトラックを選択してから、実行する操作の対象(ディスク、アルバム、トラックなど)を選択します。ハードディスクドライブ(HDD)とCDRドライブでは、選択できるグループが異なりますので、再生や録音操作を行う前にP.18－19の説明をお読みください。



**1.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、グループまたはトラックを選択します。**
グループを選択した場合はGROUPインジケーターが点灯し、トラックを選択した場合はTRACKインジケーターが点灯します。

**2.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+/−ボタンまたは▲、▼ボタンを押して)、操作する対象を選択します。**
手順1でグループを選択した場合は以下のように操作対象が切り替わります。
(HDD選択時)

ディスク(1, 2…)←→アルバム(1, 2…)←→ブックマーク

(CDRドライブ選択時)

ディスク←→ブックマーク

手順1でトラックを選択した場合は以下のように操作対象が切り替わります。

トラック1←→トラック2… ←→トラック99

**3.** **目的に応じて、再生や録音などの操作を行います。**
再生操作の説明については「HDDおよびCDの再生操作」(P.21)、録音操作の説明については「3. HDDへのコピー・録音」(P.28－39)、「4. CD-R/CD-RWへのコピー」(P.40－51)の各項目をお読みください。

# ■ HDD操作時のグループ/トラック

本機のHDDに録音された曲は、以下のような概念で番号がつけられ整理されます。

## グループ

以下のディスク、アルバム、ブックマークを総称してグループと呼びます。

### ディスク

一回の連続した録音は、ディスクという単位で番号をつけて記録されます。本機のHDDには最大999個のディスクを記録することができます（ただし、HDDの容量により制限されることがあります）。ひとつのディスクの最長時間は179分59秒です。

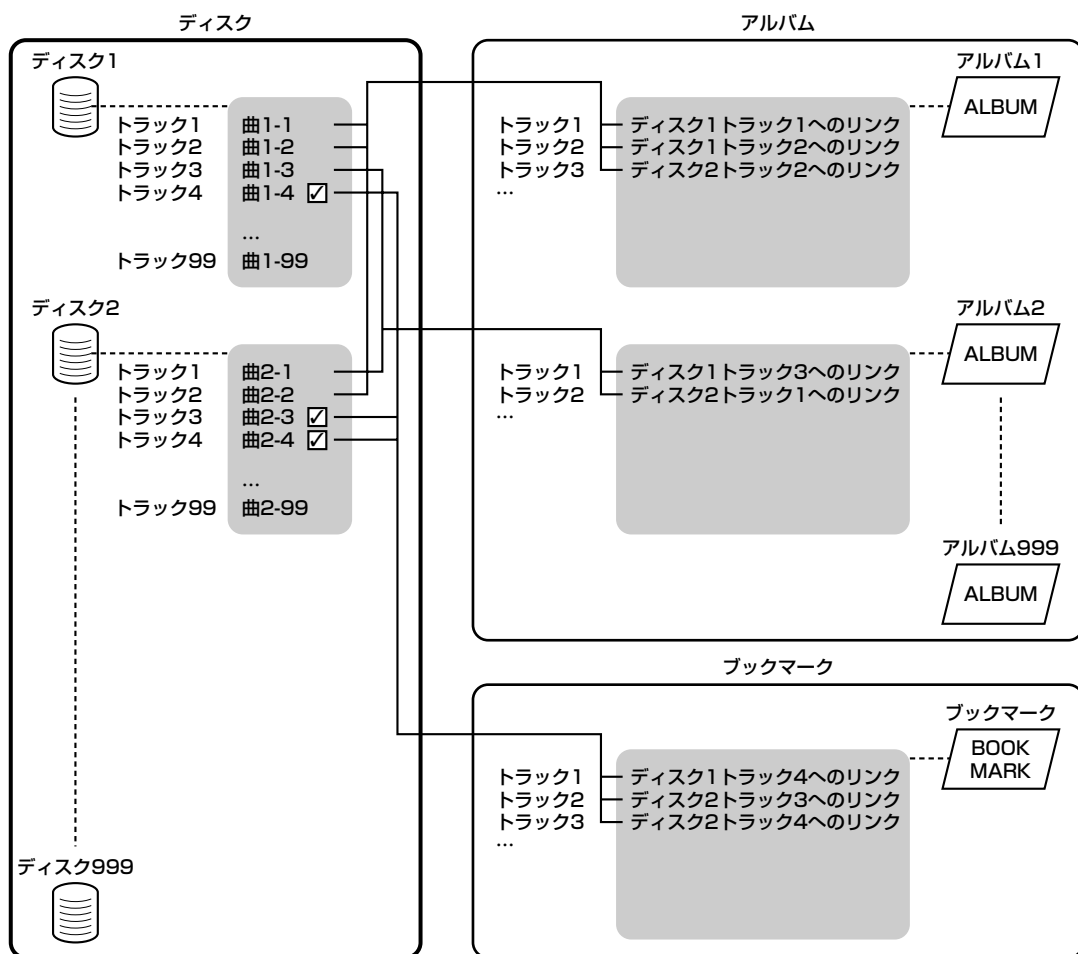
### アルバム

複数のディスクから曲を選択し、曲順リストとして保存したものをアルバムと呼びます。通常のCDプレーヤーの「プログラム」機能(お好みの順番で曲を再生する機能)に相当するものです。本機のHDDには最大999個のアルバムを記録することができます。

### ブックマーク

本機では曲を再生しながら、聞きたい曲や、アルバムに保存したい曲に一時的な印をつけることができます。印がつけられた曲のリストをブックマークと呼びます。一時的な印であるため、複数の保存ができませんが、ブックマークをアルバムにコピー(P.56)することにより、簡単にアルバムを作成できます。

## トラック

トラックとは曲のことを意味しており、各グループに最大99曲のトラックを記録することができます（ただし、HDDの容量により制限されることがあります）。ひとつのトラックの最短時間は4秒、最長時間は179分59秒です。

**メモ**

- リンクとは、ディスク内の任意のトラックへ関連付けしたものです。トラックの実体（曲データ）はアルバムやブックマークの中にあるわけではなく、ディスク内に存在します。
- ブックマークで曲が再生される順番は、ブックマークをつけた順番となります。

## ■ CDRドライブ操作時のグループ/トラック

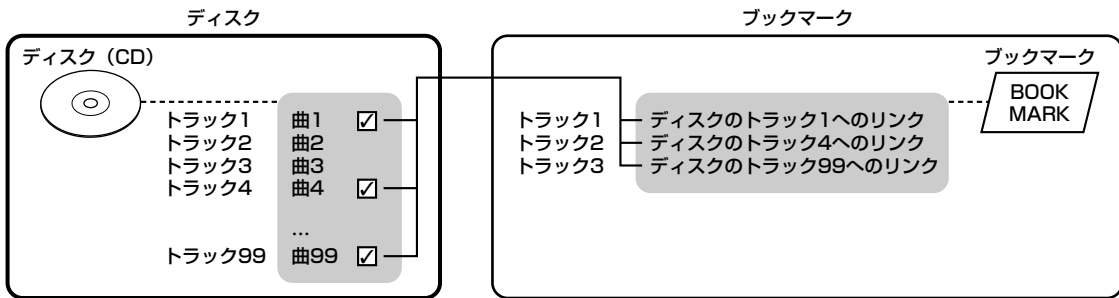
本機のCDRドライブで読み取られたCD(CD-RおよびCD-RWを含む)は、グループ(ディスクブックマーク)またはトラック単位で操作することができます。



### グループ

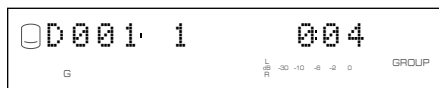
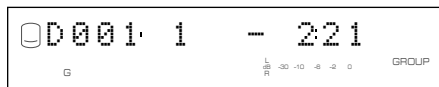
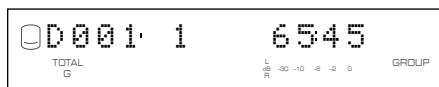
CD(CD-RおよびCD-RW)を操作する場合、グループとはディスクまたはブックマークのことを意味しています。CDRドライブにセットできるCDは常に1枚なので、CDRドライブ操作時に選択できるディスクも１つになります。またCDRドライブ操作時のブックマークは一時的なもので、CDをディスクトレイから取り出したり、電源を切ったりすると消去されます。

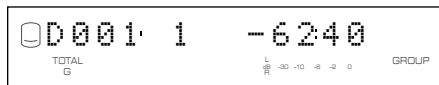
### トラック

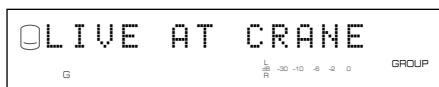
トラックとは曲のことを意味しています。ひとつのCD(CD-RおよびCD-RW)に記録されている曲の数は使用するディスクにより異なります。また記録容量も使用するディスクにより決まっています。詳しくはご使用のCD(CD-RおよびCD-RW)に記載されている説明をお読みください。

# ディスプレイの表示を切り替える

本機前面のディスプレイには、HDDまたはCDRドライブで選択しているアイテム（グループまたはトラック）の情報が表示されます。
TEXT/TIME ボタンを押すと、ディスプレイに表示されている情報が本機の動作状態に応じて切り替わります。

## HDD再生時の表示

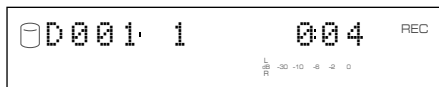
**グループナンバー、トラックナンバーおよびトラック経過時間;**

**グループナンバー、トラックナンバーおよびトラック残り時間;**

**グループナンバーおよびグループ総時間;**



**グループナンバーおよびグループ残り時間;**

**グループタイトルまたはトラックタイトル;**

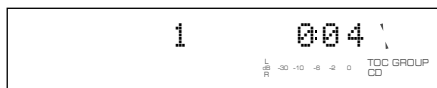
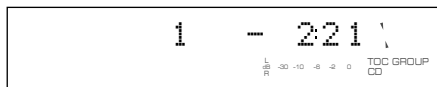
グループタイトル

トラックタイトル

MULTI JOGノブ（リモコンではENTERボタン）を押すごとに、GROUPインジケーターとTRACKインジケーターが切り替わります。

## HDD録音時の表示

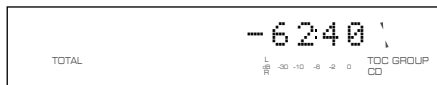
**ディスクナンバー、トラックナンバーおよびトラック経過時間;**

**ディスクナンバーおよびディスク既録音時間;**

## CD再生時の表示

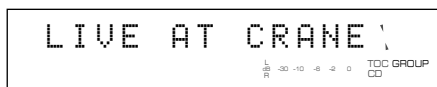
**トラックナンバーおよびトラック経過時間;**

**トラックナンバーおよびトラック残り時間;**


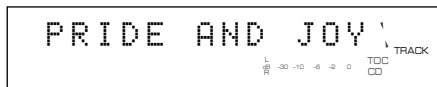

**ディスク総時間;**



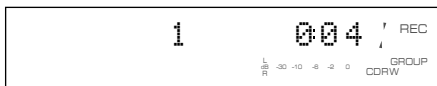
**ディスク残り時間;**


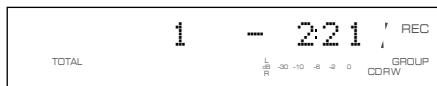

**CD TEXT（記録されている場合）;**

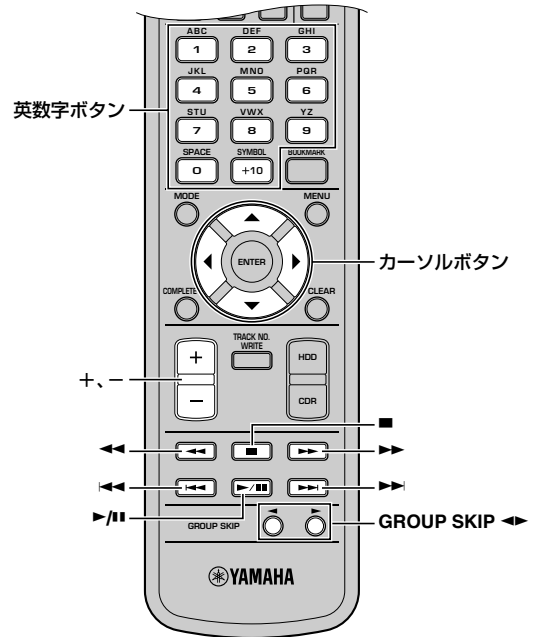
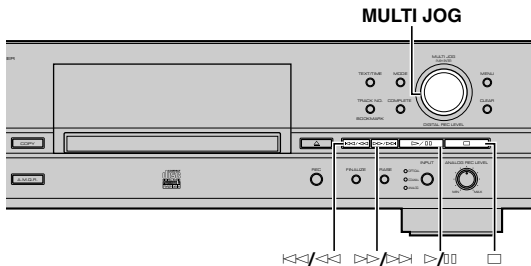
ディスクタイトル



トラックタイトル



## CD-R/CD-RW録音時の表示

**トラックナンバーおよびトラック経過時間;**

**ディスク既録音時間;**

**ディスク録音可能残り時間;**

# HDDおよびCDの再生操作

本機のHDDまたはCDRドライブで再生する際の基本操作です。これ以外にも本機はさまざまな再生機能を備えています。詳しくは「便利な再生操作」(P.22－25)をご参照ください。



## 再生する

グループまたはトラックを選択後(P.17)、▷/⏸ボタンを押します。

## 再生を停止する

□ボタンを押します。

**メモ**

□ボタンを押して再生を停止したあと、▷/⏸ボタンを押すと停止した曲の最初から再生が始まります(レジュームプレイ機能)。レジュームプレイ機能を解除するには、□ボタンを押して再生を停止したあと、再度停止ボタンを押します。この場合、ディスク(またはアルバム)やCDに記録されている最初の曲から次回の再生が始まります。

## 再生を一時停止する

再生中に▷/⏸ボタンを押します。通常の再生に戻すには、再度▷/⏸ボタンを押します。

## 早戻し/早送りする(サーチ)

早戻しするには、再生中に⏮/◁◁(リモコンでは◀◀)を押し続けます。早送りするには、再生中に▷▷/⏭(リモコンでは▶▶)を押し続けます。ボタンを離すと通常の再生に戻ります。

**メモ**

- 一時停止中もサーチすることができますが、音は出ません。
- アルバム編集の"Tr. Interval"(P.59)で設定した曲間での一時停止およびサーチはできません。

## トラックをスキップする

再生中のトラックの最初に戻るには、⏮/◁◁(リモコンでは⏮)を1回押します。
前のトラックに戻るには、⏮/◁◁(リモコンでは⏮)を2回押します。
次のトラックに進むには、▷▷/⏭(リモコンでは⏭)を押します。

**メモ**

- TRACKインジケーターが点灯している場合(P.17)、MULTI JOGを回して(リモコンでは+/−ボタンまたはカーソルボタンを押して)、トラックをスキップすることができます。
- リモコンの英数字ボタンを押して再生するトラックを選択することも可能です。

## グループをスキップする

前のグループに戻るには、リモコンのGROUP SKIP◀を押します。
次のグループに進むには、リモコンのGROUP SKIP▶を押します。

**メモ**

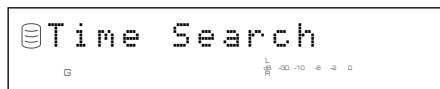
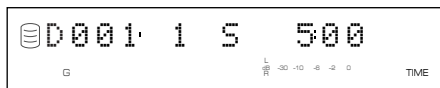
GROUPインジケーターが点灯している場合(P.17)、MULTI JOGを回して(リモコンでは+/−ボタンまたは▲、▼ボタンを押して)、グループをスキップすることができます。

# 便利な再生操作

本機には再生する際に役立つさまざまな機能が備わっています。目的に応じてこれらの機能をご使用いただくと、よりいっそう音楽をお楽しみいただけます。

## ■ 聞きたい部分を時間で探す（タイムサーチ）

聞きたい部分を、時間指定してサーチします。

**1. MODEボタンを押して、再生モードの設定に入ります。**
ディスプレイに"Time Search"と表示されます。

**2. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押します。**
ディスプレイには以下のように表示されます。

**3. ⏮/⏪または⏩/⏭ボタン（リモコンでは◀◀、▶▶ボタンまたは◀、▶ボタン）を押して分/秒を切り替え、MULTI JOGノブを回して（リモコンでは＋、－ボタンまたは▲、▼ボタンを押して）時間を指定します。**
回すのをやめると、設定した時間をサーチし、その時間から再生します。

メモ

- リモコンの⏮または⏭ボタンを押すと、他のトラックへスキップすることができます。サーチする時間は他のトラックへスキップした時点で、"0:00"にリセットされます。
- リモコンのGROUP SKIP ◀またはGROUP SKIP ▶ボタンを押すと、他のグループへスキップすることができます。サーチする時間は他のグループへスキップした時点で、"0:00"にリセットされます。
- タイムサーチ中は、通常のサーチ(P.21)をすることはできません。
- ランダム再生中(P.24)およびイントロ再生中(P.25)はタイムサーチできません。

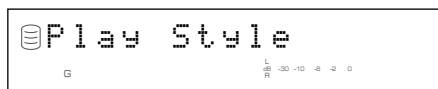
**4. 通常の再生に戻るには、▷/⏸ボタンまたはMODEボタンを押します。**

## ■ 演奏範囲（プレイスタイル）を設定する

HDD再生時のみ、プレイスタイルを設定することができます。プレイスタイルの設定により、再生するときの演奏範囲が変わります。

**1. HDDを選択中にMODEボタンを押して、再生モードの設定に入ります。**

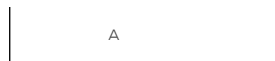
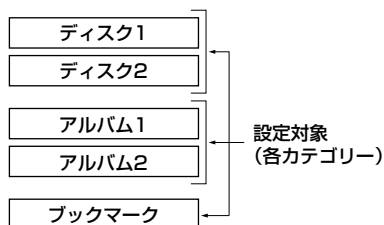
**2. MULTI JOGノブを回して（リモコンでは＋、－ボタンまたは▲、▼ボタンを押して）、"Play Style"を選択します。**

Play Style

**3. MULTI JOGノブ（リモコンではENTERボタン）を押して、プレイスタイルの設定に入ります。**

**4. MULTI JOGノブを回して（リモコンでは＋、－ボタンまたは▲、▼ボタンを押して）、"Style All"または"Style Group"を選択します。**

**5. MULTI JOGノブを押して（リモコンではENTERボタンを押して）、確定します。**

### "Style All"を設定した場合

ディスプレイのAインジケーターが点灯します。

全曲リピート再生、ランダム再生、イントロ再生の対象が、すべてのディスク、すべてのアルバム、またはブックマークに設定されます。

・ランダム再生設定時は、指定したグループが属するカテゴリーの全曲からランダムに選択して再生します。
・全曲リピート再生設定時は、指定したグループが属するカテゴリーの全曲を繰り返し再生します。
・イントロ再生設定時は、指定したグループが属するカテゴリーの全曲の最初の部分だけを次々に再生します。

例えば、ディスク1を再生中に全曲リピート再生を設定すると、ディスク1とディスク2に記録されている全曲を繰り返し再生することになります。

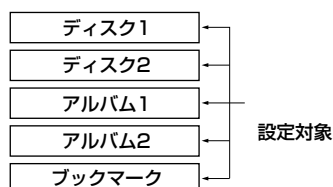
**メモ**

・"Style All"を設定しているとき、ディスプレイをタイトルの表示にしておくと、ディスクが変わる際に、わずかに音が途切れる場合があります。このような場合はTEXT/TIMEボタンを押してタイトル表示を時間表示に切り替えてください。(P.20)
・複数のディスクにまたがって長時間録音されたものを、連続して再生するには"Style All"に設定してください。

## "Style Group"を設定した場合

ディスプレイのGインジケーターが点灯します。

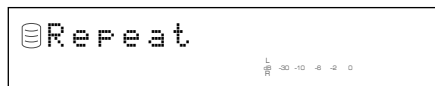
G

全曲リピート再生、ランダム再生、イントロ再生の対象が、現在選択しているグループ(ひとつのディスク、ひとつのアルバム、またはブックマーク)に設定されます。

・ランダム再生設定時は、指定したグループに記録されている曲をランダムに選択して再生します。
・全曲リピート再生設定時は、指定したグループに記録されている全曲を繰り返し再生します。
・イントロ再生設定時は、指定したグループに記録されている全曲の最初の部分だけを次々に再生します。

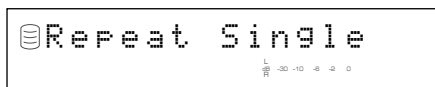
例えば、ディスク1を再生中に全曲リピート再生を設定すると、ディスク1に記録されている全曲を繰り返し再生することになります。

## ■ 曲を繰り返し聞く(1曲リピート再生)

指定した1曲、または再生中の曲を繰り返し再生します。

**1.** **MODEボタンを押して再生モードの設定に入り、MULTI JOGノブを回して(リモコンでは＋、－ボタンまたは▲、▼ボタンを押して)、"Repeat"を選択します。**

**2.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、リピート再生の設定に入ります。**

**3.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは＋、－ボタンまたは▲、▼ボタンを押して)、"Repeat Single"を選択します。**

Repeat Single

**4.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、確定します。**
ディスプレイのS REPインジケーターが点灯します。

S REP

**メモ**

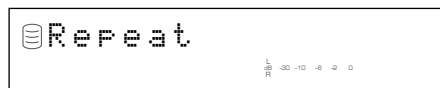
・リモコンのREPEATボタンを1回押すだけで、簡単に1曲リピート再生を設定することもできます。
・アルバム再生中やランダム再生中でも、1曲リピート再生を設定できます。

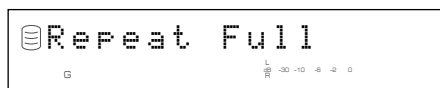
### 1曲リピート再生の設定を解除する

手順3で、"Repeat Off"を選択して確定するか、リモコンのREPEATボタンをS REPインジケーターが消灯するまで押してください。

## ■ すべての曲を繰り返し聞く（全曲リピート再生）

1つのグループ(1枚のCD)に記録されているすべての曲、または1つのカテゴリーに記録されているすべての曲を繰り返し再生します。

**1.** MODEボタンを押して再生モードの設定に入り、MULTI JOGノブを回して(リモコンでは＋、－ボタンまたは▲、▼ボタンを押して)、"Repeat"を選択します。

**2.** MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、リピート再生の設定に入ります。

**3.** MULTI JOGノブを回して(リモコンでは＋、－ボタンまたは▲、▼ボタンを押して)、"Repeat Full"を選択します。

**4.** MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、確定します。
ディスプレイのREPインジケーターが点灯します。

メモ

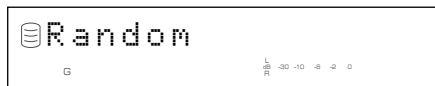
- リモコンのREPEATボタンを2回押すだけで、簡単に全曲リピート再生を設定することもできます。
- ランダム再生中は、ランダムに選択された曲を同じ順序で繰り返し再生します。

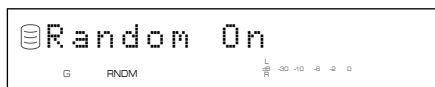
### 全曲リピート再生の設定を解除する

手順3で、"Repeat Off"を選択して確定するか、リモコンのREPEATボタンをREPインジケーターが消灯するまで押してください。

## ■ 順不同に聞く（ランダム再生）

本機では、HDD上のグループに記録された曲や、CD内の曲を順不同(ランダム)に選択して聞くことができます。

**1.** MODEボタンを押して再生モードの設定に入り、MULTI JOGノブを回して(リモコンでは＋、－ボタンまたは▲、▼ボタンを押して)、"Random"を選択します。

**2.** MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、ランダム再生の設定に入ります。

**3.** MULTI JOGノブを回して(リモコンでは＋、－ボタンまたは▲、▼ボタンを押して)、"Random On"を選択します。

**4.** MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、確定します。
ディスプレイのRNDMインジケーターが点灯します。

メモ

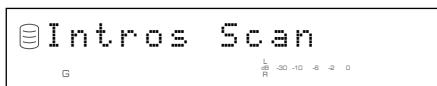
- リモコンのRANDOMボタンを押すだけで、簡単にランダム再生を設定することもできます。
- 再生中にランダム再生の設定をすると、次の曲から設定が適用され、ランダム再生となります。

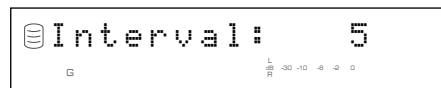
### ランダム再生の設定を解除する

手順3で、"Random Off"を選択して確定するか、リモコンのRANDOMボタンを押してください。ディスプレイのRNDMインジケーターが消灯します。

# ■ 曲の最初の部分だけを聞く（イントロ再生）

曲の最初の部分を指定した時間分だけ、次々に再生します。

**1.** **MODEボタンを押して再生モードの設定に入り、MULTI JOGノブを回して（リモコンでは+、−ボタンまたは▲、▼ボタンを押して）、"Intros Scan"を選択します。**

**2.** **MULTI JOGノブ（リモコンではENTERボタン）を押して、イントロ再生の設定に入ります。**

**3.** **MULTI JOGノブを回して（リモコンでは+、−ボタンまたは▲、▼ボタンを押して）、再生時間を指定します。**
再生時間は1秒から10秒までは1秒単位で、10秒から60秒までは5秒単位で指定できます。

**4.** **MULTI JOGノブ（リモコンではENTERボタン）または▷/▯▯ボタンを押して、確定します。**
イントロ再生が始まります。

メモ

リモコンのINTROボタンを押すだけで、簡単にイントロ再生を開始することもできます。この場合は再生時間を設定することはできません。（前回設定した再生時間が適用されます。）

### イントロ再生の設定を解除する

□ボタン（リモコンではINTROボタン）を押します。

2

基本的な操作

# お好みの曲リストを作成する（ブックマーク）

お好みの曲をブックマークしておくと、あとでブックマークリスト（お好みの曲集）を選択してまとめて再生することができます。

## ■ ブックマークをつける

**再生中に、TRACK NO./BOOKMARKボタン（リモコンではBOOKMARKボタン）を押して、ディスプレイにMARKインジケーターを点灯させます。**

MARK　G

メモ

- 再生中、停止中にかかわらず、ブックマークがつけられたトラックが選択されているときは、常にMARKインジケーターが点灯します。
- ブックマークをつけたトラックのリストは、HDDとCD各々ひとつずつ作成できます。
- HDD側でブックマークをつけて作成したトラックのリストは、HDDに保存されます。ただし、ひとつしか保存できないので、複数保存したいときは、編集メニューの「Album Copy」（P.56）を使用してアルバムにコピーしてください。
- CD側でブックマークをつけて作成したトラックのリストは、CDを取り出したり、本機の電源を切ると消去されます。
- ブックマークを使ってアルバムを作成するには、ブックマークをつけたトラックのリストをアルバムにコピーします。「Album Copy」（P.56）で、"Mark"をコピー元として選択することにより、ブックマークをアルバムにコピーできます。

## ■ ブックマークした曲を再生する

**1.** **MULTI JOGノブ（リモコンではENTERボタン）を押して、ディスプレイにGROUPインジケーターを点灯させます。**

**2.** **MULTI JOGノブを回して（リモコンでは＋、－ボタンまたは▲、▼ボタンを押して）、"Mark"を選択します。**

**CDの場合**

**HDDの場合**

**3.** **▷/▯▯ボタンを押して、再生を開始します。**
再生される順番は、ブックマークをつけた順番となります。

## ■ ブックマークを解除する

**ブックマークをつけたトラックの再生中に、TRACK NO./BOOKMARKボタン（リモコンではBOOKMARKボタン）を押して、MARKインジケーターを消灯させます。**

**操作中のドライブのブックマークをすべて解除する**
停止中に本体のTRACK NO./BOOKMARKボタンを押しながらCLEARボタンを押すとディスプレイに以下の表示が出て、すべてのブックマークが解除されます。

# オンスクリーンディスプレイ(OSD)を使用する

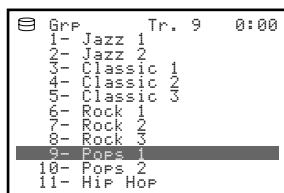
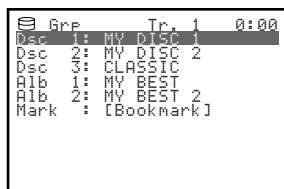
本機にモニターを接続すると、再生するグループやトラックのリスト(一覧)などを表示させせることができます。選曲する際にオンスクリーンを利用すると、グループやトラックの表示が本体のディスプレイに比べ、見やすく表示されるため、便利です。

メモ

ビデオ出力の設定がオフになっているときは、オンスクリーン表示は出力されません。設定をオンにして使用してください(P.76)。

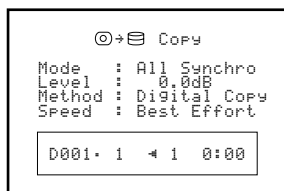


## グループやトラックのリスト表示

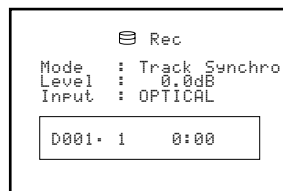
グループナンバーおよびグループタイトル、またはトラックナンバーおよびトラックタイトルが表示されます。MULTI JOGノブを押して切り替えることができます。

メモ

ブックマークをつけたトラックには、トラック名の左側にアスタリスク(*)が表示されます。

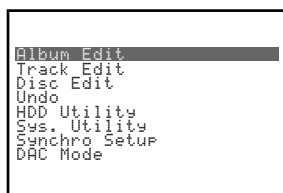
## コピー時の表示

コピーするときの設定等が表示されます。

例:CDからHDDへコピーする場合

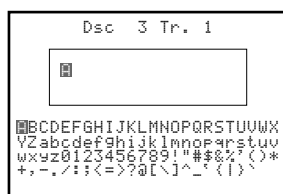
## 録音時の表示

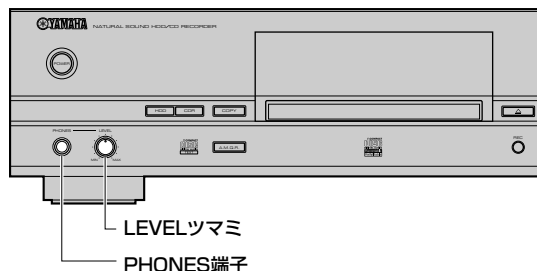
録音するときの設定等が表示されます。

例:HDDへ録音する場合

## 設定項目のリスト表示

各種設定をするときに項目名が表示されます。

例:メニューを設定する場合

## タイトル編集時の表示

アルバムタイトル(P.57)、トラックタイトル(P.67)、ディスクタイトル(P.71)を編集するときに表示されます。

例:トラックタイトルを編集する場合

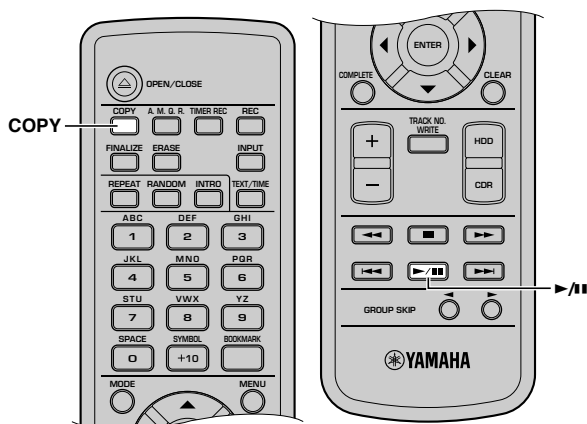
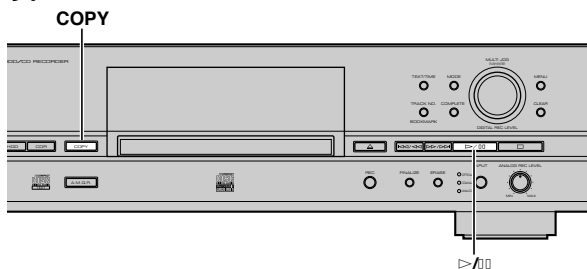
# ヘッドフォンを使用する

お手持ちのヘッドフォンのプラグを本体前面のPHONES端子に接続します。

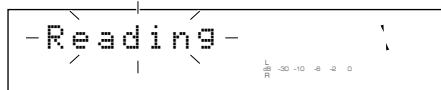
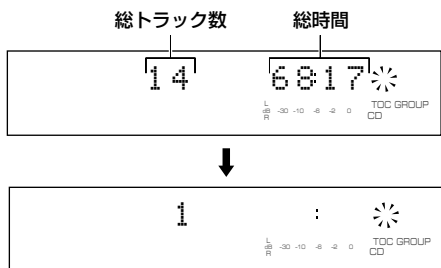
LEVELツマミを回して、ヘッドフォンの音量を調節します。

ご注意

本機が接続されているアンプ、レシーバー等の電源が切れていると、本機の音が歪むことがあります。この場合は、接続されているアンプ、レシーバー等の電源を入れた状態でご使用ください。

## ■ CDの全曲をHDDにコピーする

CDに録音されているすべての曲を一括でHDDへコピーします。

**1. コピー元のCDをディスクトレイにセットします。**

本機にCDを入れると、本機内部でCDの種類や容量を読み取ります。読み取りには通常10～20秒かかりますが、種類によってはこの時間が長くなる場合があります。
その間、ディスプレイには以下のように表示されます。

情報の読み取りが完了すると、ディスプレイには以下のように表示され、操作可能になります。

**2. COPYボタンを1回押します。**

ディスプレイには以下のように表示され、HDDコピー待機状態になります。この時点では、まだコピーは開始されません。

メモ

- HDDコピー待機状態では、HDDコピー時の設定を細かく指定することができます。詳しくは「HDDコピーモードを設定する」(P.30)および「HDDコピーメニューを設定する」(P.31)をご参照ください。
- 曲のコピー先をお好みのディスクに変更することも可能です。詳しくは「曲のコピー先ディスクを指定する」(P.30)ご参照ください。(コピー先を指定しない場合は、空いているディスクのうち、ディスクナンバーが最小のものが自動的に選ばれます。)

**3. ▷/❙❙ボタンを押して、コピーを開始します。**

ディスプレイには以下のようにコピーの進行状況が表示されます。

HDDコピーメニュー(P.31)の設定を変更していない場合、以下の条件(初期設定)でコピーされます。

- Copy Method: Digital Copy
- Copy Level: 0dB
- Copy Speed: Best Effort

メモ

- コピーの準備のため、▷/❙❙ボタンを押してから、実際にコピーが開始されるまで多少時間がかかります。
- 本機は、高速でCDを回転させてコピーしますので、若干の振動および回転音が発生することがあります。

コピーを途中で中止するには、□ボタンを押してください。

**コピーが終了すると、自動的にHDDとCDの動作が停止します。**

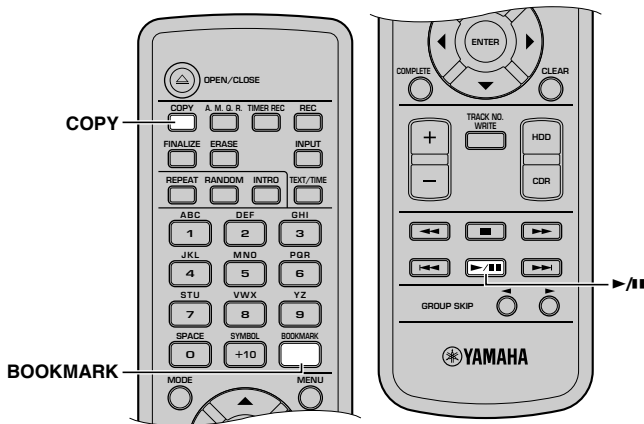
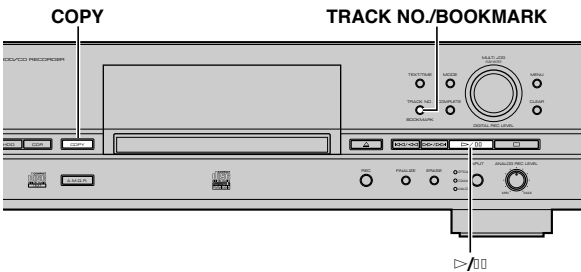
**CD TEXTの扱い**

コピー元のCDに、コピー可能なCD TEXT(タイトル情報)がある場合は、コピー時に自動的にCD TEXTをコピーします。

**コピー時の再生音の信号出力について**

- 1倍速でコピーする場合には、アナログ/デジタル両出力端子から再生音の信号が出力されます。
- 2倍速でコピーする場合には、アナログ出力端子から速度に応じた再生音の信号が出力されます。(デジタル出力端子からは出力されません。)
- 1倍速、2倍速以外でコピーする場合には、アナログ/デジタル両出力端子ともに再生音の信号は出力されません。

## ■ CDの一部の曲をHDDにコピーする

CDの曲からお好みの曲のみを、HDDにコピーします。

**1.** **コピー元のCDをディスクトレイにセットして、お好みの曲にブックマークをつけます(P.26)。**
ブックマークをつけた順番が曲順となり、保存されます。

メモ

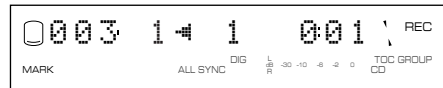
CDを取り出したり、本機の電源を切ると、そのCDでつけたブックマークはすべて解除されます。

**2.** **COPYボタンを1回押します。**
HDDコピー待機状態になります。この時点では、まだコピーは開始されません。

メモ

・HDDコピー待機状態では、HDDコピー時の設定を細かく指定することができます。詳しくは「HDDコピーモードを設定する」(P.30)および「HDDコピーメニューを設定する」(P.31)をご参照ください。
・曲のコピー先をお好みのディスクに変更することも可能です。詳しくは「曲のコピー先ディスクを指定する」(P.30)をご参照ください。(コピー先を指定しない場合は、空いているディスクのうち、ディスクナンバーが最小のものが自動的に選ばれます。)

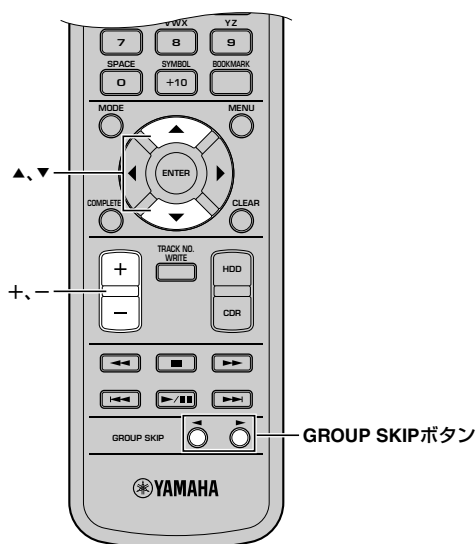
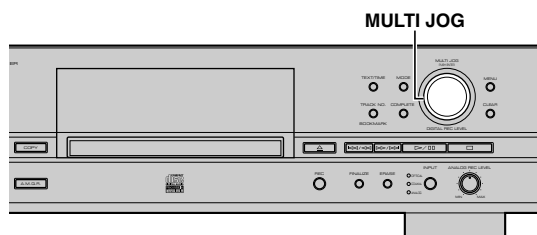
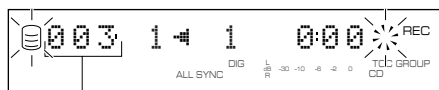
**3.** **TRACK NO./BOOKMARKボタン(リモコンではBOOKMARKボタン)を押します。**
ブックマークをつけた曲順リストが選択されます(MARKインジケーター点灯)。もう一度押すと、通常のコピースタンバイ状態に戻ります。

**4.** **▷/▯▯ボタンを押して、コピーを開始します。**
ディスプレイには以下のようにコピーの進行状況が表示されます。

メモ

・コピーの準備のため、▷/▯▯ボタンを押してから、実際にコピーが開始されるまで多少時間がかかります。
・本機は、高速でCDを回転させてコピーしますので、若干の振動および回転音が発生することがあります。

コピーを途中で中止するには、□ボタンを押してください。

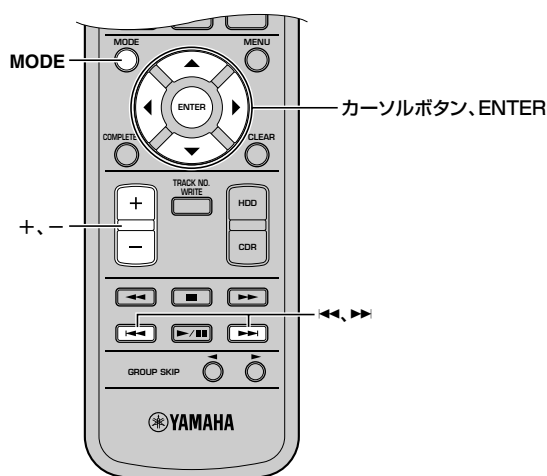
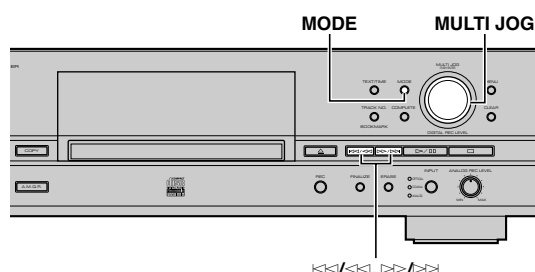
**コピーが終了すると、自動的にHDDとCDの動作が停止します。**

## ■ 曲のコピー先ディスクを指定する

**HDDコピー待機状態(P.28, 29)でMULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタン、GROUP SKIPボタン、または▲、▼ボタンを押して)、曲を追加するディスクを選択します。**

メモ

すでに曲が録音されているディスクを選択した場合、そのディスクの最終トラック以降へ追加記録されます。

## ■ HDDコピーモードを設定する

HDDコピーモードでは、CDからHDDにコピーする曲数を指定することができます。

初期設定: All Synchro

1. **HDDコピー待機状態(P.28, 29)でMODEボタンを押します。**
   HDDコピーモードの選択に入ります。

2. **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンまたは▲、▼ボタンを押して)、HDDコピーモードを選択します。**
   以下のHDDコピーモードから選択してください。

   All Synchro(全曲シンクロコピー)
   ソース側の再生と同期して全曲をコピーします。曲間を検出して自動的にトラックマークがつきます。

   Multi Synchro(マルチシンクロコピー)
   ソース側の再生と同期して指定した曲数をコピーします。曲数は最小1曲から最大99曲の範囲で指定できます。

**3.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、コピーモードを確定します。**
"All Synchro"を確定した場合は、HDDコピー待機状態に戻ります。
"Multi Synchro"を確定した場合は、ディスプレイには以下のように表示されます。手順4へ進んでください。

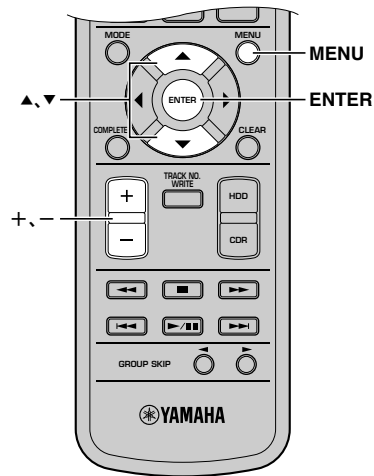
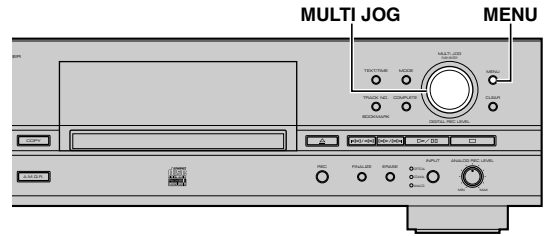
**4.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンまたは▲、▼ボタンを押して)、コピーする曲数を指定します。**
最小1曲から最大99曲の範囲で指定できます。

**5.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、確定します。**
HDDコピー待機状態(P.28, 29)に戻ります。

**6.** **⏮/⏪または⏩/⏭ボタン(リモコンでは⏮、⏭ボタンまたは◀、▶ボタン)を押して、コピーを開始する曲を指定します。**

**CDの全曲をコピーする場合は、「CDの全曲をHDDにコピーする」(P.28)の手順3を実行します。**
**CDの一部の曲をコピーする場合は、「CDの一部の曲をHDDにコピーする」(P.29)の手順3以降を実行します。**

## ■ HDDコピーメニューを設定する

HDDコピーメニューでは、CDからHDDへのコピーに使用するコピー方式、音声レベル、コピー速度を設定することができます。

**1.** **HDDコピー待機状態(P.28, 29)でMENUボタンを押します。**
HDDコピーメニューの設定に入ります。

**2.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンまたは▲、▼ボタンを押して)、設定したいHDDコピーメニューを選択します。**
設定できるメニューは以下の3つです。各メニューの設定値について詳しくはP.32をご参照ください。
- Copy Method(コピー方式の設定)
- Copy Level(音声レベルの設定)
- Copy Speed(コピー速度の設定)

**3.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、設定したいメニューを確定します。**

**4.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンまたは▲、▼ボタンを押して)、各項目を選択、設定してください。**

**5.** **設定が終了したら、MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、設定を確定します。**

**6.** **MENUボタンを押して、メニューを終了します。**
HDDコピー待機状態(P.28, 29)に戻ります。

## コピー方式(Copy Method)

コピーの方式を設定します。正しく設定しないと、コピーができない場合がありますので注意してください。

初期設定: Digital Copy

### Digital Copy
常にデジタルコピーします。SCMS(P.84)により、デジタルコピーが禁止されているトラックは、コピーができません。

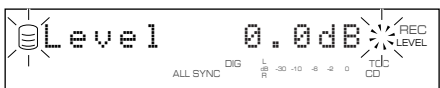
### Auto Dig/Anlg
デジタルコピーするか、アナログコピーするかをトラックごとに判定します。SCMS(P.84)により、デジタルコピーが禁止されているトラックは、アナログコピーし、禁止されていないトラックはデジタルコピーします。

### Analog Copy
常にアナログコピーします。

**メモ**
- アナログコピー時は、若干音声レベルが下がってコピーされる場合があります。
- 設定内容は記憶されて、次のコピー時にも適用されます。

## 音声レベル(Copy Level)

コピー時の音声レベルを設定します。通常、調節は不要ですが、必要に応じて調節してください。

音声レベルは－12dBから＋12dBの範囲(0.4dB単位)で調節できます。

**メモ**
- コピー中はレベルの調節ができません。
- 最大音量時にピークレベルメーターの赤色の部分が点灯する場合は、いったんコピーを停止して、レベルを再調節してから再度コピーをしてください。
- 音声レベルを調節すると、コピー速度は最大2倍速になります。

## コピー速度(Copy Speed)

コピーする速度を設定します。

初期設定: Best Effort

### Best Effort
コピー方式やコピーレベルの設定に応じた最大速度でコピーします。
- Digital Copy設定時:　最大10倍速(音声レベル調整時:2倍速)
- Auto Dig/Anlg設定時:　2倍速
- Analog Copy設定時:　2倍速

### 2x Copy
常に2倍速でコピーします。

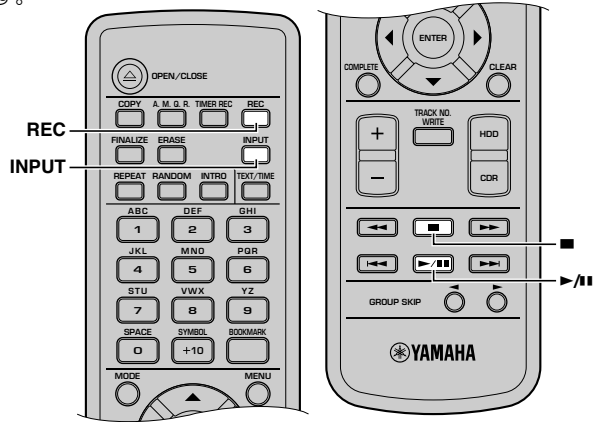
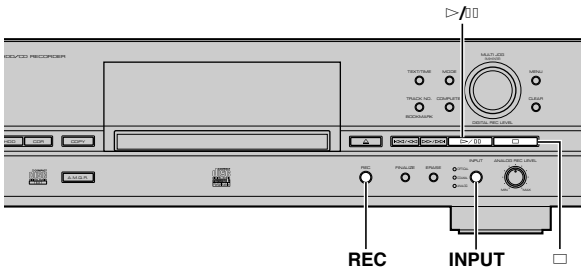
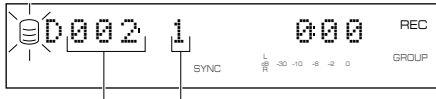
### 1x Copy
常に等倍速でコピーします。

**メモ**
- "Best Effort"を選択した場合でも、CDの傷、よごれ等により、自動的にコピー速度が低下する場合があります。
- 設定内容は記憶されて、次のコピー時にも適用されます。

## ■ 外部入力ソースをHDDに録音する

本機に接続した外部機器(CDプレイヤーやMDプレイヤーなど)の音声をHDDに録音します。

ご注意
・本機に入力できるデジタル信号はPCM信号に限ります。
・外部入力ソースを直接CD-R/CD-RWに録音することはできません。

メモ
HDDへの録音は、「ディスク」という単位で行われます。ひとつのディスクの最長時間は179分59秒です。これを超えて録音した場合には、自動的に次の空いているディスクに連続して録音します。

**1. HDDが選択された状態(P.16)で、RECボタンを押します。**
HDDマークが点滅し、録音先のディスクナンバーとトラックナンバーが表示されます。この時点では、まだ録音は開始されません(HDD録音待機状態)。

録音先のディスクナンバー　録音先のトラックナンバー

メモ
・HDD録音待機状態では、HDD録音時の設定を細かく指定することができます。詳しくは「HDD録音モードを設定する」(P.37)をご参照ください。
・曲の録音先をお好みのディスクに変更することも可能です。詳しくは「曲のコピー先ディスクを指定する」(P.30)をご参照ください。(録音先を指定しない場合は、空いているディスクのうち、ディスクナンバーが最小のものが自動的に選ばれます。)

**2. INPUTボタンを押して、録音する入力ソースを選択します。**
選択している入力ソース(OPTICAL、COAXIAL、ANALOG)のランプが点灯します。

**3. 録音レベルを調節します。**

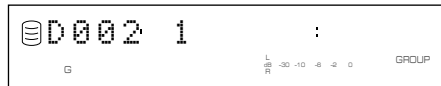
詳しくは、「録音レベルを調節する」(P.36)をご参照ください。

**4. ▷/▯▯ボタンを押して、録音を開始します。**

**5. 外部機器でソースの再生を開始します。**

録音を一時停止するには、▷/▯▯ボタンを押します。HDDマークが点滅し、トラックナンバーがひとつ繰り上がります。
録音を再び始めるには、▷/▯▯ボタンを押します。

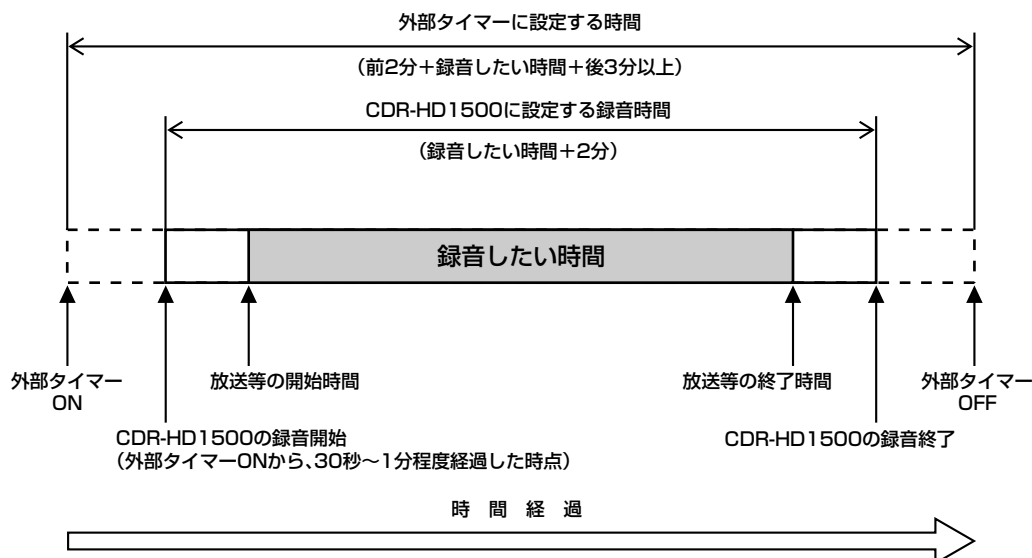
メモ
本機で外部ソース録音する際、トラックマークは自動的に設定されますが、手動でトラックマークをつけることも可能です。詳しくは「録音中にトラックマークをつける(マニュアルマーキング)」(P.39)をご参照ください。

**6. 録音を終えるには、□ボタンを押します。**
ディスプレイには、録音したディスクの最初のトラックナンバーが表示されます。

**重要**
・録音中に電源を切らないでください。正しく録音できなかったり、HDD上のデータが破損する原因となります。
・HDDが故障する原因となる場合があるので、録音中は衝撃や振動を本機に加えないでください。

# ■ 外部タイマーを使用して録音する

## 録音時間設定上のご注意

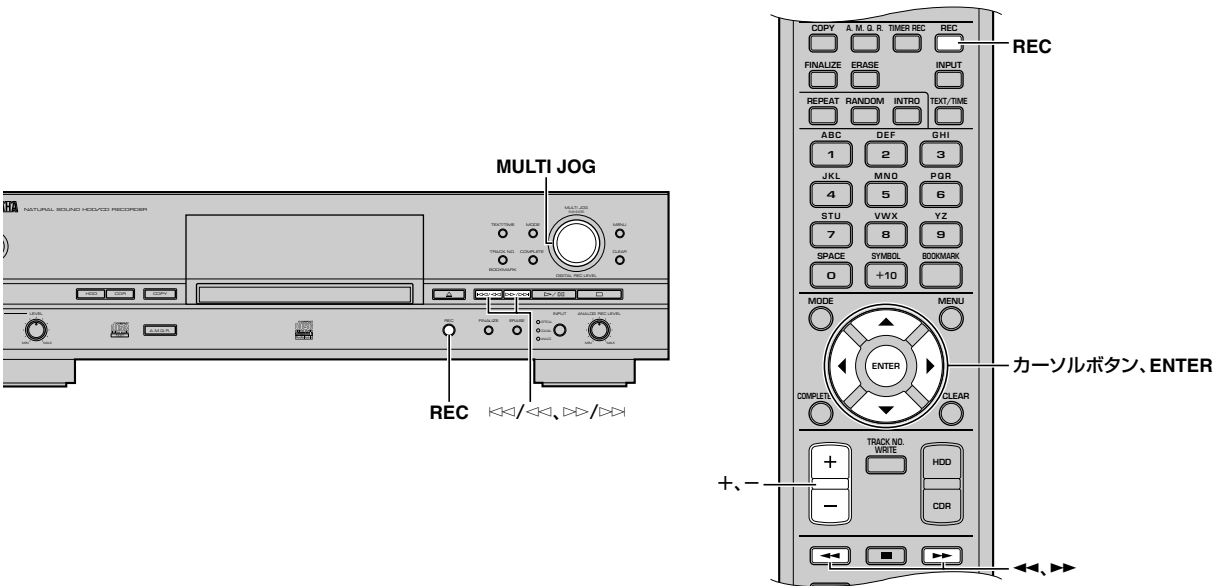
· 本機には時計機能が内蔵されていません。タイマー録音をおこなう場合、外部タイマーを使用してください。
· 外部タイマーにより本機の電源が入ってから、実際に録音が開始するまでには30秒から1分程度かかります(状況により変動します)。その間は録音されませんので、**外部タイマーにより電源を入れる時間は、録音したい放送等の開始時間から2分前に設定してください。**
· HDDレコーダーの特性として、録音する音声データのほかに、そのデータを管理するための情報を記録する必要があります。この管理情報は通常、録音が停止したときに記録されるため、録音停止前に電源が切れると、録音した音声データは記録されません。**外部タイマーにより電源を切る時間は、録音したい放送等の終了時間から3分以上後に設定してください。**
· **本機の録音トータル時間は、実際に録音したい時間に2分加えた時間を設定してください。**

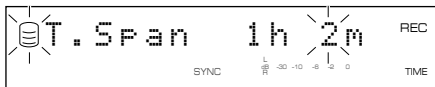
以下の図は、本機でタイマー録音するときの時間の流れを示したものです。

**例: 9:00から10:00までの番組を録音する場合**
· 外部タイマーの電源が8:58に入るように設定します。
· 外部タイマーの電源が10:03以降に切れるように設定します。
· 本機の録音トータル時間は1時間2分に設定します。

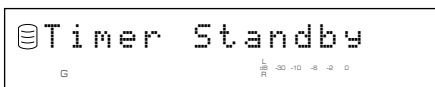
**メモ**
· 実際録音されたものには、録音したい部分の前後に若干の余分な部分が録音されています。不要な部分は編集操作によって削除してください。
· タイマー録音中にデジタル入力信号の録音禁止信号(コピーガード信号など)が入力されると、録音が停止します。
· BSデジタル放送などのAAC信号が入力されると、録音が停止します。BSデジタル放送を録音する場合は、チューナーのデジタル出力設定をPCM固定にしてください。
· 録音トータル時間を179分59秒以上に設定した場合、複数のディスクにまたがって録音されます。録音した内容を連続して再生するには、プレイスタイル(P.22)を"Style All"に設定してください。

## タイマー録音を設定する

メモ

· タイマー録音の設定は、CD-RまたはCD-RWへの録音時には設定できません。
· リモコンのTIMER RECボタンを押すと、直接手順3のタイマー録音時間の設定に入ることができます。

**1.** **「外部入力ソースをHDDに録音する」(P.33)の手順1、2を実行します。**
HDD録音モード(P.37)は、マニュアル録音、トラックシンクロ録音、オートピリオド録音のいずれかを選択してください。これ以外のHDD録音モードを選択した場合には、タイマー録音の設定はできません。

**2.** **RECボタンを約3秒間押しつづけます(リモコンではTIMER RECボタンを押します)。**
ディスプレイには以下のように表示され、タイマー録音時間の設定に入ります。

**3.** **⏮/◁◁、▷▷/⏭ボタン(リモコンでは◀◀、▶▶ボタンまたは◀、▶)を押してh(時)またはm(分)を選択し、MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンまたは▲、▼ボタンを押して)タイマー録音時間を調節します。**

**4.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、タイマー録音時間を確定します。**
ディスプレイには"Timer Standby"と表示されます。

タイマー録音の設定を解除するには、□ボタンを押します。

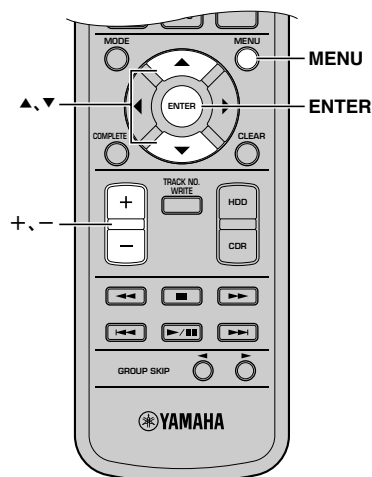
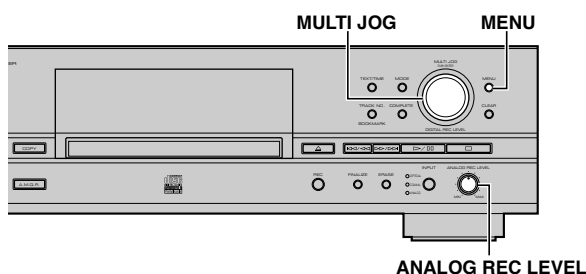
**5.** **本機の電源を入れたまま、外部タイマーによって電源を切ります。**
外部タイマーにより再度電源が入ると、"Timer Standby"が約5秒間点滅したあと、設定にしたがって録音が始まります。

メモ

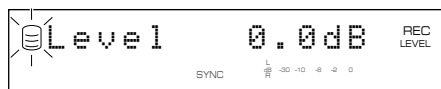
· タイマー録音を一度設定すると、電源が入るたびに録音が始まります。設定を解除したいときは、"Timer Standby"が点滅している間に□ボタンを押すか、録音中に□ボタンを押してください。
· 本機では、複数のタイマー録音時間を設定することはできません。長さが異なる複数の番組を録音する場合は、以下を参考に設定してください。また必要に応じて、HDDに録音したソースを編集(部分削除、分割)してください。詳しくは"Part Erase"(P.63)および"Track Devide"(P.64)をご参照ください。

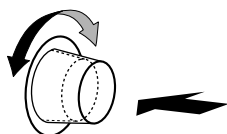
例: 9:00から10:00の番組と10:30から11:00の番組を録音する場合
(設定方法 1)
外部タイマーの設定:
8:58入−10:03切、10:28入−11:33切
"T.Span"の設定: 1h 2m
(設定方法 2)
外部タイマーの設定: 8:58入−11:.03切
"T.Span"の設定: 2h 2m

# ■ 録音レベルを調節する

録音する入力ソースによって調節する手順が異なります。録音する入力ソースに応じて、いずれかの手順を行ってください。

## デジタル入力ソース(OPTICAL、COAXIAL)を録音する場合

デジタル入力ソースの録音レベルは、デジタルソースの基準レベルのまま録音する0dBに初期設定されています。
通常、調節は不要ですが、必要に応じて調節することができます。

**1.** **HDD録音待機状態(P.33)でMENUボタンを押します。**
ディスプレイには以下のように表示されます。

**2.** **録音する入力ソースの一番大きい音の(レベルが高い)部分を再生します。**

**3.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンまたは▲、▼ボタンを押して)、レベルを調節します。**

−12dBから+12dBの範囲で、0.4dB単位で調節できます。
録音レベルの調節は、最大音量時にピークレベルメーターの赤色の部分を点灯させない程度にしてください。

**4.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押すと、もとの表示に戻ります。**

メモ
- 録音待機状態、録音中にかかわらず、レベルの調節ができます。いったんストップすると0dBにリセットされます。
- 録音待機状態でレベルを調節しているとき、MENUボタンを押すと、レベル調節がキャンセルされ、ディスプレイがもとの表示に戻ります。
- 録音待機状態でレベルを調節しているとき、CLEARボタンを押すと、レベルが0dBに設定されます。

## アナログ入力ソース(ANALOG)を録音する場合

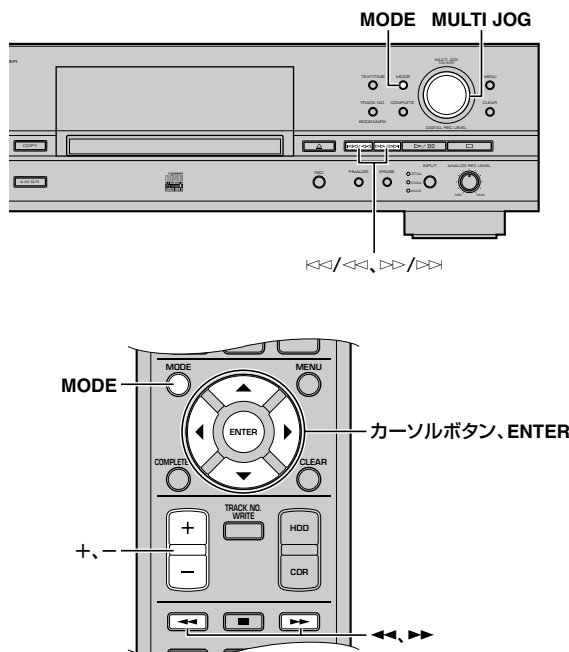
**1.** **録音する入力ソースの一番大きい音の(レベルが高い)部分を再生します。**

**2.** **ANALOG REC LEVELツマミを回して、レベルを調節します。**
ツマミを右に回すとレベルが大きくなり、左に回すとレベルが小さくなります。
録音レベルの調節は、最大音量時にピークレベルメーターの赤色の部分を点灯させない程度にしてください。

メモ
HDD録音待機状態、録音中にかかわらず、レベルの調節ができます。

# ■ HDD録音モードを設定する

本機には多様な録音モードがあります。目的にあわせて適切なモードを選択してください。

初期設定: Track Synchro

**1.** **録音待機状態(P.33, 35)でMODEボタンを押します。**

**2.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンまたは▲、▼ボタンを押して)、HDD録音モードを選択します。**
以下のHDD録音モードから選択してください。

Manual(マニュアル録音)
録音開始、停止、トラックマーキング等すべての録音操作は、マニュアルで行います。

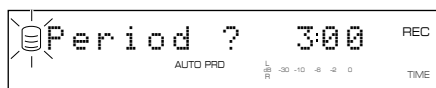
Track Synchro(トラックシンクロ録音)
録音開始および停止操作のみマニュアルで行います。トラックマークは曲間を検出して自動的につきます。

Multi Synchro(マルチシンクロ録音)
ソース側の再生と同期して指定した曲数を録音します。曲数は最小1曲から最大99曲の範囲で指定できます。いろいろなソースからお好みの曲だけを録音するときに便利です。

All Synchro(全曲シンクロ録音)
ソース側の再生と同期して全曲を録音します。曲間を検出して自動的にトラックマークがつきます。

Auto Period(オートピリオド録音)
指定した時間間隔で、トラックマークをつけながら、指定したトータル時間分を録音します。トラックマークをつける間隔は最短10秒から最長30分の範囲で、10秒単位で指定できます。FM放送などの録音内容をサーチするときなどに便利です。

**3.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、録音モードを確定します。**
"Manual"、"Track Synchro"および"All Synchro"を確定した場合は、録音待機状態に戻ります。
"Multi Synchro"を選択した場合は、ディスプレイには以下のように表示されます。下記「"Multi Synchro"選択時の手順」にしたがって設定します。

"Auto Period"を選択した場合は、ディスプレイには以下のように表示されます。下記「"Auto Period"選択時の手順」にしたがって設定します。

("Multi Synchro"選択時の手順)

**4.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンまたは▲、▼ボタンを押して)、曲数を指定します。**
最小1曲から最大99曲の範囲で指定できます。

**5.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、指定する曲数を確定します。**
録音待機状態(P.33, 35)に戻ります。

("Auto Period"選択時の手順)

**4.** **⏮/◁◁、▷▷/⏭ボタン(リモコンでは◀◀、▶▶ボタンまたは◀、▶)を押してh(時)またはm(分)を選択し、MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンまたは▲、▼ボタンを押して)トラックマークをつける間隔を調節します。**
最短10秒から最長30分の範囲で、10秒単位で指定できます。

**5.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、トラックマークをつける時間間隔を確定します。**
ディスプレイには以下のように表示され、録音するトータル時間の指定に入ります。

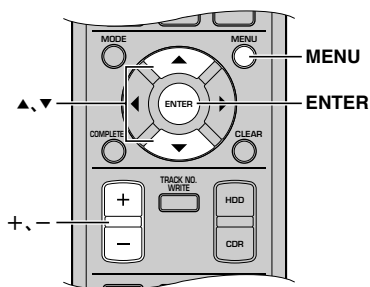
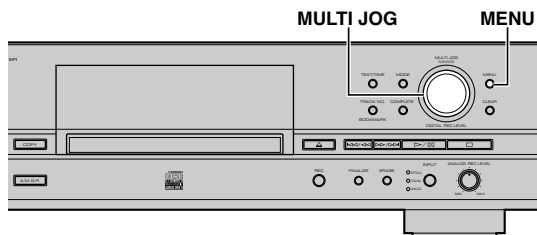
**6.** **⏮/◁◁、▷▷/⏭ボタン(リモコンでは◀◀、▶▶ボタンまたは◀、▶)を押してh(時)またはm(分)を選択し、MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンまたは▲、▼ボタンを押して)録音時間を調節します。**

**7.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、録音時間を確定します。**
録音待機状態(P.33, 35)に戻ります。

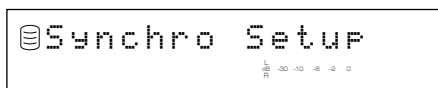
メモ

・オートピリオド録音時に、グループ残り時間がトラックマークをつける間隔に満たない場合は、自動的に次の空いているディスクに連続して録音します。
・オートピリオドで録音した場合にはフレーム単位で若干の誤差が生じるため、録音終了後の各トラック時間およびグループ総時間の表示が、指定した間隔および録音時間と合わないことがあります。

## シンクロ録音時の条件を設定する

曲間を自動検出してトラックマークをつける、トラックシンクロ、マルチシンクロおよび全曲シンクロ録音時の、曲間の検出条件を設定することができます。設定項目は以下のとおりです。

**1. 停止状態でMENUボタンを押します。**
ディスプレイがメニュー項目選択の表示になります。

**2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンまたは▲、▼ボタンを押して)、"Synchro Setup"を選択します。**

Synchro Setup

**3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押します。**
ディスプレイが設定項目選択の表示になります。

**4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンまたは▲、▼ボタンを押して)、設定項目を選択します。**

OPT TH Level
光デジタル入力端子への信号を"信号なし"と判断する信号レベルを設定します。
初期設定: −50dB、可変範囲: −90〜−20dB

COAX TH Level
同軸デジタル入力端子への信号を"信号なし"と判断する信号レベルを設定します。
初期設定: −50dB、可変範囲: −90〜−20dB

ANLG TH Level
アナログ入力端子への信号を"信号なし"と判断する信号レベルを設定します。
初期設定: −40dB、可変範囲: −60〜−20dB

Int. Time
曲間を判断する、"信号なし"(無音状態)の時間の長さを設定します。設定した時間分の無音状態が続くと、曲間と判断し、トラックマークをつけます。
初期設定: 2.0sec、可変範囲: 0.5〜5.0sec

End Duration
全曲シンクロ録音時にソース再生の終了を判断する、"信号なし"(無音状態)の時間の長さを設定します。設定した時間分の無音状態が続くと、録音が終了します。
初期設定: 12.0sec、可変範囲: 2.0〜60.0sec

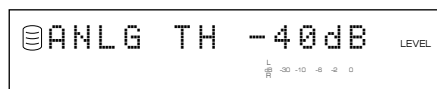
**メモ**

- TH Level(しきい値)を設定すると、信号レベルが設定値に満たない場合、本機はその信号を入力しません。
- "Int. Time"および"End Duration"の設定は、各入力端子共通で適用されます。

**5. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、設定項目を確定します。**
"OPT TH Level"、"COAX TH Level"、"ANLG TH Level"を選択した場合は、下記「"OPT TH Level"、"COAX TH Level"、または"ANLG TH Level"選択時の手順」にしたがって設定します。
"Int. Time"、"End Duration"を確定した場合は、下記「"Int. Time"または"End Duration"選択時の手順」にしたがって設定します。

**"OPT TH Level"、"COAX TH Level"、または"ANLG TH Level"選択時の手順**

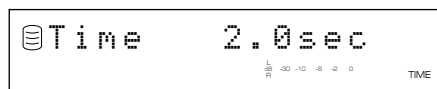
**6. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンまたは▲、▼ボタンを押して)、レベルを設定します。**
1dBステップで設定できます。

**例: "ANLG TH Level"を設定する場合**

**7. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、レベルを確定します。**
ディスプレイが設定項目選択の表示に戻ります。

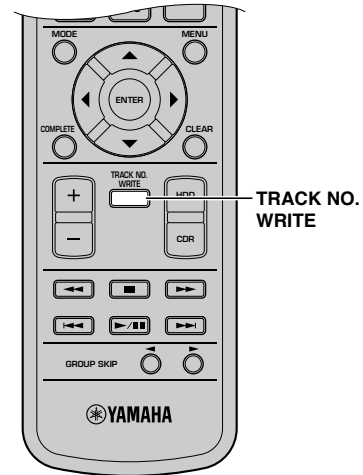
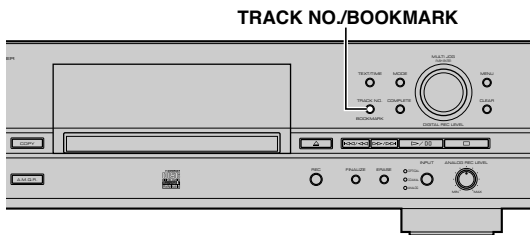
**"Int. Time"または"End Duration"選択時の手順**

**6. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンまたは▲、▼ボタンを押して)、間隔を設定します。**
"Int. Time"は0.5sec(秒)単位で、"End Duration"は1.0sec(秒)単位で設定できます。

**例: "Int. Time"を設定する場合**

Time 2.0sec
TIME

**7. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、間隔を確定します。**
ディスプレイが設定項目選択の表示に戻ります。

メニューを終了し、通常の停止状態に戻るには、MENUボタンを2回押します。

## ■ 録音中にトラックマークをつける（マニュアルマーキング）

本機で外部ソース録音する際、トラックマークは自動的に設定されますが、手動でトラックマークをつけること（マニュアルマーキング）も可能です。

**録音中、TRACK NO./BOOKMARKボタン（リモコンではTRACK NO. WRITEボタン）を押します。**

· TRACK NO./BOOKMARKボタン（リモコンではTRACK NO. WRITEボタン）を押した箇所に、トラックマークが追加されます。

· マニュアルマーキングはトラックの先頭から5秒間録音したところで有効になります。また、99曲以上はひとつのディスクに記録できません。ディスクに録音残り時間がある場合でも、99曲トラックマークがついていると、それ以上追加して録音できません。

**メモ**

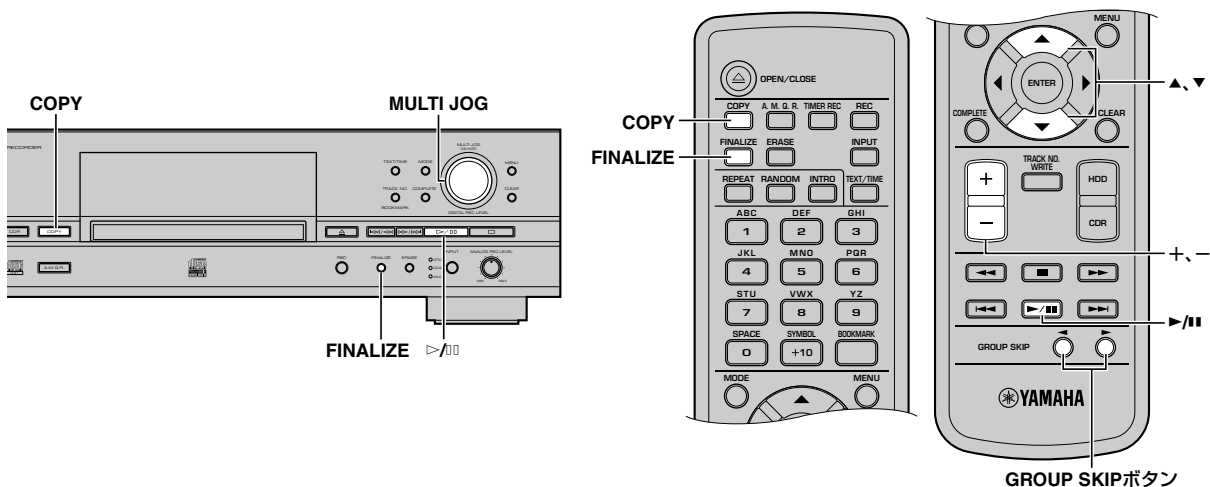
· 再生する機器によっては、シンクロ録音時でも、トラックマークが正しくつかない場合があります。この場合は、マニュアルでトラックマークをつけてください。

· シンクロ録音中もマニュアルでトラックマークをつけることができます。

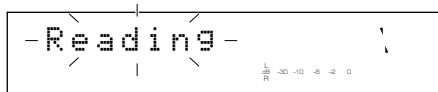
· すでにＨＤＤに録音されているトラックの途中にトラックマークをつけるには、「Track Divide」（P.64）でトラックを分割することにより、トラックの途中に新しいトラックマークをつけることができます。

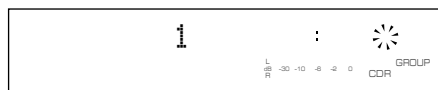
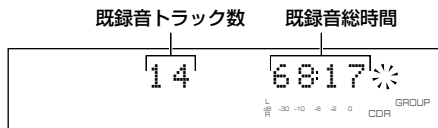
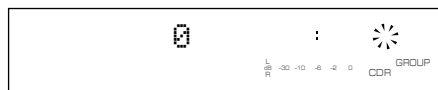
# HDDからCD-R/CD-RWへのコピー

## ■ グループ内の全曲をCD/CD-RWにコピーする

HDDのグループに収録されているすべての曲をCD-R/CD-RWディスクにコピーします。

**1. 新品または未ファイナライズのCD-RまたはCD-RWディスクをディスクトレイにセットします。**

本機にCD-RまたはCD-RWを入れると、本機内部でCD-RまたはCD-RWの種類や容量を読み取ります。読み取りには通常10〜20秒かかりますが、種類によってはこの時間が長くなる場合があります。

その間、ディスプレイには以下のように表示されます。

情報の読み取りが完了すると、ディスプレイには以下のように表示され、操作可能になります。

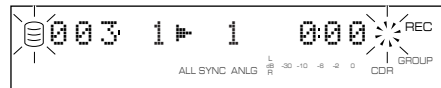
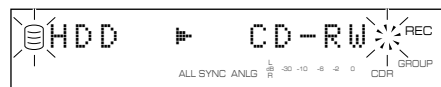
**未ファイナライズのCD-RまたはCD-RWの場合**

**新品のCD-RまたはCD-RWの場合**

メモ

ファイナライズ済みのディスクに追記して録音することはできません。ファイナライズについて詳しくは「CD-R/CD-RWのファイナライズについて」(P.vi)および「用語解説」(P.82)をご参照ください。

**2. COPYボタンを2回押します。**

ディスプレイには以下のように表示され、CDRコピー待機状態になります。この時点では、まだコピーは開始されません。

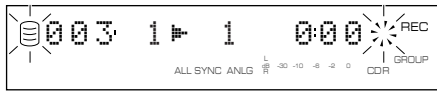
メモ

CDRコピー待機状態では、CDRコピー時の設定を細かく指定することができます。詳しくは「CDRコピーモードを設定する」(P.44)および「CDRコピーメニューを設定する」(P.45)をご参照ください。

**3. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタン、GROP SKIPボタン、または▲、▼ボタンを押して)、コピー元となるHDDのグループを選択します。**

選択したグループに応じて、以下の画面がディスプレイに表示されます。

メモ

AudioMASTER™機能を設定すると、より音の品位が高いCDを作成することができます。詳しくは「高音質でコピーする(AudioMASTER™)」(P.43)をご参照ください。

ディスクを選択した場合:

アルバムを選択した場合:

ブックマークを選択した場合:

**4.** **▷/▯▯ボタンを押して、コピーを開始します。**
ディスプレイには以下のようにコピーの進行状況が表示されます。

CDRコピーメニュー(P.45)の設定を変更していない場合、以下の条件(初期設定)でコピーされます。

- Copy Method: Digital Copy
- Copy Level: 0dB
- Copy Speed: Best Effort

メモ

- セットしたCD-RまたはCD-RWディスクの記録条件により、OPC(Optimum Power Control)機能が自動的にはたらき、ディスプレイに"OPC Adjust"と表示されます。この場合は調節が完了したあと(約10秒後)、自動的にコピーが開始されます。
- コピー中、コピー経過時間の進みかたが変化することがありますが、本機内部でのデータ処理によるもので異常ではありません。

コピーの途中で中止するには、□ボタンを押してください。

ご注意

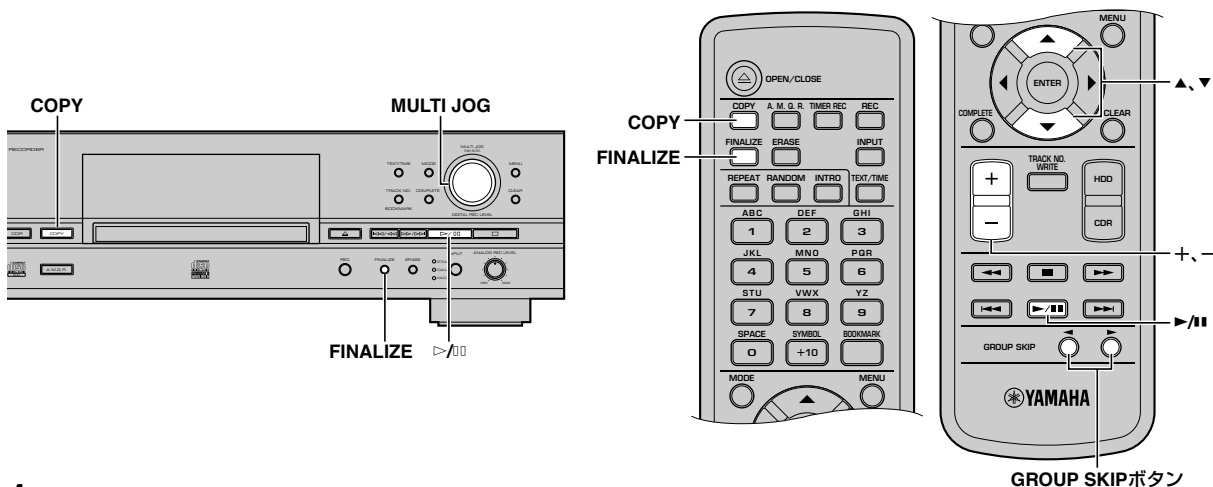
- □ボタンを押して中断した場合、中断前にコピーが完了しているデータのみCD-RまたはCD-RWに残ります。またDigital Move選択時(P.45)は、HDD上のコピー元データのうち、コピーしたトラックのデータ(途中でコピーを中断したデータを含む)は消去されます。
- CD TEXT(タイトル情報)は、新品のCD-RまたはCD-RWを使用していて、CDRコピーモードで"Full Auto"を選択している場合のみコピーされます。

- AudioMASTER™機能を設定している場合やディスプレイに"Recording"と表示されている場合は、□ボタンを押してもコピーを中断することはできません。

**コピーが終了すると、自動的にHDDとCDの動作が停止します。**

**5.** **ファイナライズ処理(P.49)を行う場合は、FINALIZEボタンを押します。**

# ■ HDDの一部の曲をCD/CD-RWにコピーする

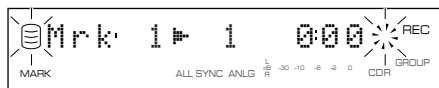
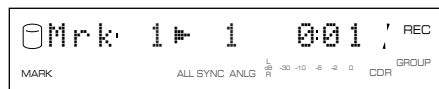
HDDのグループの曲からお好みの曲のみをCD-RまたはCD-RWディスクにコピーします。

**1. 新品または未ファイナライズのCD-RまたはCD-RWディスクをディスクトレイにセットし、HDDのグループを選択してからお好みの曲にブックマークをつけます(P.26)。**
ブックマークをつけた順番が曲順となり、保存されます。

メモ
ファイナライズ済みのディスクに追記して録音することはできません。ファイナライズについて詳しくは「CD-R/CD-RWのファイナライズについて」(P.vi)および「用語解説」(P.82)をご参照ください。

**2. COPYボタンを2回押します。**
CDRコピー待機状態になります。この時点では、まだコピーは開始されません。

メモ
CDRコピー待機状態では、CDRコピー時の設定を細かく指定することができます。詳しくは「CDRコピーモードを設定する」(P.44)および「CDRコピーメニューを設定する」(P.45)をご参照ください。

**3. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタン、GROUP SKIPボタン、または▲、▼ボタンを押して)、"Mrk"を選択します。**

メモ
AudioMASTER™機能を設定すると、より音の品位が高いCDを作成することができます。詳しくは「高音質でコピーする(AudioMASTER™)」(P.43)をご参照ください。

**4. ▷/▯▯ボタンを押して、コピーを開始します。**
ディスプレイには以下のようにコピーの進行状況が表示されます。

メモ
セットしたCD-RまたはCD-RWディスクの記録条件により、OPC(Optimum Power Control)機能が自動的にはたらき、ディスプレイに"OPC Adjust"と表示されます。この場合は調節が完了したあと(約10秒後)、自動的にコピーが開始されます。

ご注意
CD TEXT(タイトル情報)は、新品のCD-RまたはCD-RWを使用していて、CDRコピーモード(P.44)で"Full Auto"を選択している場合のみコピーされます。

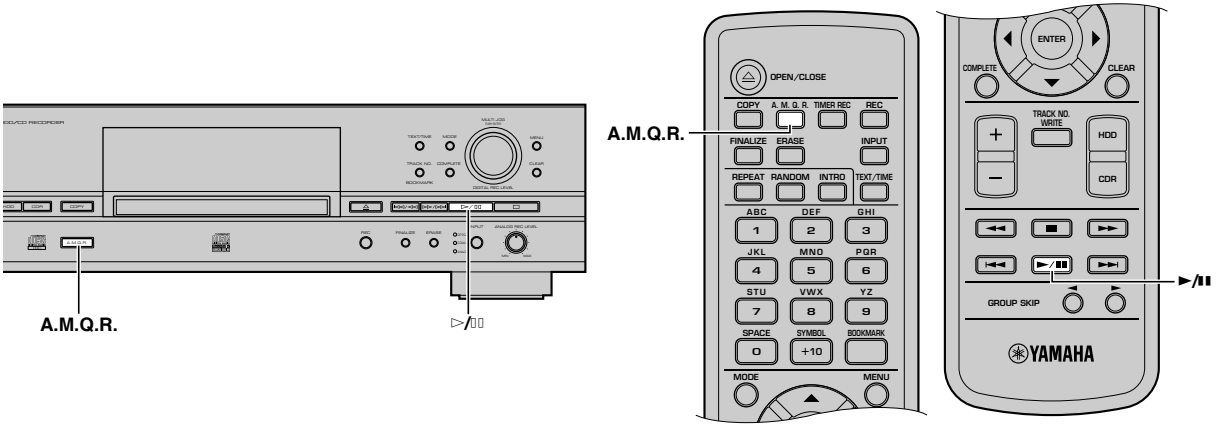
**コピーが終了すると、自動的にHDDとCDの動作が停止します。**

**5. ファイナライズ処理(P.49)を行う場合は、FINALIZEボタンを押します。**

## ■ 高音質でコピーする（AudioMASTER™）

本機に搭載のAudioMASTER™機能を使用すれば、より音の品位が高いCDを作成することができます。

**ご注意**

- AudioMASTER™機能は新品のCD-Rディスクを使用する場合のみ適用することができます。
- 録音可能時間は74分のCD-Rで約63分、79分のCD-Rで約68分になります。
- コピー方式にはDigital Move（P.45）が適用されるため、CD-Rディスクにコピーしたグループまたはトラックのデータは HDD上から消去されます。（アルバム、ブックマークのコピーにDigital Moveを適用した場合は、ディスクに保存されているトラックの実体（P.18）が消去されます。）



**1.** **CDRコピー待機状態（P.40, 42）で、A.M.Q.R.ボタンを押します。**
A.M.Q.R.インジケーターが点灯します。

**2.** **▷/⏸ボタンを押して、コピーを開始します。**
ディスプレイには以下のようにコピーの進行状況が表示されます。

以下の条件でコピーされます。

- Copy Method:　Digital Move
- Copy Level:　0dB
- Copy Speed:　Best Effort

**ご注意**

- コピーを開始すると、完了するまでボタン操作を受けつけません。
- コピー中は絶対に電源を切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。

**コピーが完了すると、自動的にHDDとCDの動作が停止し、CD-Rディスクをファイナライズします。**

**ご注意**

- 選択したグループの合計時間がCD-Rの録音可能時間を超える場合は、以下のメッセージが表示され、AudioMASTER™でのコピーはできません。

- トラックのレベルが調節されたアルバムをコピー元として選択した場合は、以下のメッセージが表示され、AudioMASTER™でのコピーはできません。

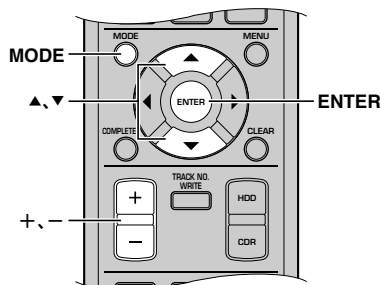
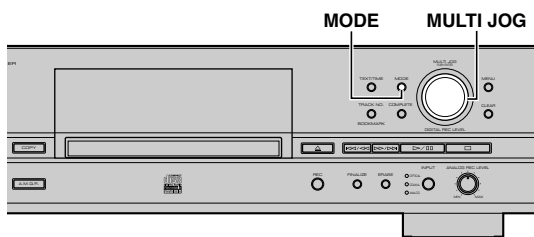
Can't Tr.Lev.

- 74分または79分以外のCD-Rや4倍速の書き込みに対応していないCD-Rを本機に入れた場合、あるいはCD-RWを本機に入れた場合は、以下のメッセージが表示され、AudioMASTER™でのコピーはできません。

Unavailable

## ■ CDRコピーモードを設定する

CDRコピーモードでは、HDDからCD-RまたはCD-RWディスクにコピーする曲数および自動ファイナライズ処理の有効/無効を指定することができます。

初期設定: All Synchro

**1.** **CDRコピー待機状態(P.40, 42)でMODEボタンを押します。**

**2.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは＋、−ボタンまたは▲、▼ボタンを押して)、CDRコピーモードを選択します。**
以下のCDRコピーモードから選択してください。

All Synchro(全曲シンクロコピー)
ソース側の再生と同期して全曲をコピーします。曲間を検出して自動的にトラックマークがつきます。

Full Auto(フルオートシンクロコピー)
全曲シンクロコピー後、自動的にファイナライズされます。

ご注意
CD TEXT(タイトル情報)は、新品のCD-RまたはCD-RWを使用していて、CDRコピーモードで“Full Auto”を選択している場合のみコピーされます。

Multi Synchro(マルチシンクロコピー)
ソース側の再生と同期して指定した曲数をコピーします。曲数は最小1曲から最大99曲の範囲で指定できます。

**3.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、コピーモードを確定します。**
"All Synchro"または"Full Auto"を確定した場合は、CDRコピー待機状態に戻ります。
"Multi Synchro"を確定した場合は、ディスプレイには以下のように表示されます。手順4へ進んでください。

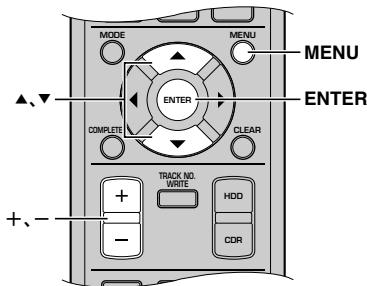
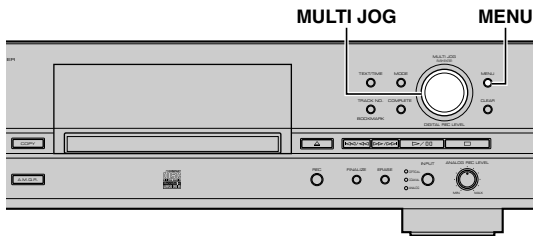
**4.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは＋、−ボタンまたは▲、▼ボタンを押して)、コピーする曲数を指定します。**
最小1曲から最大99曲の範囲で指定できます。

**5.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、確定します。**
CDRコピー待機状態(P.40, 42)に戻ります。

**6.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは＋、−ボタンまたは▲、▼ボタンを押して)、コピーを開始するグループおよび曲を指定します。**
GROUPインジケーターが点灯している際はグループの指定、TRACKインジケーターが点灯している際は曲の指定が可能です。詳しくは「グループ/トラックを切り替える」(P.17)をご参照ください。

**グループ内の全曲をコピーする場合は、「グループ内の全曲をCD/CD-RWにコピーする」(P.40)の手順3以降を実行します。**
**HDDの一部の曲をコピーする場合は、「HDDの一部の曲をCD/CD-RWにコピーする」(P.42)の手順3以降を実行します。**

# ■ CDRコピーメニューを設定する

CDRコピーメニューでは、HDDからCD-RまたはCD-RWディスクへのコピーに使用するコピー方式、音声レベル、コピー速度を設定することができます。

**1.** **CDRコピー待機状態(P.40, 42)でMENUボタンを押します。**

**2.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンまたは▲、▼ボタンを押して)、設定したいCDRコピーメニューを選択します。**

設定できるメニューは以下の4つです。各メニューの設定値について詳しくはP.45-46をご参照ください。

- Copy Method(コピー方式の設定)
- Copy Level(音声レベルの設定)
- Copy Speed(コピー速度の設定)
- Imaging Speed(ディスクイメージ作成速度の設定)

**3.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、設定したいメニューを確定します。**

**4.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンまたは▲、▼ボタンを押して)、各項目を選択、設定してください。**

**5.** **設定が終了したら、MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、設定を確定します。**

**6.** **MENUボタンを押して、メニューを終了します。**

CDRコピー待機状態(P.40, 42)に戻ります。

## コピー方式(Copy Method)

コピーの方式を設定します。正しく設定しないと、コピーができない場合がありますので注意してください。

初期設定: Digital Copy

**Analog Copy**
常にアナログコピーします。

**Digital Move**
HDDからCDへデータを移動します。したがって、この方式でCD-RまたはCD-RWディスクに移動されたグループまたはトラックのデータはHDD上から消去されます。(アルバム、ブックマークのコピーにDigital Moveを適用した場合は、ディスクに保存されているトラックの実体(P.18)が消去されます。)

**ご注意**

データの移動中に電源が切れた場合や、何らかの原因でCDにデータを記録できなかった場合もHDDのデータは消去されます。記録内容が破損した場合や消滅した場合など、いかなる場合においても記録内容の補償及びそれに附随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社で記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

**Digital Copy**
常にデジタルコピーします。SCMS(P.84)により、デジタルコピーが禁止されているトラックは、コピーができません。

**Auto Dig/Anlg**
デジタルコピーするか、アナログコピーするかをトラックごとに判定します。SCMS(P.84)により、デジタルコピーが禁止されているトラックは、アナログコピーし、禁止されていないトラックはデジタルコピーします。

**メモ**

- アナログコピー時は、若干音量レベルが下がってコピーされる場合があります。
- 設定内容は記憶されて、次のコピー時にも適用されます。
- 音声レベルを設定してコピーする場合やアナログコピーを行う場合は、いったんHDDにディスクイメージが作成された後に、ディスクへのコピーが開始されます。

## 音声レベル(Copy Level)

コピー時の音声レベルを設定します。通常、調節は不要ですが、必要に応じて調節してください。

音声レベルは－12dBから＋12dBの範囲(0.4dB単位)で調節できます。

**メモ**

- コピー中は音声レベルの調節ができません。
- 最大音量時にピークレベルメーターの赤色の部分が点灯する場合は、いったんコピーを停止して、レベルを再調節してから再度コピーをしてください。
- 音声レベルを調節すると、等倍速または2倍速でHDDにディスクイメージが作成された後に、ディスクへのコピーが開始されます。

## コピー速度(Copy Speed)

コピーする速度を設定します。

初期設定: Best Effort

### Best Effort

CD-Rディスク使用時は最大8倍速、CD-RWディスク使用時は4倍速でコピーします。

### 4x Copy

常に4倍速でコピーします。

**メモ**

- "Best Effort"を選択した場合でも、CD-Rディスクの条件により、自動的にコピー速度が低下する場合があります。
- コピー方式に"Analog Copy"または"Auto Dig/Anlg"を設定した場合、等倍速または2倍速でHDDにディスクイメージが作成された後に、ディスクへのコピーが開始されます。
- 設定内容は記憶されて、次のコピー時にも適用されます。

## ディスクイメージの作成速度(Imaging Speed)

音声レベルを設定してコピーする場合や、アナログコピーを行う場合、いったんHDDにディスクイメージが作成された後に、ディスクへのコピーが開始されます。ここではディスクイメージの作成速度(2倍速または等倍速)を設定します。

初期設定: 2x

### 2x

2倍速でディスクイメージを作成します。

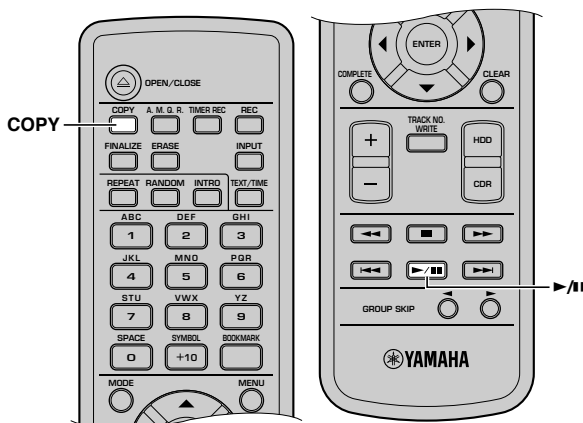
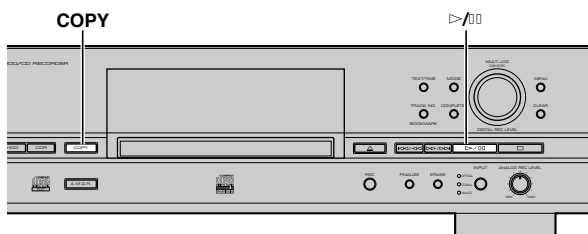
### 1x

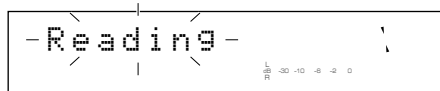
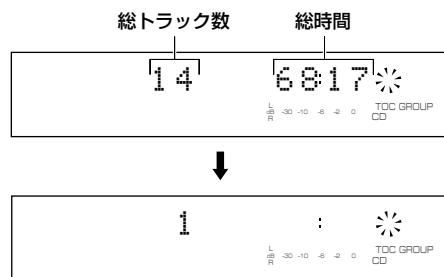
等倍速でディスクイメージを作成します。

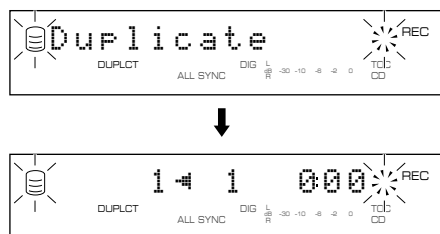
# CDの複製(Duplicate)

本機にはCD(CD-RおよびCD-RWを含む)をそのまま複製するDuplicate機能が備わっています。この機能を使うと、本機一台で素早く簡単に同じCDを作成することができます。

**ご注意**

高速書き込みに対応していないCD-RまたはCD-RWをご使用の場合、正しく複製できないことがあります。このような場合は、いったんHDDへコピーしたあと、4倍速のDigital MoveでCD-RまたはCD-RWにデータを移動してください。

**1.** **コピー元となるCDをディスクトレイにセットします。**

本機にCDを入れると、本機内部でCDの種類や容量を読み取ります。読み取りには通常10〜20秒かかりますが、種類によってはこの時間が長くなる場合があります。
その間、ディスプレイには以下のように表示されます。

情報の読み取りが完了すると、ディスプレイには以下のように表示され、操作可能になります。

**2.** **COPYボタンを3回押します。**

ディスプレイには以下のように表示され、複製待機状態になります。この時点では、まだ複製は開始されません。

**3.** **▷/▯▯ボタンを押して、CDからHDDへのコピーを開始します。**

以下の条件でコピーされます。

- Copy Method: Digital Copy
- Copy Level: 0dB
- Copy Speed: Best Effort

**ご注意**

- □ボタンを押して中断した場合、中断前にコピーが完了しているデータでも、HDD上に残りません。
- SCMS(P.84)により、デジタルコピーが禁止されているトラックはコピーできません。

**CDからHDDへのコピーが終了すると、ディスプレイには以下のように表示されます。**

**4.** **新品のCD-RまたはCD-RWディスクをディスクトレイにセットします。**

本機がディスクを読み取ったあと、先ほどHDDにコピーされた曲データがセットしたCD-RまたはCD-RWディスクにコピーされます。

ご注意

すでにデータが保存されているCD-RまたはCD-RWディスクを使用することはできません。

以下の条件でコピーされます。
- Copy Method: Digital Move
- Copy Level: 0dB
- Copy Speed: Best Effort

メモ

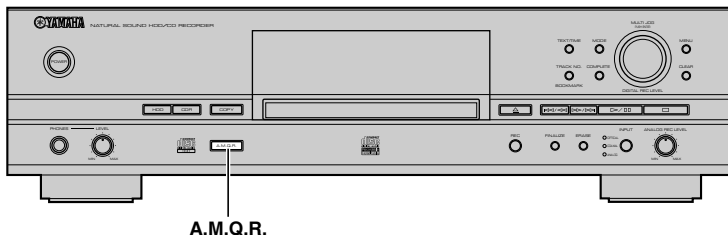
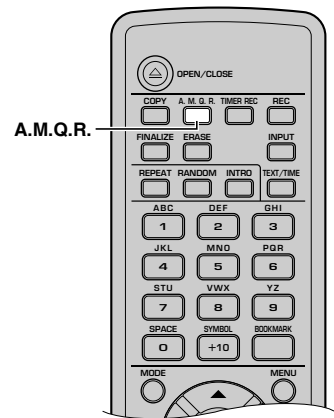
セットしたCD-RまたはCD-RWディスクの記録条件により、OPC(Optimum Power Control)機能が自動的にはたらき、ディスプレイに"OPC Adjust"と表示されます。この場合は調節が完了したあと(約10秒後)、自動的にコピーが開始されます。

**CD TEXT(タイトル情報)の扱い**

複製するCDに、コピー可能なCD TEXTがある場合は、複製時に自動的にCD TEXTをコピーします。

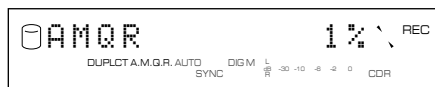
## ■ 高音質で複製する(AudioMASTER™)

本機に搭載のAudioMASTER™機能を使用すると、より音の品位が高いCDを複製することができます。

ご注意
- AudioMASTER™機能は新品のCD-Rディスクを使用する場合のみ適用することができます。
- 録音可能時間は74分のCD-Rで約63分、79分のCD-Rで約68分になります。

**1. 複製待機状態(P.47)でA.M.Q.R.ボタンを押します。**

A.M.Q.R.インジケーターが点灯します。

DUPLCT A.M.Q.R.

**2. 「CDの複製(Duplicate)」(P.47)の手順3と4を実行して、複製(コピー元CDからHDDへのコピー、HDDから新品のCD-Rディスクへのコピー)を開始します。**

以下の条件でコピーされます。
- Copy Method: Digital Move
- Copy Level: 0dB
- Copy Speed: Best Effort

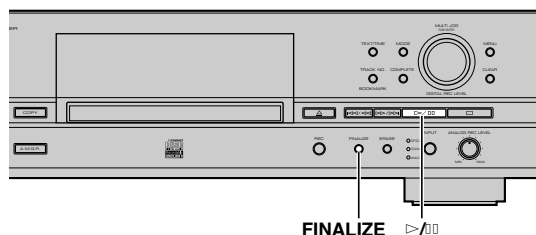
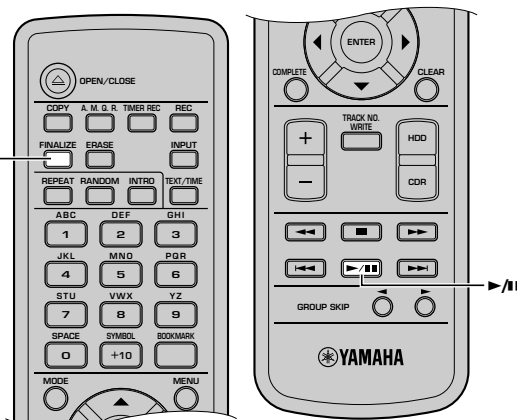
ご注意
- 複製したいCDの録音時間がCD-Rの録音可能時間を超える場合は、以下のメッセージが表示され、AudioMASTER™での複製はできません。

- 74分または79分以外のCD-Rや4倍速の書き込みに対応していないCD-Rを本機に入れた場合、あるいはCD-RWを本機に入れた場合は、以下のメッセージが表示され、AudioMASTER™での複製はできません。

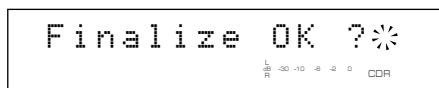
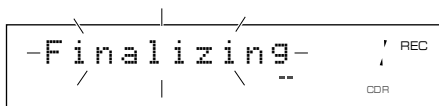
- コピーを開始すると、完了するまでボタン操作を受けつけません。

**コピーが完了すると、自動的にHDDとCDの動作が停止し、CD-Rディスクをファイナライズします。**

# ファイナライズ処理を行う

ファイナライズとは、CD-RやCD-RWディスクに録音した音声を他のCDプレイヤーやCD-RW対応プレイヤーなどで再生するために行う処理のことです。本機で作成したディスクを他の機器で再生するには、必ずファイナライズ処理を行う必要があります。

**1.** **ファイナライズされていないCD-RまたはCD-RWディスクをディスクトレイにセットします。**

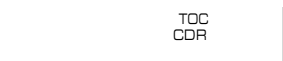
**2.** **FINALIZEボタンを押します。**
ディスプレイに以下の確認画面が表示されます。
ファイナライズしないで操作を中止する場合は、□ボタンを押します、

Finalize OK ?
CDR

**3.** **▷/IIボタンを押して、ファイナライズを開始します。**

ファイナライズ中はレベルメーターにて、進行状況が表示されます。

ファイナライズ開始

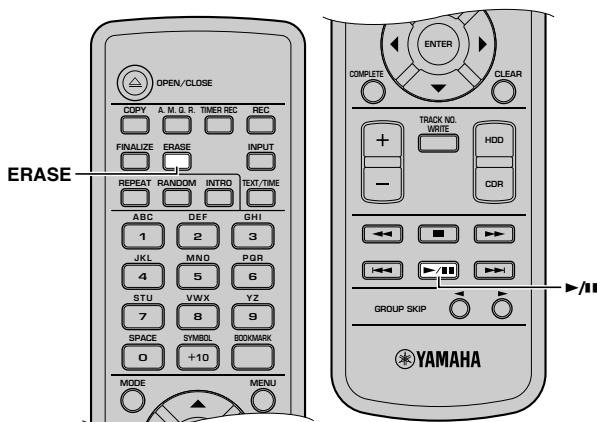
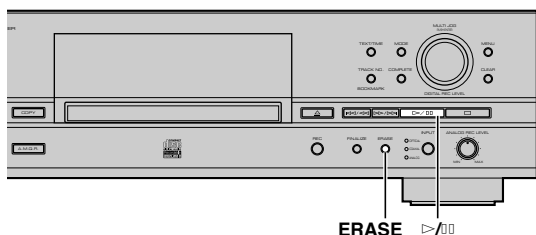
CDR

ファイナライズ中

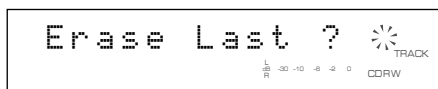
ファイナライズが完了すると、TOCインジケーターが点灯し本機は停止します。

ご注意

- ファイナライズされたCD-Rディスクには、追加で録音することはできません。ファイナライズを行う前に、すべての曲が録音されていることをご確認ください。
- ほこりや指紋などがついていると、正しくファイナライズの処理が行われない場合があります。ディスクが汚れている場合は、ファイナライズを行う前にディスクを拭いてください。
- ファイナライズが始まると、ファイナライズが完了するまで、操作ボタンを受け付けません。
- ファイナライズ中は絶対に電源を切ったり、電源コードを抜かないでください。

# CD-RWのデータを消去する

CD-RWディスクでは、一度録音した曲を消去することや新たに追加して録音することが可能です。本機では、以下の4通りの方法でCD-RWディスクのデータを消去することができます。

## ■ 最終曲を消去する

CD-RWディスクの最終曲または指定した範囲（最終曲から曲数を指定）を消去します。この操作はファイナライズ済みのCD-RWディスクや、1曲しか録音されていないCD-RWディスクではできません。

**1. ファイナライズされていないCD-RWディスクをディスクトレイにセットして、ERASEボタンを押します。**
ディスプレイに“Erase Last”表示されます。

最終曲のみを消去する場合は、手順2に進みます。
消去する範囲（最終曲からの曲数）を指定する場合は、MULTI JOGノブを回して（リモコンでは+、−ボタンまたは▲、▼ボタンを押して）、消去を始める曲のトラックナンバーを設定します。

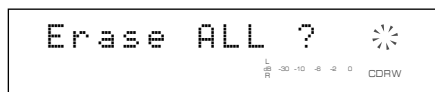
消去を中止したいときは、□ボタンを押します。

**2. ▷/❙❙ボタンを押して、消去を開始します。**
"Erasing"が点滅するとともに、レベルメーターにて進行状況を表示します。

## ■ すべての曲を消去する

CD-RWディスクに記録されているすべての曲を消去します。ファイナライズ済みのCD-RWディスクに適用した場合はTOC（インデックス）も同時に消去します。

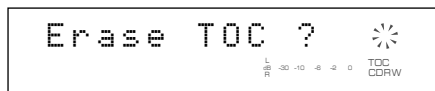
**1. CD-RWディスクをディスクトレイにセットし、ERASEボタンを繰り返し押して“Erase ALL?”を選択します。**

Erase ALL ?
CDRW

消去を中止したいときは、□ボタンを押します。

**2. ▷/❙❙ボタンを押して、消去を開始します。**
"Erasing"が点滅するとともに、レベルメーターにて進行状況を表示します。

## ■ TOC（インデックス）を消去する

ファイナライズ済みCD-RWディスクのTOC（インデックス）を消去します。これにより曲の追加録音が可能になります。

**1. ファイナライズ済みのCD-RWディスクをディスクトレイにセットして、ERASEボタンを押します。**
ディスプレイに"Erase TOC ?"と表示されます。

消去を中止したいときは、□ボタンを押します。

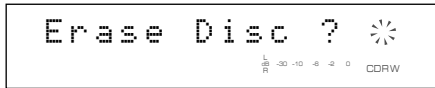
**2. ▷/❙❙ボタンを押して、消去を開始します。**
"Erasing"が点滅するとともに、レベルメーターにて進行状況を表示します。

メモ
TOC（インデックス）消去が完了すると、TOCインジケーターが消灯します。

## ■ ディスクを初期化する

CD-RWディスクを初期化します。(CD-RWディスク上のすべての情報が消去されます。)

**1. CD-RWディスクをディスクトレイにセットし、ERASEボタンを約2秒間押しつづけます。**
ディスプレイに"Erase Disc ?"と表示されます。

```
Erase Disc ?
L
dB -30 -10 -6 -2 0   CDRW
R
```

消去を中止したいときは、□ボタンを押します。

**2. ▷/▯▯ボタンを押して、消去を開始します。**
"Erasing"が点滅するとともに、レベルメーターにて進行状況を表示します。(初期化が完了するまで約20分かかります。)

**ご注意**

- ”Full Auto”(P.44)で録音したCD-RWディスク(録音済みのディスクに追記した場合を除く)およびDuplicate(P.47)で作成したCD-RWディスクには”Erase Last”および”Erase TOC”を適用できません。
- 消去中は電源を切らないでください。
- 消去中、ディスプレイに"Check Disc"と表示され、消去が停止した場合、CD-RWディスクが汚れていたり、破損している可能性があります。CD-RWディスクを取り出して確認し、もう一度消去してください。

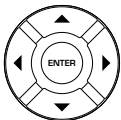
# 編集メニュー一覧

HDDに記録したアルバム、トラック、ディスクの内容を編集することができます。タイトル変更、トラックの曲順変更、アイテムの消去など、さまざまな編集機能が備わっておりますので、必要に応じてご使用ください。なお、Undo機能を使用すると、直前の編集操作を取り消すことができます。

| 編集メニュー | | 内容 | 再生中の編集 ※ | ページ |
|---|---|---|---|---|
| Album Edit (アルバム編集) | Album New | 新規アルバムを作成します。 | × | 54 |
| | Edit Stored | すでに作成されているアルバムを編集します。 | × | 55 |
| | Album Copy | 他のグループをアルバムとしてコピーします。 | × | 56 |
| | Album Rename | アルバムナンバーをつけかえます。 | × | 56 |
| | Album Delete | アルバムを削除します。 | ○ | 57 |
| | Album Pack | アルバムナンバーを前につめます。 | × | 57 |
| | Album Title | アルバムにタイトルをつけます。 | ○ | 57 |
| | Track Shuffle | アルバム内のトラックの順番を変更します。 | ○ | 58 |
| | Track Level | アルバム内のトラックの音声レベルを調整します。 | ○ | 58 |
| | Tr. Interval | アルバムの指定したトラックの前に無音区間を挿入します。 | ○ | 59 |
| Track Edit (トラック編集) | Track Rename | トラックナンバーをつけかえます。 | ○ | 60 |
| | Track Adjust | トラックの開始位置を調節します。 | ○ | 61 |
| | Track Erase | トラックを消去します。 | ○ | 62 |
| | Part Erase | トラックの一部分を消去します。 | ○ | 62 |
| | Track Combine | 連続したトラックを結合します。 | ○ | 64 |
| | Track Divide | ひとつのトラックをふたつに分割します。 | ○ | 64 |
| | Track Pack | トラックナンバーを前につめます。 | × | 65 |
| | Add Fade In | トラックの先頭にフェードイン効果を付加します。 | ○ | 66 |
| | Add Fade Out | トラックの末尾にフェードアウト効果を付加します。 | ○ | 66 |
| | Track Title | トラックにタイトルをつけます。 | ○ | 67 |
| Disc Edit (ディスク編集) | Disc Rename | ディスクナンバーをつけかえます。 | ○ | 69 |
| | Disc Erase | ディスクを消去します。 | ○ | 69 |
| | Disc Combine | 連続したディスクを結合します。 | ○ | 70 |
| | Disc Divide | ひとつのディスクをふたつに分割します。 | ○ | 70 |
| | Disc Pack | ディスクナンバーを前につめます。 | × | 71 |
| | Disc Title | ディスクにタイトルをつけます。 | ○ | 71 |
| Undo | | 編集操作を取り消します。 | × | 72 |

※ ×印がついたメニューは、再生中に実行することができません。○印がついたメニューは再生中、停止中に関わらず実行することができます。ただし、再生中に編集操作を行った場合、その対象は再生中のアルバム、ディスクまたはトラックに限定されます。

## ■ 編集メニューでのカーソルボタン操作

編集メニューでは、P.54からP.71で説明している操作手順以外に、リモコンのカーソルボタンで以下の操作を行うことができます。編集操作を簡単に行うことができますので、是非ご利用ください。

▲、▼ボタン：　項目やパラメータを選択する。
◀、▶ボタン：　入力位置を移動する。
ENTERボタン：▲、▼ボタンで選択した項目やパラメータを確定する。

# ■ 編集メニューでの文字入力

編集メニュー(Album Title、Track Title、Disc Title)では、HDDのアルバム、ディスクまたはトラックにタイトルをつけることができます。文字入力画面では、以下のいずれかの方法で文字入力を行ってください。

メモ

入力できる文字は、アルファベット(大文字、小文字)、数字、記号(!、"、#など)です。日本語(漢字、ひらがな、カタカナ)を入力することはできません。

## MULTI JOGノブを使ってタイトルを入力する

**1. MULTI JOGノブを回します。**
右に回した場合はアルファベット(大文字)→アルファベット(小文字)→数字→記号の順に、左に回した場合はその逆順で選択できます。

**2. MULTI JOGノブを押して、選択した文字を確定します。**
カーソルが次の位置へ移動します。同様の操作を繰り返してタイトルをつけてください。最大32文字まで入力できます。

## リモコンの英/数字ボタンを使ってタイトルを入力する

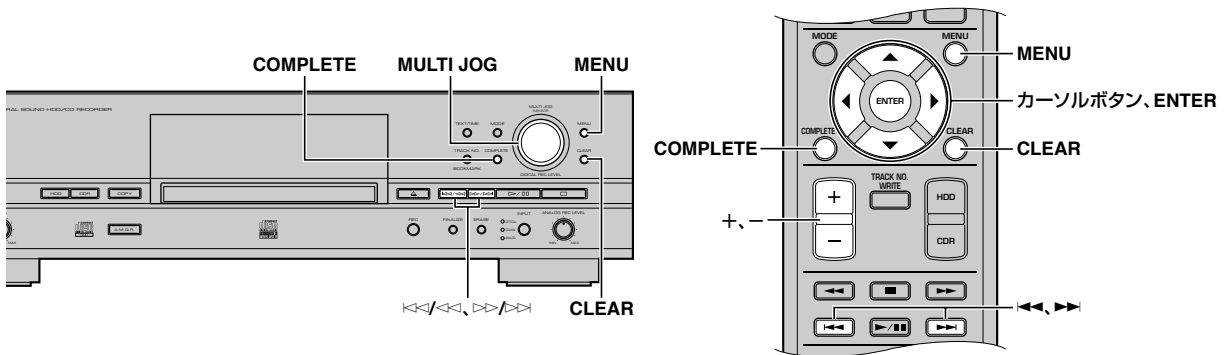
**1. リモコンの英/数字ボタンを押して、文字を選択します。**
1回押すごとに、文字はアルファベット大文字、アルファベット小文字、数字の順番に変わります。スペースはSPACEボタンを、記号はSYMBOLボタンを押して選択します。

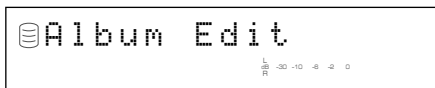
**2. 別の英/数字ボタンを押して、次の文字を選択します。**
カーソルが自動的に次の位置に移動します。手順1と同じ英/数字ボタンを使用する場合は、▶▶|ボタンを押してカーソルを移動してから英/数字ボタンを押してください。

## 入力した文字を修正するには

|◁◁/◁◁または▷▷/▷▷|ボタン(リモコンでは|◀◀または▶▶|ボタン)を押して修正したい文字位置にカーソルを移動してから、選択した文字を消去する場合はCLEAR ボタンを、選択した文字の前に別の文字を挿入する場合はMULTI JOGノブまたはリモコンの英/数字キーを使用して入力します。

# アルバム編集メニューを選択する

本機では、アルバムというグループを作成して、お好みのトラックを整理しておくことができます。ここでは新規アルバムの作成や、作成したアルバムの編集などを行うアルバム編集メニューについて説明します。

**1.** **HDDが選択されている状態(P.16)で、MENUボタンを押します。**
ディスプレイに編集メニュー画面が表示されます。

Album Edit

**2.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押します。**
ディスプレイにメニュー選択画面が表示されます。

**3.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは＋、－ボタンまたは▲、▼ボタンを押して)編集メニューを選択し、MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して確定します。**
アルバム編集メニューは以下のとおりです。

- Album New*(右記)
- Edit Stored*(P.55)
- Album Copy*(P.56)
- Album Rename*(P.56)
- Album Delete(P.57)
- Album Pack*(P.57)
- Album Title(P.57)
- Track Shuffle(P.58)
- Track Level(P.58)
- Tr. Interval(P.59)

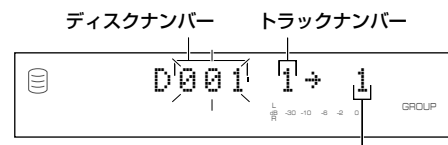
アスタリスク(*)がついたメニューは、再生中に実行することができません。

メモ

- 編集の途中でMENUボタンを押すと、入力操作が無効となり、以下の状態に戻ります。
  - －停止状態からメニューに入った場合は、メニュー選択画面に戻ります。
  - －再生中にメニューに入った場合は、再生状態に戻ります。
- 編集の途中で□ボタンを押すと入力操作がすべて無効になり、停止状態に戻ります。

## Album New

HDDに記録されているトラックから、お好みのトラックを選択して、アルバムを新規作成します。

**1.** **"Album New"を選択すると(左記)、以下のように表示されます。**

**2.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは＋、－ボタンを押して)、ディスクを選択します。**

**3.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、ディスクを確定します。**
トラックナンバーが点滅します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

**4.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは＋、－ボタンを押して)、新規アルバムに登録するトラックを選択します。**

**5.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、ソースとなるトラックを確定します。**
新規アルバムのトラックナンバーが繰り上がり、手順1の表示に戻ります。さらにトラックを追加する場合は手順2から5を繰り返します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

**6.** **COMPLETEボタンを押します。**
指定したトラックが新規アルバムとして記録されます。ディスプレイはメニュー選択画面に戻ります。

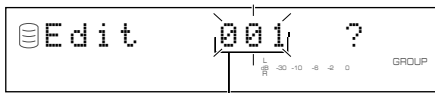
メモ

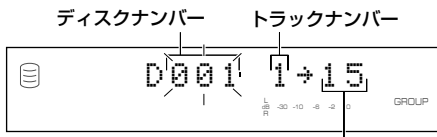
・アルバム作成中にTEXT/TIMEボタンを押すと、ディスプレイ表示を切り替えることができます（P.20）。
- ディスクやトラックにタイトルがついている場合は、タイトルが表示されます。
- タイトル表示中に、再度TEXT/TIMEボタンを押すと、作成中のアルバムの総時間が約1秒表示されたあと、手順1の表示に戻ります。
- ディスクやトラックにタイトルがついていない場合は、作成中のアルバムの総時間が約1秒表示されたあと、手順1の表示に戻ります。

・ブックマーク（P.26）から新規アルバムを作成することも可能です。詳しくは「Album Copy」（P.56）をご参照ください。

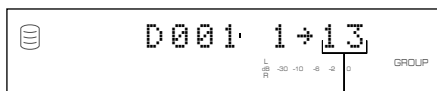
## Edit Stored

すでに作成されているアルバムにトラックを追加したり、アルバムからトラックを削除します。

**1.** “Edit Stored”を選択すると（P.54）、以下のように表示されます。

**2.** MULTI JOGノブを回して（リモコンでは＋、－ボタンを押して）、編集するアルバムを選択します。

**3.** MULTI JOGノブ（リモコンではENTERボタン）を押して、アルバムを確定します。
ディスプレイには以下のように表示されます。
アルバムにトラックを追加する場合は、下記の「トラックを追加する場合」の手順 4 から 9 を行ってください。
アルバムからトラックを削除する場合は、右記の「トラックを削除する場合」の手順 4 から 6 を行ってください。

（トラックを追加する場合）

**4.** ⏮/⏪または⏩/⏭ボタン（リモコンでは⏮◀◀、▶▶⏭ボタン）を押して、アルバムのトラックナンバー（手順5以降で選択するトラックの追加先）を選択します。

メモ

追加先より後ろに位置するトラックの番号は、自動的に 1 つずつ後ろにずれます。

**5.** MULTI JOGノブを回して（リモコンでは＋、－ボタンを押して）、追加するトラックが記録されているディスクを選択します。

**6.** MULTI JOGノブ（リモコンではENTERボタン）を押して、ディスクを確定します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

**7.** MULTI JOGノブを回して（リモコンでは＋、－ボタンを押して）、追加するトラックを選択します。

**8.** MULTI JOGノブ（リモコンではENTERボタン）を押して、トラックを確定します。

ひきつづきトラックを追加する場合は、手順4から同様の操作を繰り返します。

**9.** COMPLETEボタンを押します。
指定したトラックがアルバムに追加されます。
ディスプレイはメニュー選択画面に戻ります。

（トラックを削除する場合）

**4.** ⏮/⏪または⏩/⏭ボタン（リモコンでは⏮◀◀、▶▶⏭ボタン）を押して、削除するトラックを選択します。

**5.** CLEARボタンを押します。

メモ

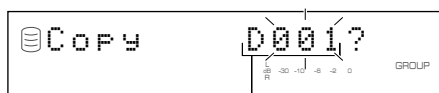
トラックナンバーは自動的に前につまります。

ひきつづきトラックを削除する場合は、手順4から同様の操作を繰り返します。

**6.** COMPLETEボタンを押します。
指定したトラックがアルバムから削除されます。
ディスプレイはメニュー選択画面に戻ります。

## Album Copy

HDDに記録されているグループ(ディスク、別のアルバム、ブックマーク)をコピーして新規アルバムを作成します。

**1.** **"Album Copy"を選択すると(P.54)、以下のように表示されます。**

**2.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンを押して)、コピー元グループを選択します。**
ディスク→アルバム→ブックマークの順番でコピー元グループが切り替わります。

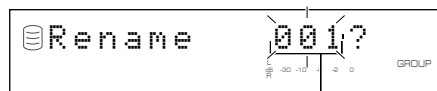
**3.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、コピー元グループを確定します。**
ディスプレイ表示が左スクロールし、コピー元グループの番号、コピー先アルバムの番号が表示されます。
コピー先アルバムの番号は、使われていない番号のうち最小の番号があてられます。

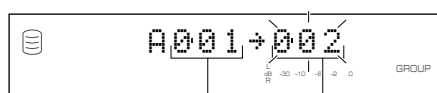
確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

**4.** **COMPLETEボタンを押します。**
指定したグループがコピーされて、新規アルバムが作成されます。
ディスプレイはメニュー選択画面に戻ります。

## Album Rename

アルバムの番号をふりなおして、順番を変更します。

**1.** **"Album Rename"を選択すると(P.54)、以下のように表示されます。**

**2.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンを押して)、移動するアルバムを選択します。**

**3.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、アルバムを確定します。**
ディスプレイ表示が左スクロールし、移動するアルバムの番号、移動先アルバムの番号が表示されます。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

**4.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンを押して)、移動先アルバムを選択します。**

**5.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、移動先アルバムを確定します。**

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

**6.** **COMPLETEボタンを押します。**
指定した移動先にアルバムが移動されます。
ディスプレイはメニュー選択画面に戻ります。

**メモ**

- 追加先より後ろに位置するアルバムの番号は、自動的に1つずつ繰り上がります(空き番号が途中にある場合はつめて整理されます)。
- 移動する前の番号は空き番号となります。

## Album Delete

アルバムを削除します。

**1. “Album Delete”を選択すると(P.54)、以下のように表示されます。**

削除するアルバム

再生中にメニューを選択した場合、既に対象のアルバムが確定されているため、手順2、3を行う必要はありません。手順4へ進んでください。

**2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは＋、－ボタンを押して)、削除するアルバムを選択します。**

**3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、アルバムを確定します。**

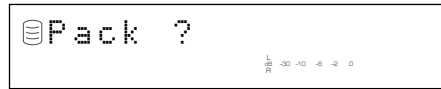
確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

**4. COMPLETEボタンを押します。**
指定したアルバムが削除されます。
ディスプレイはメニュー選択画面に戻ります。(再生中に編集操作を行った場合は再生状態に戻ります。)

**メモ**
削除したアルバムの番号は空き番号となります。

## Album Pack

アルバムの移動や削除で生じた空き番号をつめてアルバムを整理します。

**1. “Album Pack”を選択すると(P.54)、以下のように表示されます。**

**2. COMPLETEボタンを押します。**
アルバムの空き番号が前につまって整理されます。
ディスプレイはメニュー選択画面に戻ります。

実行前

実行後(空き番号がなくなる)

## Album Title

作成したアルバムにタイトルをつけます。

**1. “Album Title”を選択すると(P.54)、以下のように表示されます。**

タイトルをつけるアルバム

再生中にメニューを選択した場合、既に対象のアルバムが確定されているため、手順2、3を行う必要はありません。手順4へ進んでください。

**2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは＋、－ボタンを押して)、タイトルをつけるアルバムを選択します。**

**3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、アルバムを確定します。**

カーソルが点滅します。(確定したアルバムにすでにタイトルがついている場合は、そのタイトルが表示されます。)

**4. MULTI JOGノブ、またはリモコンの英/数字ボタンなどを使って、タイトルを入力します。**
文字の入力方法については、「編集メニューでの文字入力」(P.53)をご参照ください。

**5. すべての入力が終了したら、COMPLETEボタンを押します。**
指定したアルバムにタイトルがつきます。必要に応じて、TEXT/TIMEボタンを押してディスプレイの表示を切り替えてください(P.20)。
ディスプレイはメニュー選択画面に戻ります。(再生中に編集操作を行った場合は再生状態に戻ります。)

## Track Shuffle

アルバム内のトラックの順番を変更します。

**1.** **"Track Shuffle"を選択すると(P.54)、以下のように表示されます。**

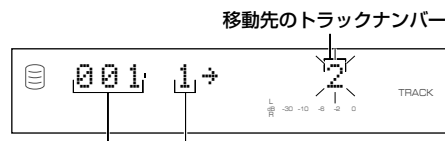
再生中にメニューを選択した場合、既に対象のアルバムおよびトラックが確定されているため、手順2から5を行う必要はありません。手順6へ進んでください。

**2.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは＋、−ボタンを押して)、トラックの順番を変更するアルバムを選択します。**

**3.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、アルバムを確定します。**
移動するトラックのナンバーが点滅します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

**4.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは＋、−ボタンを押して)、移動するトラックを選択します。**

**5.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、トラックを確定します。**
ディスプレイ表示が左スクロールし、変更するアルバムおよびトラックの番号、移動先のトラックナンバーが表示されます。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

**6.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは＋、−ボタンを押して)、移動先のトラックナンバーを選択します。**

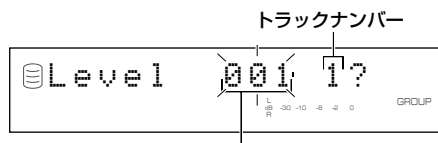
**7.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、トラックナンバーを確定します。**

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

**8.** **COMPLETEボタンを押します。**
トラックの順番が変更されます。
ディスプレイはメニュー選択画面に戻ります。(再生中に編集操作を行った場合は再生状態に戻ります。)

## Track Level

アルバム内の各トラックの音声レベルを調整します。

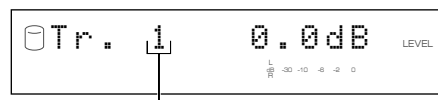
**1.** **"Track Level"を選択すると(P.54)、以下のように表示されます。**

再生中にメニューを選択した場合、既に対象のアルバムおよびトラックが確定されているため、手順2から5を行う必要はありません。手順6へ進んでください。

**2.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは＋、−ボタンを押して)、トラックのレベルを調整するアルバムを選択します。**

**3.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、アルバムを確定します。**
調整するトラックの番号が点滅します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

**4.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは＋、−ボタンを押して)、調整するトラックを選択します。**

**5.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、トラックを確定します。**
確定したトラックの再生が始まり、ディスプレイには以下のように表示されます。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

**6.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは＋、−ボタンを押して)、レベルを調整します。**
−12dBから＋12dBの範囲(0.4dB単位)で調整できます。

⏮/⏪または⏩/⏭ボタン(リモコンでは⏮または⏭ボタン)を押すと、選択したトラックの前後のトラックにスキップし、前後のトラックと音量を比較できます。

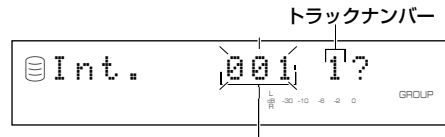
**7.** **COMPLETEボタンを押します。**
指定したトラックのレベルが調整されます。
ディスプレイはメニュー選択画面に戻ります。(再生中に編集操作を行った場合は再生状態に戻ります。)

メモ

- レベルを調節したトラックを含むアルバムを再生すると、トラックの変わり目から少しずれたところで、レベルが変わる場合があります。このような場合には、"Tr. Interval"(右記)で、1～2秒程度曲間を増してください。
- レベルを調節したトラックを含むアルバムは、AudioMASTER™機能(P.43)でコピーすることはできません。
- レベルを調節したトラックを含むアルバムをコピーする際、音声レベルを調節すると(P.46)、"Track Level"での調節に加算して、コピーレベルの調節ができます。

## Tr. Interval

アルバムの指定したトラックの前に無音区間を挿入します。

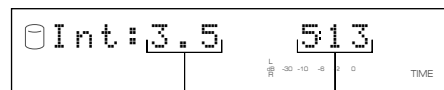
**1. "Tr. Interval"を選択すると(P.54)、以下のように表示されます。**

再生中にメニューを選択した場合、既に対象のアルバムおよびトラックが確定されているため、手順2から5を行う必要はありません。手順6へ進んでください。

**2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンを押して)、トラックの間隔を調節するアルバムを選択します。**

**3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、アルバムを確定します。**
調整するトラックの番号が点滅します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

**4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンを押して)、調整するトラックを選択します。**

**5. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、トラックを確定します。**
1つ前のトラック(末尾5秒間)→選択したトラック(開始5秒間)の順で繰り返し再生されます。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

メモ

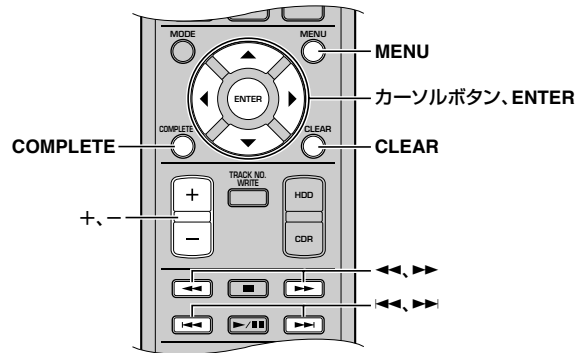
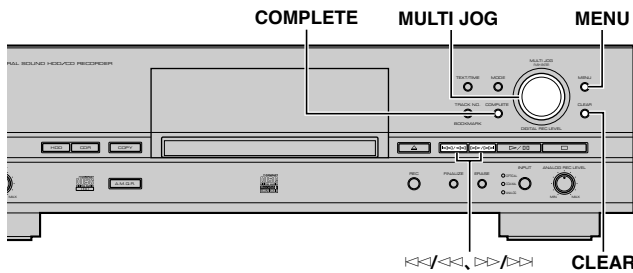
確定したトラックの前に、トラックが存在しない場合、"No Previous"と表示され、手順4に戻ります。(再生中にメニューを選択した場合は、編集操作が取り消されます。)

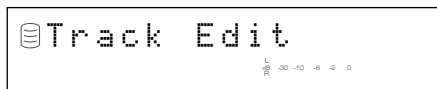
**6. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンを押して)、トラックの間隔を調整します。**
0秒から9.9秒の範囲(0.1秒単位)で調整できます。

調整をやめると、1つ前のトラック(末尾5秒間)→調整した間隔→選択したトラック(開始5秒間)の順で繰り返し再生されます。

**7. COMPLETEボタンを押します。**
トラックの間隔が確定されます。
ディスプレイはメニュー選択画面に戻ります。(再生中に編集操作を行った場合は再生状態に戻ります。)

# トラック編集メニューを選択する

HDDに録音したトラックのタイトル変更やデータの分割、複数トラックの結合などを行うトラック編集メニューについて説明します。

**1.** **HDDが選択されている状態(P.16)で、MENUボタンを押します。**
ディスプレイに編集メニュー画面が表示されます。

**2.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは＋、－ボタンまたは▲、▼ボタンを押して)、"Track Edit"を選択します。**

**3.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押します。**
ディスプレイにメニュー選択画面が表示されます。

**4.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは＋、－ボタンまたは▲、▼ボタンを押して)編集メニューを選択し、MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して確定します。**

- Track Rename(右記)
- Track Adjust(P.61)
- Track Erase(P.62)
- Part Erase(P.62)
- Track Combine(P.64)
- Track Divide(P.64)
- Track Pack*(P.65)
- Add Fade In(P.66)
- Add Fade Out(P.66)
- Track Title(P.67)

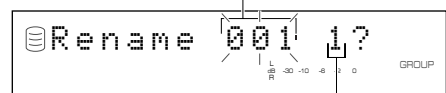
*Track Packは、再生中に実行することができません。

メモ

- 編集の途中でMENUボタンを押すと、入力操作が無効となり、以下の状態に戻ります。
  - 停止状態からメニューに入った場合は、メニュー選択画面に戻ります。
  - 再生中にメニューに入った場合は、再生状態に戻ります。
- 編集の途中で□ボタンを押すと入力操作がすべて無効になり、停止状態に戻ります。

## Track Rename

トラックの番号をふりなおして、順番を変更します。

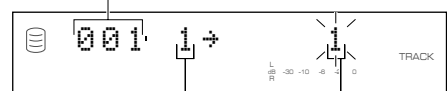
**1.** **"Track Rename"を選択すると(左記)、以下のように表示されます。**

再生中にメニューを選択した場合、既に対象のトラックが確定されているため、手順2から5を行う必要はありません。手順6へ進んでください。

**2.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは＋、－ボタンを押して)、移動するトラックが記録されているディスクを選択します。**

**3.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、ディスクを確定します。**
移動するトラック番号が点滅します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

**4.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは＋、－ボタンを押して)、移動するトラックを選択します。**

**5.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、トラックを確定します。**
ディスプレイ表示が左スクロールし、移動するトラックが記録されているディスクの番号、移動するトラックの番号、移動先トラックの番号が表示されます。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

**6.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンを押して)、移動先トラックを選択します。**

**7.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、移動先トラックを確定します。**

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

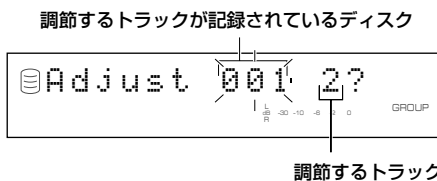
**8.** **COMPLETEボタンを押します。**
指定した移動先にトラックが移動されます。
ディスプレイはメニュー選択画面に戻ります。(再生中に編集操作を行った場合は再生状態に戻ります。)

**メモ**

- 追加先より後ろに位置するトラックの番号は、自動的に1つずつ後ろにずれます。(空き番号が途中にある場合はつめて整理されます)。
- 移動する前の番号は空き番号となります。

## Track Adjust

トラックの開始位置を調節します。

**1.** **“Track Adjust”を選択すると(P.60)、以下のように表示されます。**

調節するトラックが記録されているディスク

調節するトラック

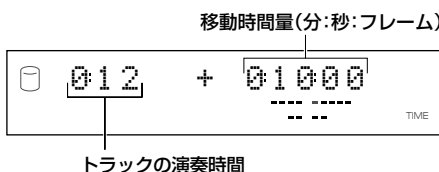
再生中にメニューを選択した場合、既に対象のトラックが確定されているため、手順2から5を行う必要はありません。手順6へ進んでください。

**2.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンを押して)、調節するトラックが記録されているディスクを選択します。**

**3.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、ディスクを確定します。**
調節するトラックの番号が点滅します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

**4.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンを押して)、調節するトラックを選択します。**

**5.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、トラックを確定します。**
選択したトラックが再生されます。
ディスプレイには以下のように表示されます。

移動時間量(分:秒:フレーム)

012 + 01000
TIME

トラックの演奏時間

**メモ**

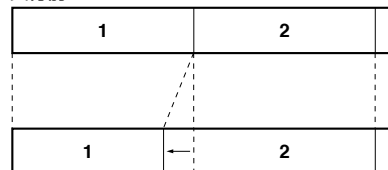
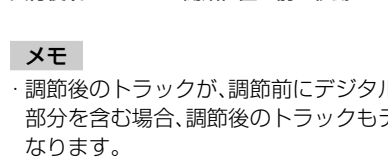
確定したトラックの前に、トラックが存在しない場合、"No Previous"と表示され、手順4に戻ります。(再生中にメニューを選択した場合は、編集操作が取り消されます。)

**6.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンを押して)、移動時間量を調節します。**
移動時間量は、「分:秒:フレーム」の単位で調節が可能です。(フレーム:75フレームで1秒となります。)⏮/◁◁または▷▷/⏭ボタン(リモコンでは◀◀または▶▶ボタン)を押して単位を選択できます。

調整をやめると、移動時間量にしたがって、仮の開始位置をサーチし、その位置からディスクの最後までを繰り返し再生します。

調節を取り消すには、CLEARボタンを押します。

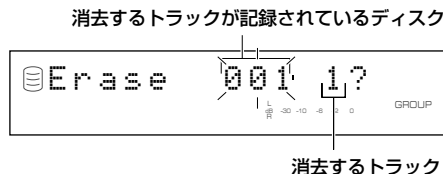
**7.** **COMPLETEボタンを押します。**
新しい開始位置が確定します。
ディスプレイはメニュー選択画面に戻ります。(再生中に編集操作を行った場合は再生状態に戻ります。)

実行前

実行後(トラック2の開始位置を前に移動した場合)

**メモ**

- 調節後のトラックが、調節前にデジタルコピー禁止であった部分を含む場合、調節後のトラックもデジタルコピー禁止となります。
- 調節するトラックとその前のトラックでエンファシスが異なる場合、調節するトラックのエンファシスが優先されます。

## Track Erase

トラックを消去します。

**1.** **“Track Erase”を選択すると(P.60)、以下のように表示されます。**

消去するトラックが記録されているディスク

消去するトラック

再生中にメニューを選択した場合、既に対象のトラックが確定されているため、手順2から5を行う必要はありません。手順6へ進んでください。

**2.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンを押して)、消去するトラックが記録されているディスクを選択します。**

**3.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、ディスクを確定します。**
消去するトラックの番号が点滅します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

**4.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンを押して)、消去するトラックを選択します。**

**5.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、トラックを確定します。**

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

確定したトラックを確認したいときは、▷/▯▯ボタンを押すと、そのトラックが繰り返し再生されます。

**6.** **COMPLETEボタンを押します。**
指定したトラックが消去されます。
ディスプレイはメニュー選択画面に戻ります。(再生中に編集操作を行った場合は再生状態に戻ります。)

**メモ**

消去したトラックの番号は空き番号となります。

## Part Erase

指定したトラックの一部を消去します。

**1.** **“Part Erase”を選択すると(P.60)、以下のように表示されます。**

部分消去するトラックが記録されているディスク

部分消去するトラック

再生中にメニューを選択した場合、既に対象のトラックが確定されているため、手順2から5を行う必要はありません。手順6へ進んでください。

**2.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンを押して)、部分消去するトラックが記録されているディスクを選択します。**

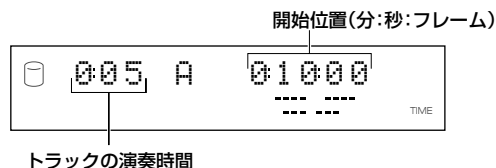
**3.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、ディスクを確定します。**
部分消去するトラックの番号が点滅します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

**4.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンを押して)、部分消去するトラックを選択します。**

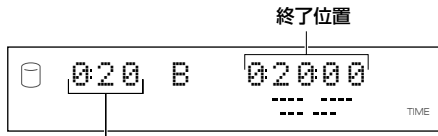
**5.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、トラックを確定します。**
部分消去の開始位置(仮設定では10秒経過した位置)の前5秒間が繰り返し再生されます。

開始位置(分:秒:フレーム)

トラックの演奏時間

**6.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンを押して)、部分消去の開始位置を設定します。**
部分消去の開始位置は、「分:秒:フレーム」の単位で設定が可能です。⏮/◁◁または▷▷/⏭ボタン(リモコンでは◀◀または▶▶ボタン)を押して単位を選択できます。

調整をやめると、設定した開始位置をサーチし、その位置の前5秒間を繰り返し再生します。

**7.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して)、開始位置を確定します。**

部分消去の終了位置(仮設定では開始位置の10秒後)の後ろ5秒間が繰り返し再生されます。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

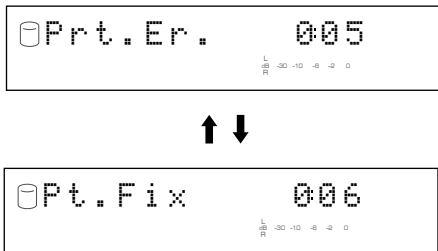
**8.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、部分消去の終了位置を設定します。**

部分消去の終了位置は、「分:秒:フレーム」の単位で設定が可能です。⧏⧏/⧏⧏または⧐⧐/⧐⧐ボタン(リモコンでは◀◀または▶▶ボタン)を押して単位を選択できます。

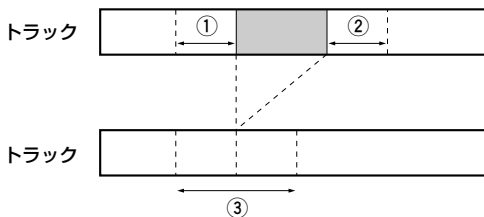
調整をやめると、設定した終了位置をサーチし、その位置から後ろ5秒間を繰り返し再生します。

**9.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して)、終了位置を確定します。**

開始位置の前5秒間と終了位置の後ろ5秒間が接続されて繰り返し再生します。

ディスプレイには以下のように表示されます。

ご注意

· 開始位置の前約5秒間と終了位置の後ろ約5秒間とのつなぎ目で、音が途切れて再生されることがありますが、部分消去後のトラックは正常に再生されます。

· トラックの最短時間は4秒です。したがって部分消去により、4秒以下の曲をつくることはできません。

:消去したい部分

① 開始位置設定時のリピート再生区間
② 終了位置設定時のリピート再生区間
③ 終了位置確定後のリピート再生区間

終了位置の設定を変更したいときは、CLEARボタンを1回押して、手順8まで戻ります。

開始位置の設定を変更したいときは、CLEARボタンを2回押して、手順6まで戻ります。

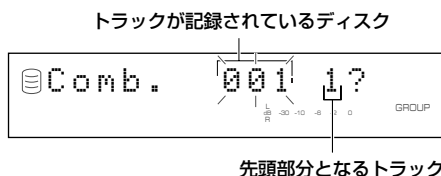
**10.** **COMPLETEボタンを押します。**

指定した部分が削除されます。

ディスプレイはメニュー選択画面に戻ります。(再生中に編集操作を行った場合は再生状態に戻ります。)

## Track Combine

連続している複数のトラックを結合して1つのトラックを作成します。

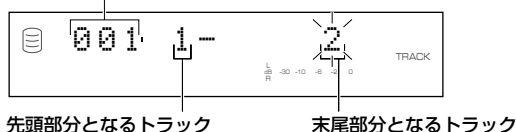
**1. "Track Combine"を選択すると(P.60)、以下のように表示されます。**

再生中にメニューを選択した場合、既に対象のトラックが確定されているため、手順2から5を行う必要はありません。手順6へ進んでください。

**2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンを押して)、結合するトラックが記録されているディスクを選択します。**

**3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、ディスクを確定します。**
先頭部分となるトラックの番号が点滅します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

**4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンを押して)、先頭部分となるトラックを選択します。**

**5. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、先頭部分となるトラックを確定します。**
ディスプレイ表示が左スクロールし、ディスクの番号、先頭部分となるトラックの番号、末尾部分となるトラックの番号が表示されます。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

**6. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンを押して)、末尾部分となるトラックを選択します。**

**7. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、末尾部分となるトラックを確定します。**

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

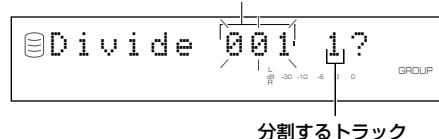
**8. COMPLETEボタンを押します。**
指定した複数のトラックがひとつのトラックになります。ディスプレイはメニュー選択画面に戻ります。(再生中に編集操作を行った場合は再生状態に戻ります。)

メモ

- 先頭部分となるトラックに結合されたトラックが使用していた番号は空き番号となります。
- 結合されたトラックのタイトルは、先頭部分のトラックのタイトルがそのまま有効となります。
- 結合するトラックの中に、ひとつでもデジタルコピー禁止のトラックがある場合、結合後のトラックはコピー禁止となります。
- エンファシスが異なるトラックを結合した場合、先頭トラックのエンファシスが結合後のトラック全体に反映されます。

## Track Divide

ひとつのトラックを指定した位置で分割して、ふたつのトラックにします。

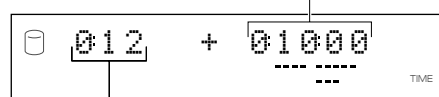
**1. "Track Divide"を選択すると(P.60)、以下のように表示されます。**

再生中にメニューを選択した場合、既に対象のトラックが確定されているため、手順2から5を行う必要はありません。手順6へ進んでください。

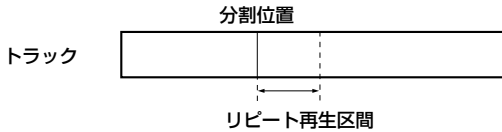
**2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンを押して)、分割するトラックが記録されているディスクを選択します。**

**3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、ディスクを確定します。**
分割するトラックの番号が点滅します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

**4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンを押して)、分割するトラックを選択します。**

**5. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、トラックを確定します。**
分割位置(仮設定では10秒経過した位置)の後ろ5秒間が繰り返し再生されます。

**6.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンを押して)、分割位置を設定します。**
分割位置は、「分:秒:フレーム」の単位で設定が可能です。⏮/⏪または⏩/⏭ボタン(リモコンでは◀◀または▶▶ボタン)を押して単位を選択できます。

調整をやめると、設定した分割位置をサーチし、その位置から後ろ5秒間を繰り返し再生します。

**7.** **COMPLETEボタンを押します。**
トラックが指定した分割位置にて分割されます。
ディスプレイはメニュー選択画面に戻ります。(再生中に編集操作を行った場合は再生状態に戻ります。)

**ご注意**

- トラックの最短時間は4秒です。したがって分割により、4秒以下の曲をつくることはできません。
- 9秒未満のトラックを分割することはできません。
- ひとつのディスクに記録できるトラック数は最大99曲です。すでにトラックが99曲ある場合、"Track No.Full"が表示され、分割することはできません。

**メモ**

分割位置より後ろに位置するトラックの番号は、自動的に1つずつ後ろにずれます。(空き番号が途中にある場合はつめて整理されます)。

実行前

| 1 | 2 | 空き | 4 | 5 | 6 |
|---|---|---|---|---|---|

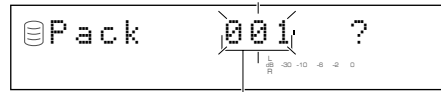
分割

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|---|---|---|---|---|---|

実行後(トラック1を分割した場合)

## Track Pack

トラックの移動や消去で生じた空き番号をつめてトラックを整理します。

**1.** **"Track Pack"を選択すると(P.60)、以下のように表示されます。**

トラックの空き番号をつめるディスク

**2.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンを押して)、トラックの空き番号をつめるディスクを選択します。**

**3.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、ディスクを確定します。**

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

**4.** **COMPLETEボタンを押します。**
トラックの空き番号が前につめて整理されます。
ディスプレイはメニュー選択画面に戻ります。

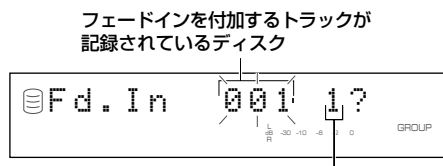
実行前

実行後(空き番号がなくなる)

## Add Fade In

トラックの先頭にフェードインを付加します。フェードインを付加すると、トラックの先頭を徐々にレベルを上げて再生することができます。

**1.** **“Add Fade In”を選択すると(P.60)、以下のように表示されます。**

フェードインを付加するトラックが
記録されているディスク

フェードインを付加するトラック

再生中にメニューを選択した場合、既に対象のトラックが確定されているため、手順2から5を行う必要はありません。手順6へ進んでください。

**2.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは＋、－ボタンを押して)、フェードインを付加するトラックが記録されているディスクを選択します。**

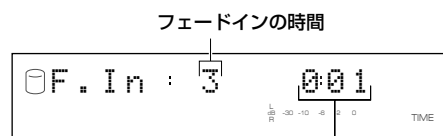
**3.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、ディスクを確定します。**
フェードインを付加するトラックの番号が点滅します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

**4.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは＋、－ボタンを押して)、フェードインを付加するトラックを選択します。**

**5.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、トラックを確定します。**
3秒間分(仮設定)のフェードインを付加しながら、トラックの先頭8秒間を繰り返し再生します。

フェードインの時間

F.In : 3 001
TIME

トラックの演奏時間

**6.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは＋、－ボタンを押して)、フェードインの時間を設定します。**
フェードインの時間は、1秒から10秒の範囲(秒単位)で調節が可能です。

調整をやめると、設定した時間分のフェードインを付加しながら、設定時間に5秒間加えた区間を繰り返し再生します。

設定を取り消すには、CLEARボタンを押します。

**7.** **COMPLETEボタンを押します。**
トラックの先頭に指定した秒数のフェードインが付加されます。
ディスプレイはメニュー選択画面に戻ります。(再生中に編集操作を行った場合は再生状態に戻ります。)

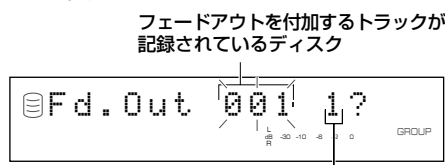
メモ

- トラックの時間が21秒以下の場合は、フェードインを付加することができません。
- フェードインを付加したトラックに対して、以下の編集を行うと、フェードイン効果がなくなります。
  －部分消去をした(Part Erase)。
  －トラックを結合した(Track Combine)。
  －トラックを分割した(Track Divide)。
  －トラックの開始位置を調節した(Track Adjust)。
- "Track Adjust"を実行した場合には、調節したトラックとその前のトラック両方のフェードイン効果がなくなります。

## Add Fade Out

トラックの末尾にフェードアウトを付加します。フェードアウトを付加すると、トラックの末尾を徐々にレベルを下げて再生することができます。

**1.** **“Add Fade Out”を選択すると(P.60)、以下のように表示されます。**

フェードアウトを付加するトラックが
記録されているディスク

フェードアウトを付加するトラック

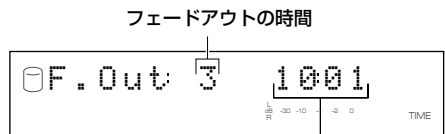
再生中にメニューを選択した場合、既に対象のトラックが確定されているため、手順2から5を行う必要はありません。手順6へ進んでください。

**2.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは＋、－ボタンを押して)、フェードアウトを付加するトラックが記録されているディスクを選択します。**

**3.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、ディスクを確定します。**
フェードアウトを付加するトラックの番号が点滅します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

**4.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは＋、－ボタンを押して)、フェードアウトを付加するトラックを選択します。**

**5.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、トラックを確定します。**
3秒間分(仮設定)のフェードアウトを付加しながら、トラックの末尾8秒間を繰り返し再生します。

**6. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンを押して)、フェードアウトの時間を設定します。**
フェードアウトの時間は、1秒から10秒の範囲(秒単位)で調節が可能です。

調整をやめると、設定した時間分のフェードアウトを付加しながら、設定時間に5秒間加えた区間を繰り返し再生します。

設定を取り消すには、CLEARボタンを押します。

**7. COMPLETEボタンを押します。**
トラックの末尾に指定した秒数のフェードアウトが付加されます。
ディスプレイはメニュー選択画面に戻ります。(再生中に編集操作を行った場合は再生状態に戻ります。)

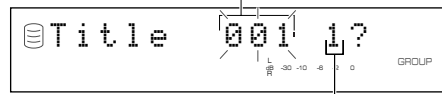
メモ

- トラックの時間が21秒以下の場合は、フェードアウトを付加することができません。
- フェードアウトを付加したトラックに対して、以下の編集を行うと、フェードアウト効果がなくなります。
  −部分消去をした(Part Erase)。
  −トラックを結合した(Track Combine)。
  −トラックを分割した(Track Divide)。
  −トラックの開始位置を調節した(Track Adjust)。
- "Track Adjust"を実行した場合には、調節したトラックとその前のトラック両方のフェードアウト効果がなくなります。

## Track Title

トラックにタイトルをつけます。

**1. "Track Title"を選択すると(P.60)、以下のように表示されます。**

タイトルをつけるトラックが記録されているディスク

タイトルをつけるトラック

再生中にメニューを選択した場合、既に対象のトラックが確定されているため、手順2から5を行う必要はありません。手順6へ進んでください。

**2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンを押して)、タイトルをつけるトラックが記録されているディスクを選択します。**

**3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、ディスクを確定します。**
ディスクを確定すると、タイトルをつけるトラックの番号が点滅します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

**4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンを押して)、タイトルをつけるトラックを選択します。**

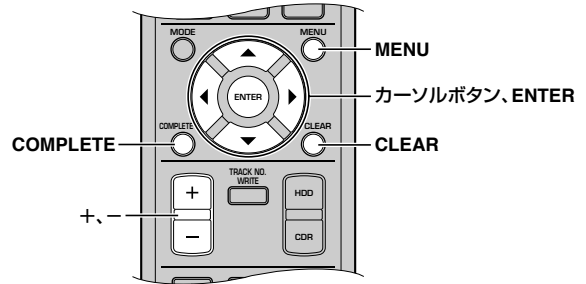
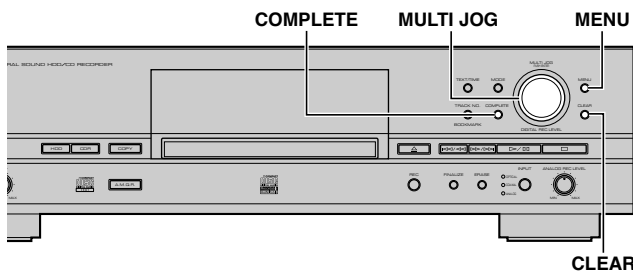
**5. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、トラックを確定します。**
ディスプレイには以下のように表示されます。

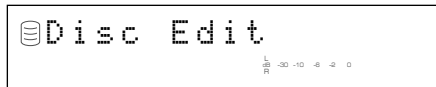
カーソルが点滅します。(確定したトラックにすでにタイトルがついている場合は、そのタイトルが表示されます。)

**6. MULTI JOGノブ、またはリモコンの英/数字ボタンなどを使って、タイトルを入力します。**
文字の入力方法については、「編集メニューでの文字入力」(P.53)をご参照ください。

**7. すべての入力が終了したら、COMPLETEボタンを押します。**
指定したトラックにタイトルがつきます。必要に応じて、TEXT/TIMEボタンを押してディスプレイの表示を切り替えてください(P.20)。
ディスプレイはメニュー選択画面に戻ります。(再生中に編集操作を行った場合は再生状態に戻ります。)

# ディスク編集メニューを選択する

HDDに記録したディスクのタイトル変更やデータの分割、複数ディスクの結合などを行うディスク編集メニューについて説明します。

**1.** **HDDが選択されている状態（P.16）で、MENUボタンを押します。**
ディスプレイに編集メニュー画面が表示されます。

**2.** **MULTI JOGノブを回して（リモコンでは＋、－ボタンまたは▲、▼ボタンを押して）、"Disc Edit"を選択します。**

**3.** **MULTI JOGノブ（リモコンではENTERボタン）を押します。**
ディスプレイにメニュー選択画面が表示されます。

**4.** **MULTI JOGノブを回して（リモコンでは＋、－ボタンまたは▲、▼ボタンを押して）編集メニューを選択し、MULTI JOGノブ（リモコンではENTERボタン）を押して確定します。**
編集メニューは以下のとおりです。
· Disc Rename（P.69）
· Disc Erase（P.69）
· Disc Combine（P.70）
· Disc Divide（P.70）
· Disc Pack*（P.71）
· Disc Title（P.71）

*Disc Packは、再生中に実行することができません。

**メモ**

· 編集の途中でMENUボタンを押すと、入力操作が無効となり、以下の状態に戻ります。
　－停止状態からメニューに入った場合は、メニュー選択画面に戻ります。
　－再生中にメニューに入った場合は、再生状態に戻ります。
· 編集の途中で□ボタンを押すと入力操作がすべて無効になり、停止状態に戻ります。

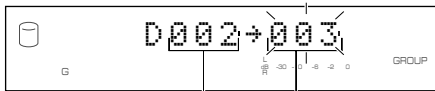
## Disc Rename

ディスクの番号をふりなおして、順番を変更します。

**1.** “Disc Rename”を選択すると(P.68)、以下のように表示されます。

再生中にメニューを選択した場合、既に対象のディスクが確定されているため、手順2、3を行う必要はありません。手順4へ進んでください。

**2.** MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンを押して)、移動するディスクを選択します。

**3.** MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、ディスクを確定します。
ディスプレイ表示が左スクロールし、移動するディスクの番号、移動先ディスクの番号が表示されます。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

**4.** MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンを押して)、移動先ディスクを選択します。

**5.** MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、移動先ディスクを確定します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

**6.** COMPLETEボタンを押します。
指定した移動先にディスクが移動されます。
ディスプレイはメニュー選択画面に戻ります。(再生中に編集操作を行った場合は再生状態に戻ります。)

メモ

- 追加先より後ろに位置するディスクの番号は、自動的に1つずつ後ろにずれます。(空き番号が途中にある場合はつめて整理されます)。
- 移動する前の番号は空き番号となります。

## Disc Erase

ディスクを消去します。

**1.** “Disc Erase”を選択すると(P.68)、以下のように表示されます。

再生中にメニューを選択した場合、既に対象のディスクが確定されているため、手順2、3を行う必要はありません。手順4へ進んでください。

**2.** MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンを押して)、消去するディスクを選択します。

**3.** MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、ディスクを確定します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

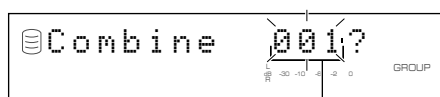
**4.** COMPLETEボタンを押します。
指定したディスクが消去されます。
ディスプレイはメニュー選択画面に戻ります。(再生中に編集操作を行った場合は再生状態に戻ります。)

メモ

消去したディスクの番号は空き番号となります。

## Disc Combine

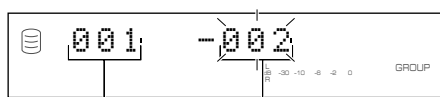
連続している複数のディスクを結合して1つのディスクを作成します。

**1. “Disc Combine”を選択すると(P.68)、以下のように表示されます。**

先頭部分となるディスク

再生中にメニューを選択した場合、既に対象のディスクが確定されているため、手順2、3を行う必要はありません。手順4へ進んでください。

**2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは＋、－ボタンを押して)、先頭部分となるディスクを選択します。**

**3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、ディスクを確定します。**

ディスプレイ表示が左スクロールし、先頭部分となるディスクの番号、末尾部分となるディスクの番号が表示されます。

先頭部分となるディスク　末尾部分となるディスク

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

**4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは＋、－ボタンを押して)、末尾部分となるディスクを選択します。**

**5. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、末尾部分となるディスクを確定します。**

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

**6. COMPLETEボタンを押します。**

指定した複数のディスクがひとつのディスクになります。ディスプレイはメニュー選択画面に戻ります。(再生中に編集操作を行った場合は再生状態に戻ります。)

**ご注意**

- ひとつのディスクに記録できるトラック数は最大99曲です。結合するディスクに記録されている合計トラック数が、これを超える場合、"Track No.Full"が表示されます。
- ひとつのディスクの最長時間は約179分59秒です。結合するディスクの合計時間が、これを超える場合、“No Enough Spc”が表示され結合できません。

**メモ**

- 先頭部分となるディスクに結合されたディスクが使用していた番号は空き番号となります。
- 結合されたディスクのタイトルは、先頭部分のディスクのタイトルがそのまま有効となります。

## Disc Divide

ひとつのディスクを指定した位置で分割して、ふたつのディスクにします。

**1. “Disc Divide”を選択すると(P.68)、以下のように表示されます。**

分割するディスク

再生中にメニューを選択した場合、既に対象のディスクが確定されているため、手順2、3を行う必要はありません。手順4へ進んでください。

**2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは＋、－ボタンを押して)、分割するディスクを選択します。**

**3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、ディスクを確定します。**

ディスプレイに"Div. from"の文字と、分割位置(分割後にディスクの先頭となるトラックの番号)が表示されます。

分割位置(分割後にディスクの先頭となるトラック

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

**4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは＋、－ボタンを押して)、分割位置を選択します。**

**5. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、分割位置を確定します。**

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

**6. COMPLETEボタンを押します。**

ディスクが、指定した分割位置にて分割されます。
ディスプレイはメニュー選択画面に戻ります。(再生中に編集操作を行った場合は再生状態に戻ります。)

**ご注意**

HDDに記録できるディスク数は最大999個です。すでにディスクが999個ある場合、"Disc No.Full"が表示され分割することはできません。

**メモ**

分割位置より後ろに位置するディスクの番号は、自動的に1つずつ後ろにずれます。(空き番号が途中にある場合はつめて整理されます)。

実行前

| 1 | 2 | 空き | 4 | 5 | 6 |
|---|---|---|---|---|---|

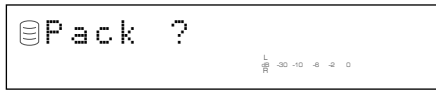
分割

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|---|---|---|---|---|---|

実行後(ディスク1を分割した場合)

## Disc Pack

ディスクナンバーのつけかえや、ディスクの移動や消去で生じた空き番号をつめてディスクを整理します。

**1. "Disc Pack"を選択すると(P.68)、以下のように表示されます。**

**2. COMPLETEボタンを押します。**
ディスクの空き番号が前につまって整理されます。
ディスプレイはメニュー選択画面に戻ります。

実行前

| 1 | 空き | 3 | 4 | 空き | 6 |
|---|---|---|---|---|---|

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|---|---|---|---|---|---|

実行後(空き番号がなくなる)

## Disc Title

ディスクにタイトルをつけます。

**1. "Disc Title"を選択すると(P.68)、以下のように表示されます。**

タイトルをつけるディスク

再生中にメニューを選択した場合、既に対象のディスクが確定されているため、手順2、3を行う必要はありません。手順4へ進んでください。

**2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは＋、－ボタンを押して)、タイトルをつけるディスクを選択します。**

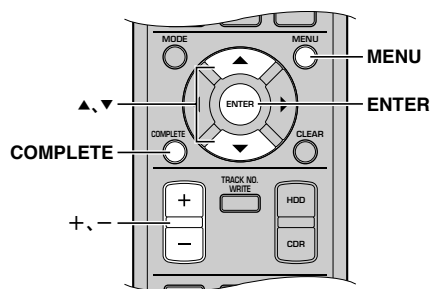
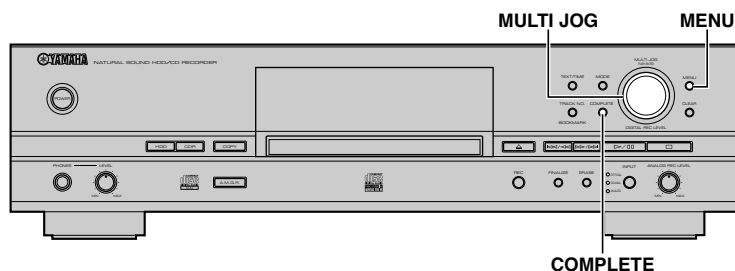
**3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、ディスクを確定します。**
ディスプレイには以下のように表示されます。

カーソルが点滅します。(確定したディスクにすでにタイトルがついている場合は、そのタイトルが表示されます。)

**4. MULTI JOGノブ、またはリモコンの英/数字ボタンなどを使って、タイトルを入力します。**
文字の入力方法については、「編集メニューでの文字入力」(P.53をご参照ください。

**5. すべての入力が終了したら、COMPLETEボタンを押します。**
指定したディスクにタイトルがつきます。必要に応じて、TEXT/TIMEボタンを押してディスプレイの表示を切り替えてください(P.20)。
ディスプレイはメニュー選択画面に戻ります。(再生中に編集操作を行った場合は再生状態に戻ります。)

# 直前の編集操作を取り消す(Undo)

Undo機能を使用すると、直前の編集操作を取り消すことができます。

**1. 再生を停止している状態で、MENUボタンを押します。**
ディスプレイに編集メニュー画面が表示されます。

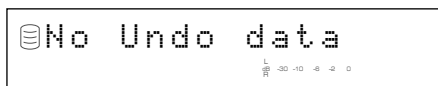
**2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンまたは▲、▼ボタンを押して)、"Undo"を選択します。**

**3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押すと、"Undo ?"と表示されます。**

**4. COMPLETEボタンを押します。**
直前の編集操作およびその結果が取り消されます。

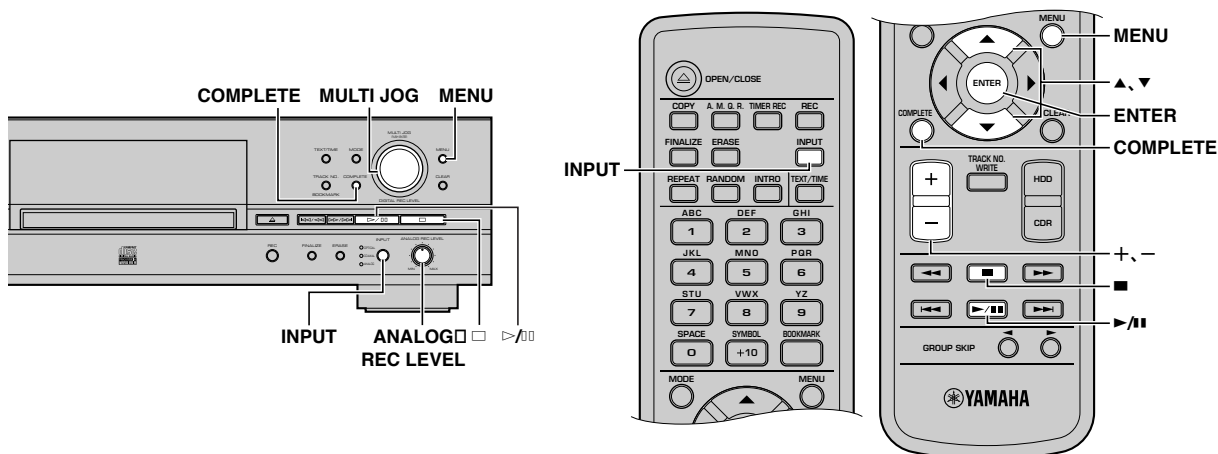
ただし、編集操作後に、以下の操作をしていた場合は、編集操作を取り消せません。

- 録音をした、または録音しようとして録音一時停止状態にした。
- コピーをした、またはコピーしようとしてコピー待機状態にした。
- 別の編集作業を行った。
- HDDをフォーマットした。

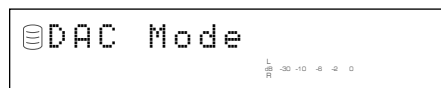
編集操作を取り消せない場合は、以下のように表示されたあと、メニュー選択画面に戻ります。

メモ

- アルバム編集の"Track Level"、"Tr. Interval"およびトラック編集の"Add Fade In"、"Add Fade Out"については、同メニューで初期設定に戻すことにより解除が可能なため、Undo機能の対象にはなりません。
- "Album Title"、"Track Title"、"Disc Title"についてはUndo機能の対象にはなりません。

# デジタル/アナログ信号を変換して出力する（DACモード）

本機にはデジタル/アナログ信号を変換する機能（DACモード）があります。DACモードを設定すると、入力ソース（本機の入力端子に接続した外部機器の音声信号）をデジタル端子（OPTICAL、COAXIAL）とアナログ端子（ANALOG）の両方から出力することができます。

**1. 停止状態でMENUボタンを押します。**
ディスプレイがメニュー項目選択の表示になります。

**2. MULTI JOGノブを回して（リモコンでは＋、−ボタンまたは▲、▼ボタンを押して）、"DAC Mode"を選択します。**

DAC Mode

**3. MULTI JOGノブ（リモコンではENTERボタン）を押して、DACモードに入ります。**

**4. INPUTボタンで入力ソースを選択する。**
選択した入力ソースのランプが点灯し、入力ソースがアナログ/デジタル両出力端子から出力されます。

メモ

- OPTICAL、COAXIALを選択しているときは、MULTI JOGノブがボリュームツマミとして機能します。
- ANALOGを選択しているときは、ANALOG REC LEVELツマミがボリュームツマミとして機能します。

**5. DACモードをオフにする場合は、以下のいずれかの操作を行います。**

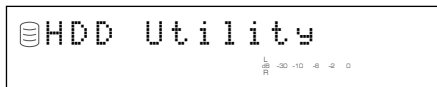
- 選択していたドライブの再生に戻るには、▷/▯▯ボタンを押します。
- 停止状態にするには、□ボタンまたはCOMPLETEボタンを押します。
- メニュー項目の選択に戻るには、MENUボタンを押します。

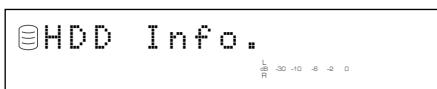
## ■ HDDの容量を確認する（HDD Info.）

本機にインストールしたHDDの容量（全容量、使用量、残容量）を確認することができます。

**1.** **停止状態でMENUボタンを押します。**
ディスプレイがメニュー項目選択の表示になります。

**2.** **MULTI JOGノブを回して（リモコンでは＋、－ボタンまたは▲、▼ボタンを押して）、"HDD Utility"を選択します。**

```
HDD Utility
```

**3.** **MULTI JOGノブ（リモコンではENTERボタン）を押すと、"HDD Info."と表示されます。**

```
HDD Info.
```

**4.** **もう一度MULTI JOGノブ（リモコンではENTERボタン）を押すと、HDDの全容量が表示されます。**
MULTI JOGノブを回すと（リモコンでは＋、－ボタンまたは▲、▼ボタンを押すと）、以下のように表示が変わります。容量は時間単位（h: 時、m:分）で表示されます。

**全容量（総時間）**

```
Total 250h 4m
```

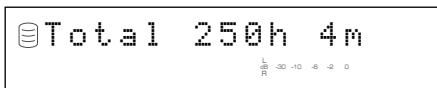
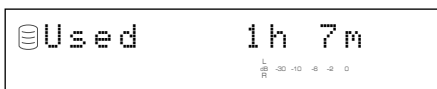
⬇

**使用量（既記録総時間）**

```
Used     1h 7m
```

⬇

**残容量（記録可能時間）**

```
Avail 248h56m
```

メモ
表示される時間は概算値になります。

**5.** **確認が終了したら、MENUボタンまたは□ボタンを押します。**
停止状態に戻ります。

## ■ HDDをフォーマットする（HDD Format）

本機に搭載のHDDをフォーマットし、初期状態に戻します。

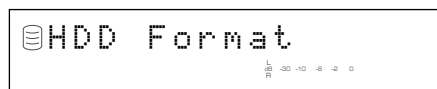
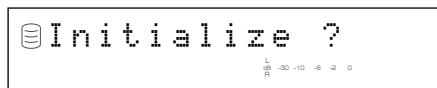
ご注意
- フォーマットすると、記録されていたすべての曲データおよび各設定が消去され、初期状態になります。
- 編集メニューの" Undo" (P.72)を実行しても、フォーマット前の状態に戻すことはできません。

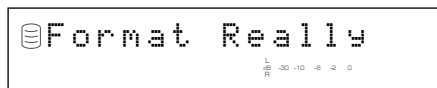
**1.** **「HDDの容量を確認する（HDD Info.）」（左記）の手順1から3を行います。**
ディスプレイがHDDユーティリティ項目選択の表示になります。

**2.** **MULTI JOGノブを回して（リモコンでは＋、－ボタンまたは▲、▼ボタンを押して）、"HDD Format"を選択します。**

```
HDD Format
```

**3.** **MULTI JOGノブ（リモコンではENTERボタン）を押すと、"Initialize ?"と表示されます。**

```
Initialize ?
```

**4.** **▷/❙❙ボタンを押すと、"Format Really"と表示されます。**

```
Format Really
```

フォーマットを行う場合は、INPUTボタンを、フォーマットをやめる場合は□ボタンを押してください。

**5.** **INPUTボタンを押すと、"Format OK"と表示され、その後電源を入れたときの状態に戻ります。**

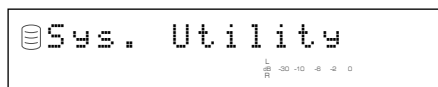
ご注意
新品のHDDを取り付けた場合は、上記手順とフォーマット方法が異なります。「新しいHDDのフォーマット」（P.11）をご参照ください。

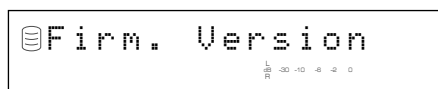
## ■ ファームウェアのバージョンを確認する(Firm. Version)

本機にはファームウェア(操作を制御するソフトウェア)が組み込まれています。以下の手順ではそのファームウェアのバージョンを確認します。

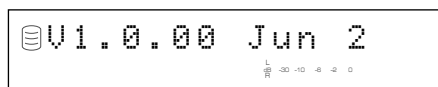
**1. 停止状態でMENUボタンを押します。**
ディスプレイがメニュー項目選択の表示になります。

**2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンまたは▲、▼ボタンを押して)、"Sys. Utility"を選択します。**

Sys. Utility

**3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押すと、"Firm. Version"と表示されます。**

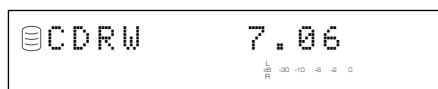
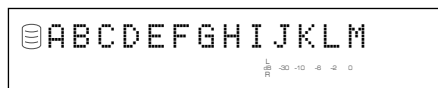
Firm. Version

**4. もう一度MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押すと、ファームウェアのバージョン情報がディスプレイに表示されます。**
MULTI JOGを回すと(リモコンでは+、−ボタンまたは▲、▼ボタンを押すと)、以下のように表示が変わります。

システムのファームウェアバージョン

⬇

CDRドライブのファームウェアバージョン

⬇

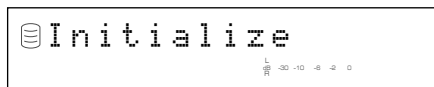
HDDの種類

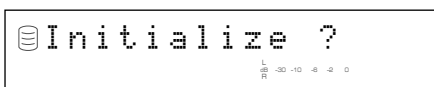
ABCDEFGHIJKLM

**5. 確認が終了したら、MENUボタンまたは□ボタンを押します。**
停止状態に戻ります。

## ■ 設定を初期値に戻す(Initialize)

各種メニュー等で、変更した設定値を初期状態に戻します。

**1. 「ファームウェアのバージョンを確認する(Firm. Version.)」(左記)の手順1から3を行います。**
ディスプレイがシステムユーティリティ項目選択の表示になります。

**2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンまたは▲、▼ボタンを押して)、"Initialize"を選択します。**

Initialize

**3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押すと、"Initialize ?"と表示されます。**

設定を初期状態に戻すのをやめる場合は□ボタンを押してください。

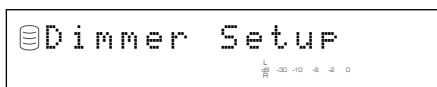
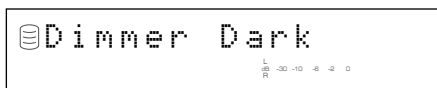
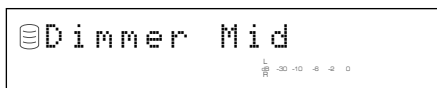
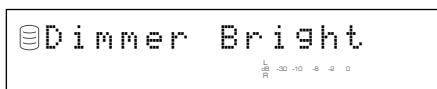
**4. COMPLETEボタンを押します。**
電源を入れたときの状態に戻り、各設定が初期状態に戻ります。

## ■ ディスプレイの明るさを設定する（Dimmer Setup）

ディスプレイの明るさを3段階で切り替えます。

**1.「ファームウェアのバージョンを確認する（Firm. Version.）」（P.75）の手順1から3を行います。**
ディスプレイがシステムユーティリティ項目選択の表示になります。

**2. MULTI JOGノブを回して（リモコンでは＋、－ボタンまたは▲、▼ボタンを押して）、"Dimmer Setup"を選択します。**

Dimmer Setup

**3. MULTI JOGノブ（リモコンではENTERボタン）を押すと、現在の設定が表示されます。**
MULTI JOGノブを回すと（リモコンでは＋、－ボタンまたは▲、▼ボタンを押すと）、表示と明るさが3段階で変わります。

メモ
初期設定は"Dimmer Bright"になっています。

**4. MULTI JOGノブ（リモコンではENTERボタン）を押すか、COMPLETEボタンを押します。**
ディスプレイの明るさが設定されます。

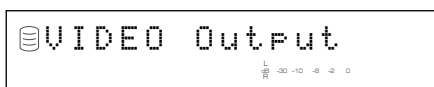
**5. 設定が終了したら、MENUボタンまたは□ボタンを押します。**
停止状態に戻ります。

## ■ ビデオ出力をオン/オフにする（VIDEO Output）

オンスクリーン表示の出力をオン/オフします。

**1.「ファームウェアのバージョンを確認する（Firm. Version.）」（P.75）の手順1から3を行います。**
ディスプレイがシステムユーティリティ項目選択の表示になります。

**2. MULTI JOGノブを回して（リモコンでは＋、－ボタンまたは▲、▼ボタンを押して）、"VIDEO Output"を選択します。**

VIDEO Output

**3. MULTI JOGノブ（リモコンではENTERボタン）を押すと、現在の設定が表示されます。**
MULTI JOGノブを回して（リモコンでは＋、－ボタンを押して）、オン/オフを切り替えます。

メモ
初期設定は"VIDEO On"になっています。

**4. MULTI JOGノブ（リモコンではENTERボタン）を押すか、COMPLETEボタンを押します。**
ビデオ出力のオン/オフが設定されます。

メモ
オンスクリーンディスプレイを使わない場合は“VIDEO Off”に設定しておくことをおすすめします。より高音質で、録音や再生を楽しむことができます。

**5. 設定が終了したら、MENUボタンまたは□ボタンを押します。**
停止状態に戻ります。

## ■ 電源オンで自動的に再生を開始する(Auto Play)

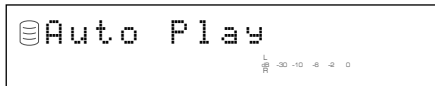
オートプレイを設定しておくと、本機の電源をオンにした際、自動的に再生が開始されます。市販のタイマーと組み合わせて使用することで、タイマー再生を行うことも可能です。

**1.** **「ファームウェアのバージョンを確認する(Firm. Version.)」(P.75)の手順1から3を行います。**
ディスプレイがシステムユーティリティ項目選択の表示になります。

**2.** **MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンまたは▲、▼ボタンを押して)、"Auto Play"を選択します。**

```
Auto Play
```

**3.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押すと、現在の設定が表示されます。**

```
Auto Play Off
```

MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、−ボタンまたは▲、▼ボタンを押して)、オン/オフを切り替えます。

メモ
初期設定は、"Auto Play Off"になっています。

**4.** **MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押すか、COMPLETEボタンを押します。**
オートプレイのオン/オフが設定されます。
オンに設定した場合は、次に電源を入れたときに適用されます。
- 電源を切ったときに、選択されていたドライブを再生します。
- 電源を切ったときに、ランダム再生やリピート再生が設定されていた場合、その設定が適用されます。

**5.** **タイマー再生を行う場合は、本機の電源コードを接続した外部タイマーの時間をセットします。**

メモ
"Auto Play On"に設定されていても、タイマー録音を設定してある場合は、タイマー録音(P.34)の設定が優先され、次に電源を入れたときは録音が始まります。

## ■ ファームウェアを更新する(Firm. Update)

将来の機能拡張に備えて準備されているメニューです。

# 故障かな？と思ったら

ご使用中に本機が正常に動作しなくなった場合は、下記の点をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や、対処しても正常に動作しない場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買上店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点にお問い合わせ、サービスをご依頼ください。

| 症状 | 原因 | 対応 |
|---|---|---|
| POWERスイッチを押しても電源が入らない。 | 電源プラグの差し込みが不完全。 | 電源プラグをコンセントにしっかり差し込み直してください(P.12)。 |
| CDを再生できない。 | レーザーピックアップのレンズが結露している。 | 電源を切り、約20〜30分経ってから、電源を入れ直して再生を始めてください(P.16)。 |
| | CDが裏がえしにセットされている。 | CDのレーベル面を上にして入れてください。 |
| | CDがひどく汚れている。 | クリーニングしてください(P.vii)。 |
| CDの再生が始まるのに時間がかかる。違った場所から再生が始まる。 | CDに傷がある、または壊れている。 | CDを確認してください。<br>CDを交換してください。 |
| 録音･コピーができない。 | CD-R/CD-RWがファイナライズされている。 | ファイナライズ前の録音可能なCD-R/CD-RWを入れてください(P.vi)。 |
| | すでに録音が完了しているCD-R/CD-RWを入れた。 | 録音可能なCD-R/CD-RWを入れてください(P.vi)。 |
| | INPUTボタンの位置が適切でない。 | INPUTボタンを入力信号に合った位置にしてください(P.33)。 |
| | デジタルコピーしたソースをデジタルで録音またはコピーしようとしている。 | 録音するにはアナログに切り替えてください(P.33)。 |
| | HDD上のディスクや、CD-R/CD-RWに録音可能な残り時間が足りない、またはすでに99曲録音されている。 | CD-R/CD-RWの場合は、録音可能なものと交換してください(P.vi)。HDDの場合は、他のディスクを選択してください(P.18)。 |
| | HDDの残量がなくなっている。 | 不要なものを消去して、HDD上にスペースを確保してください。 |
| | 録音･コピー中に電源コードがはずれたり、電源が切れて、録音したものが消失した。 | CD-Rの場合は、新しいディスクに交換してから、CD−RWの場合はディスクの先頭から録音し直してください。Digital Moveを行なっている間に消失したデータを再録音することはできません(P.45)。 |
| | CD-R/CD-RWが汚れている、または壊れている。 | CD-R/CD-RWをクリーニング、またはCD-R/CD-RWを交換してください(P.vii)。 |
| | HDDが取り付けられていない。 | HDDを正しく取り付けてください(P.10)。 |
| コピー時に振動や、大きな回転音がする。 | 本機はCD/CD-R/CD-RWを高速回転させて、コピーします。 | コピー速度を落として、コピーしてください。 |
| HDD上のひとつのディスクまたはトラックに180分以上の連続録音ができない。 | ひとつのディスクまたはトラックの最大録音時間は179分59秒です。 | 録音モードにかかわらず、録音時間が179分59秒を超えると、自動的に次の空いているディスクに連続して録音します。 |
| デジタル接続したアンプで曲の始まりの部分が途切れる。 | エンファシスの異なったソースを録音したトラックを再生している。 | 本機のアナログ出力端子を使用してアンプに接続してください(P.12)。 |
| ディスクが切り替わる際に、音が途切れる。 | ディスクをまたいで録音した部分を再生中、ディスプレイがタイトル表示になっている。 | TEXT/TIMEボタンを押して、時間表示に切り替えてください(P.20)。 |
| 録音したCD-R/CD-RWが、本機以外のCDプレーヤーやDVDプレーヤーで再生できない。 | お使いのCDプレーヤーやDVDプレーヤーがCD-R/CD-RWに対応していない。 | CD-R/CD-RWに対応しているCDプレーヤーやDVDプレーヤーをご使用ください。 |
| | CD-R/CD-RWがファイナライズされていない。 | CD-R/CD-RWをファイナライズしてください(P.49)。 |
| 音飛びがする。 | 本機またはソース側の機器が振動やショックを受けている。 | 設置場所を変えてください。<br>(何らかの振動やショックによって、すでにソース自体が正しく録音されていない場合を除く。) |
| | CDがひどく汚れている。 | クリーニングしてください(P.vii)。 |
| ブーンというハム音がする。 | 正しく接続されていない。 | ステレオピンケーブルをしっかり接続してください(P.12)。<br>ステレオピンケーブルを交換してください。 |
| 正常に動作しない。 | 内部マイコンの動作が停止している。 | 電源を切り、1分以上経ってから、電源を入れ直してください(P.16)。 |
| ファンの音がする。 | 本機内部の温度が上昇している。 | 本機内部の温度が上昇すると、冷却用のファンが回転します。故障ではありません。 |

| 症状 | 原因 | 対応 |
|---|---|---|
| アナログレコードを録音し、トラックを編集したところ、トラックの変わり目でノイズが発生する。 | アナログレコードが持っているワウフラッター等で、非常に低い周波数成分がノイズとなっている。 | 短いフェードイン、またはフェードアウトをトラックに付加することで、改善することができます(P.66)。 |
| リモコンで操作できない。 | リモコンの乾電池が消耗している。 | 2本とも新しい乾電池に交換してください(P.13)。 |
| | 本機から遠いところでリモコン操作している。<br>受光部に向けてリモコン操作していない。 | リモコン受光部から6m、60度の範囲内でリモコン操作してください(P.13)。 |
| | 受光部に強い日光や照明(インバータ蛍光灯など)が当たっている。 | リモコン受光部に強い光が当たらないように本機の設置場所や方向、または照明の位置を工夫してください。 |
| リモコンを使うとテレビが正常に機能しない。 | リモコン受光部の付いているテレビの近くでリモコンを使用している。 | 本機をテレビから離れた場所に設置してください。<br>テレビのリモコン受光部を隠してください。 |
| テレビの画像が乱れる。 | 室内アンテナを使用している。 | 屋外アンテナを使用するか、テレビと離して設置してください。 |
| HDDが選択できない。 | HDDが正しく取り付けられていない。 | HDDを正しく取り付けてください(P.10)。 |
| | 新しく取り付けたHDDが、本機でフォーマットされていない。 | 本機でフォーマットしてください(P.11)。 |
| "Drive Check"と表示される。 | HDDが正しくスレーブに設定されていない。 | HDDに記載されている設定方法を参照して、スレーブに設定してください(P.10)。 |

# ディスプレイの表示メッセージ一覧

### Can't Copy
SCMSの規定により、デジタルによる録音またはコピーが禁止される場合に約3秒間表示されます。
詳しくは「デジタル録音のルールとシステム」(P.84)をご参照ください。

### Can't Edit
トラックやディスクを編集する際、システムの制約上、編集ができない項目を選択した場合に表示されます。

### Can't Tr. Lev.
トラックのレベルが調節されているアルバムを、AudioMASTER™でCD-Rにコピーしようとした際に表示されます。

### Can't use HDD
搭載されているHDDが、本機以外の機器でフォーマットされたものである場合に表示されます。そのHDDを使用するCDR-HD1500を使って、「HDDをフォーマットする(HDD Format)」(P.74)にしたがい、フォーマットをしてください。

### Change Discs!
CDのDuplicate時、CDからHDDへのコピーのステップが終了すると、録音用CD-R/CD-RWへの交換を促すため、このメッセージが表示されます。

### Check Disc
CDを裏返しに入れたり、入れたCDに著しい傷があり正常に読み出せない場合や、動作中に何らかのエラーがあった場合に表示されます。CDを確認のうえ、必要に応じて交換してください。

### Data Track
データが記録されているトラックを再生しようとした際に表示されます。

### Disc Full
CD-R/CD-RWで、すでに録音可能時間いっぱいまで録音されていて、これ以上録音できない場合に表示されます。

### Disc No.Full
HDDに記録できる最大ディスク数は999なので、これを超えてディスクを作ろうとした際に表示されます。

### Drive Check
HDDまたはCDドライブになんらかの異常がある場合に表示されます。またはHDDの設定が正しくスレーブになっていない場合に、しばらく「Wait」が表示されたあと、表示されます。P.10を参照のうえ、正しくHDDを取り付けてください。

### Erasing
CD-RWの各種消去中に表示されます。進行状況の目安がレベルメーター上に表示されます。

### Finalize OK?
CD-R/CD-RWをファイナライズする時に、確認のため表示されます。ファイナライズする場合は▷/▯▯ボタンを押してください。

### Finalizing
ファイナライズ中に点滅表示されます。進行状況の目安がレベルメーター上に表示されます。

### Format Really
HDDをフォーマットする時に、"Initialize ?"と表示された後、再確認のため表示されます。

### HDD Full
HDDで、すでにHDDの録音可能時間いっぱいまで録音されていて、これ以上録音できない場合に表示されます。

### Initialize ?
HDDのフォーマットをする時や、各設定を初期設定に戻す時に、確認のため表示されます。

### Invalid Mode
タイマー録音の設定時に選択できない録音モードを選択している場合に表示されます。

### New Disc
新品のCD-R/CD-RWを本機に入れたときや、ディスク消去、全曲消去したCD-RWを本機に入れたときに表示されます。

### No Data
HDD上に録音されている曲(データ)が全くない場合に表示されます。

### No Disc
ディスクトレイにCDが入っていない場合に表示されます。

### No Enough Spc
コピーする際、コピー先の容量が不足したり、コピーするとトラックナンバーがいっぱいになる場合に表示されます。

### No Input
デジタル入力端子に接続した外部機器から録音する際に、入力信号がない場合に表示されます。

### No Previous
アルバム編集メニューの"Tr. Interval"や、トラック編集メニューの"Track Adjust"を行う際、編集しようとするトラックのひとつ前のトラックが見当たらない場合に表示されます。

### No Source
コピーする際に、コピー元に何も録音されていない場合に表示されます。

### Not Audio
オーディオ用ではない、PC用などのCD-R/CD-RWを本機に入れ、録音しようとした際に表示されます。

### No Undo data
編集操作の取り消しができない場合に表示されます。

### OPC Adjust
CD-R/CD-RWの記録面の反射に対して、本機のレーザーの強さを調節している間、表示されます。調節には通常約10秒かかりますが、種類によってはこの時間が長くなる場合があります。

### Pack Before !
トラックやディスクを編集する際、Packを行わないと編集ができない項目を選択した場合に表示されます。

### Reading
トレイの中に入れたCD/CD-R/CD-RWの情報を読み取る間、表示されます。読み取りには通常約10〜20秒かかりますが、種類によってはこの時間が長くなる場合があります。

### Standby
CD-R/CD-RWに録音する際、RECボタンを押すとしばらくの間点滅します。

### Timer Standby
タイマー録音の設定が完了すると表示されます。また、タイマー録音の開始前に、約5秒間点滅します。

### Track No.Full
ひとつのディスクに記録できる最大トラック数は99なので、これを超えてトラックを作ろうとした際に表示されます。

### Unavailable
AudioMASTER™でコピーする際に、74分または79分以外のCD-Rや4倍速の書き込みに対応していないCD-Rを本機に入れた場合、あるいはCD-RWを本機に入れた場合に表示されます。

### Unrecordable
録音可能でないCD-R/CD-RWにコピーまたは録音しようとした場合、あるいは容量いっぱいの状態のHDDにコピーまたは録音しようとした場合に表示されます。

### Wait
CD-R/CD-RWに録音する際、□ボタンを押して停止すると、ディスク情報をPMA（Program Memory Area）に書き込みます。書き込みの間、この表示が点滅します。またはHDD上のデータを処理している間や起動時にHDDの検出に時間がかかる場合、この表示が点滅します。

# 用語解説

ここでは本書で使用している主な用語について説明します。

### アルバム
本機で再生や録音する際に使用する単位(グループ)の１つです。詳しくは「HDD操作時のグループ/トラック」(P.18)をご参照ください。

### SCMS
「Serial Copy Management System(シリアルコピーマネージメントシステム)」の略で、違法コピーを防止するために、JASRAC(日本音楽著作権協会)によって制定されたデジタル音声データのコピー制限システムです。SCMSでは、デジタル信号のコピーを第１世代までに限定しています(コピーしたデータをさらにコピーすることはできません)。

### エンファシス
CDなど主にデジタル音声で使用されている音質向上のための記録方式の１つです。音声を記録する前にあらかじめ高音域の音量を上げ、再生時に高音域のレベルを下げます。これにより、高域のノイズを低減します。

### AudioMASTER™ (A.M.Q.R.)
CDのオリジナル音質並みの高音質音楽CD作成を実現する高音質記録モードです。再生時の音質低下の原因となるジッタ値を最小限に抑えることで、原音に忠実でクリアなサウンドを実現します。

### グループ
本機で再生や録音する際に使用する単位の１つで、アルバム、ディスク、ブックマークの総称です。グループは複数のトラック(曲)より構成されます。詳しくは「HDD操作時のグループ/トラック」(P.18)または「CDRドライブ操作時のグループ/トラック」(P.19)をご参照ください。

### CD TEXT
アルバムやトラックのタイトルなどCDに記録されている文字情報のことです。この情報を読み出すには、CD TEXTに対応したプレイヤーやCD-ROMドライブが必要になります。

### ディスク
本機で再生や録音する際に使用する単位(グループ)の１つです。詳しくは「HDD操作時のグループ/トラック」(P.18)または「CDRドライブ操作時のグループ/トラック」(P.19)をご参照ください。

### TOC
「Table of Contents(テーブルオブコンテンツ)」の略で、ディスクのインデックス(目次情報)のことです。TOCはファイナライズ処理によりディスクに書き込まれ、これにより再生機器はディスクに記録されているトラック(曲)データを判別します。

### デジタルムーブ
「HDDのデータをCD-R/Rディスクへ移動する」という概念で、CD-R/RWディスクへ一度デジタルムーブしたデータはHDDから削除されます。これを利用することにより、(第1世代コピーとして扱われるため)CDからHDD、HDDからCD-R/RWディスクという一連のデジタルコピーが可能となります。なお、HDDに録音されたデータを一度に複数のCD-R/RWディスクにコピーすることはできません。

### トラック
曲のことを意味しており、本機で再生や録音する際に使用する最小単位です。詳しくは「HDD操作時のグループ/トラック」(P.18)または「CDRドライブ操作時のグループ/トラック」(P.19)をご参照ください。

### トラックマーク
トラック(曲)の頭についているマークのことで、再生機器はこのマークをもとに各トラックのスタート位置を判別します。これにより各トラックのサーチやイントロ再生などが可能になります。本機ではこのトラックマークを自動および手動で付加することができます。

### ファイナライズ
CD-RやCD-RWディスクに録音した音声を他のCDプレイヤーやCD-RW対応プレイヤーなどで再生するために行う処理のことです。本機で作成したディスクを他の機器で再生するには、必ずファイナライズ処理を行う必要があります。

### ブックマーク
お好みのトラック(曲)を集めたリストのことです。本機ではアルバムと同様に、ブックマークを使って再生や録音することができます。またブックマークからアルバムを作成することも可能です。詳しくは「HDD操作時のグループ/トラック」(P.18)または「CDRドライブ操作時のグループ/トラック」(P.19)をご参照ください。

# 本機のメニュー一覧

本機のメニューでは、以下の機能を操作することできます。目的に応じて、ご使用ください。

| メニュー | | 内容 | ページ |
|---|---|---|---|
| Album Edit* | Album New | HDDのアルバムを編集します。各メニューについて詳しくは、「編集メニュー一覧」(P.52)または「アルバム編集メニューを選択する」(P.54–59)をご参照ください。 | 54–59 |
| | Edit Stored | | |
| | Album Copy | | |
| | Album Rename | | |
| | Album Delete | | |
| | Album Pack | | |
| | Album Title | | |
| | Track Shuffle | | |
| | Track Level | | |
| | Tr. Interval | | |
| Track Edit* | Track Rename | HDDのトラックを編集します。各メニューについて詳しくは、「編集メニュー一覧」(P.52)または「トラック編集メニューを選択する」(P.60–67)をご参照ください。 | 60–67 |
| | Track Adjust | | |
| | Track Erase | | |
| | Part Erase | | |
| | Track Combine | | |
| | Track Divide | | |
| | Track Pack | | |
| | Add Fade In | | |
| | Add Fade Out | | |
| | Track Title | | |
| Disc Edit* | Disc Rename | HDDのディスクを編集します。各メニューについて詳しくは、「編集メニュー一覧」(P.52)または「ディスク編集メニューを選択する」(P.68–71)をご参照ください。 | 68–71 |
| | Disc Erase | | |
| | Disc Combine | | |
| | Disc Divide | | |
| | Disc Pack | | |
| | Disc Title | | |
| Undo | | 編集操作を取り消します。 | 72 |
| HDD Utility | HDD Info. | HDDの容量を表示します。 | 74 |
| | HDD Format | HDDをフォーマットします。 | 74 |
| Sys. Utility | Firm. Version | 使用しているファームウェアのバージョンを表示します。 | 75 |
| | Initialize | 各種メニュー等で変更した設定値を初期状態に戻します。 | 75 |
| | Dimmer Setup | ディスプレイの明るさを調節します。 | 76 |
| | VIDEO Output | オンスクリーン表示の出力をオン/オフします。 | 76 |
| | Auto Play | 電源オンで自動的に再生を開始します。 | 77 |
| | Firm. Update | ファームウェアを更新します。 | 77 |
| Synchro Setup | OPT TH Level | シンクロ録音時の曲間の検出条件を設定します。各メニューについて詳しくは、「シンクロ録音時の条件を設定する」(P.38)をご参照ください。 | 38 |
| | COAX TH Level | | |
| | ANLG TH Level | | |
| | Int. Time | | |
| | End Duration | | |
| DAC Mode | | デジタル/アナログ信号を変換する。 | 73 |

※ 編集メニューの"Album Edit"、"Track Edit"、"Disc Edit"は、HDDを選択している時のみ表示されます。

## ■ デジタル録音のルール

### SCMS（Serial Copy Management System）ついて

本機は、シリアルコピーマネージメントシステムの規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。
「シリアルコピーマネージメントシステム」は、各種デジタルオーディオ機器の間で、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」するというデジタル信号同士のコピーを「1世代まで」と規制したものです。
デジタル入力で録音した音源は、それを用いて次のデジタル録音をすることができません。
これには、次の2つの原則があります。

**原則1**
CDなど市販のデジタル音源は、本機へデジタルコピー（第1世代のコピー）ができます。ただし、それを用いて、さらにデジタルコピーすることはできません。

**原則2**
本機のアナログ入力を経由して録音した音源は、それから次のデジタルコピー（第1世代のコピー）ができます。ただし、それを用いて、さらにデジタルコピーすることはできません。

本機では、デジタル録音の際に、常にこのSCMSのステータスをトラックごとに監視しています。デジタル録音やコピーが禁止されているトラックは、それを用いてのデジタル録音やコピーができません。
なお、アナログ入出力を経由してのアナログ録音やコピーには、この規制は適用されません。

本機でCDからHDD、またはHDDからCD-RまたはCD-RWへコピーする際は、"Copy Method"により、以下の選択ができます。

· Auto Dig/Anlg:
トラックごとにSCMSを判定し、デジタルコピーができない場合には、自動的にアナログコピーに切り替えます。
· Digital Copy:
デジタルコピーが可能なトラックのみコピーします。
· Digital Move:
HDDからCD-RまたはCD-RWへコピーする場合、Digital Copyでデジタルコピーが不可能なトラックもコピーすることができます(次項参照)。
· Analog Copy:
SCMSにかかわらず、アナログでコピーします。

### Digital Move（デジタルムーブ）について

本機には、長時間の録音が可能な大容量のHDDが内蔵されています。いちどHDDに録音されたさまざまな音源をあとで編集して、CD-RまたはCD-RWにコピーすることにより、本機一台でオリジナルCDを作成できます。
HDD上で作成されたマスターをCD-RまたはCD-RWにデジタルのままコピーしたい場合、Digital Moveという機能を使用すると、SCMSで次のデジタルコピーが禁止されているトラックについて、デジタルのままHDDからCD-RまたはCD-RWへコピーすることができます。
ただし、データをHDDからCD-RまたはCD-RWへ移動させるという概念であるため、HDD上の元データは、その時点で消去されます。

## ■ 本機のシステム

### 録音できるディスクやトラックの数／長さ

· ひとつのディスクに録音できるトラック数(曲数)は最大99曲です。
· すでに99曲が録音されている場合は、たとえ録音時間が余っていても、そのディスクには録音できません。
· トラックの最短時間は4秒です。4秒以内に録音を停止すると、4秒になるまで録音し停止します。また、最長時間は179分59秒です（HDDの場合）。
· 本機のHDDには、最大99曲が記録されたディスクを999個まで記録することが可能ですが、実際にはHDDの容量（総録音可能時間）により、記録できるディスク数は制限されます。
· HDD上のひとつのディスクの最長時間は179分59秒ですが、各トラックはフレーム単位（75フレーム=1秒）で管理されているため、トラックおよびディスクの最長時間は179分59秒から増減することがあります。
· CD-RまたはCD-RWに録音する際には、1トラック目の冒頭に自動的に2秒間の無音部分が付加されます。したがって、CD-RまたはCD-RWの録音可能総時間は2秒短くなります。

### サンプリング周波数の変換について

· 本機のデジタル入力は、32kHz、44.1kHz、48kHz、96kHzのサンプリング周波数に対応しています。これらの入力は本機内部ですべてサンプリング周波数44.1kHz、16bitのデジタル信号に変換されて、HDDまたはCD-R、CD-RWに記録されます。
· アナログ入力も同様のデジタル信号に変換されて記録されます。
· 本機のデジタル出力は、サンプリング周波数44.1kHz、16bitのデジタル信号を出力します。

### オーディオ以外の信号について

· 本機はオーディオ信号専用の録音機として設計されています。入力されたデジタル信号がオーディオ信号の場合に限り、録音可能です。
· CD TEXTが記録されているCDをHDDへコピーした場合、CD TEXTは、コピー禁止でなければ、自動的にコピーされます。外部CDプレーヤーから録音した場合には、いかなる場合でもCD TEXTはコピーされません。CD TEXTをコピーする場合には、内蔵ドライブを使用してください。
· CDグラフィックのように、デジタル信号にグラフィックデータが記録されている場合には、オーディオ信号以外のデータは記録されません。
· CD-ROM、DVDなどのオーディオ信号以外のデータを記録することはできません。

### データ処理について

· データ処理のため、実際の曲のデータ以外に、少量のHDD容量を消費する場合があります。
· 本機のHDDには、最大999個のアルバムを記録できますが、アルバムを大量に記録した場合、編集する際の、データ処理速度が若干遅くなる場合があります。

# 本機の主な仕様

## オーディオ部

周波数特性 .................................. 5～20,000 Hz、±0.5 dB

S/N比（JEITA）
- 再生 ........................................ 105 dB
- 録音 ........................................ 92 dB

高周波歪率（1 kHz）
- 再生 ........................................ 0.004 %
- 録音 ........................................ 0.006 %

ダイナミックレンジ
- 再生 ........................................ 99 dB
- 録音 ........................................ 92 dB

## 入力端子

アナログ入力（REC）端子
- 形状 ........................................ ピンジャック
- 標準入力レベル .............................. 500 mV/24 kΩ

デジタル入力（OPTICAL）端子
- 形状 ........................................ 光端子

デジタル入力（COAXIAL）端子
- 形状 ........................................ 同軸
- 標準入力レベル .............................. 0.5 Vp-p（75 Ω）

## 出力端子

アナログ出力（PLAY）端子
- 形状 ........................................ ピンジャック
- 標準出力レベル（1 kHz、0 dB） .............. 2.0 ± 0.5 Vrms

デジタル出力（OPTICAL）端子
- 形状 ........................................ 光端子

デジタル出力（COAXIAL）端子
- 形状 ........................................ 同軸
- 標準出力レベル .............................. 0.5 Vp-p（75 Ω）

PHONES端子
- 標準出力レベル（150 Ω、−20 dB）
  ................................................ 300 mV/150 Ω

## 一般

電源 .......................................... AC 100V、50/60 Hz

消費電力 ...................................... 32 W

動作環境
- 温度 ........................................ ＋5～35℃
- 湿度 ........................................ 30～90 %RH（結露ないこと）

外形寸法（幅×高さ×奥行き） ... 435×115.5×414.5 mm

質量 .......................................... 8.2 kg（HDD含まず）

仕様および外観は改良のため変更することがあります。

**音楽を楽しむエチケット**

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

# ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただくためのものです。
サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

## ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

### ■ ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ

お客様から寄せられるよくあるご質問をまとめておりますので、ご参考にしてください。

http://www.yamaha.co.jp/audio/

### ■ お客様ご相談センター

ナビダイヤル（全国共通） 0570-01-1808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHSからは下記番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

FAX (053) 460-3459
〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1

受付日：月～土曜日（祝日およびセンターの休業日を除く）
受付時間：10:00～12:00、13:00～18:00

## ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

### ■ ヤマハ電気音響製品修理受付センター

ナビダイヤル（全国共通） 0570-01-2808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

FAX (053) 463-1127

受付日：月～土曜日（祝日およびセンターの休業日を除く）
受付時間：月～金曜日 9:00～19:00　土曜日 9:00～17:30

**修理お持ち込み窓口**
受付日：月～金曜日（祝日および弊社の休業日を除く）
受付時間：9:00～17:45

**北海道** 〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50
ヤマハセンター内
FAX (011)512-6109

**首都圏** 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03)5762-2125

**浜松** 〒435-0016 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内
FAX (053)462-9244

**名古屋** 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2丁目1-2
ヤマハ(株)名古屋倉庫3F
FAX (052)652-0043

**大阪** 〒564-0052 吹田市広芝町10-28
オーク江坂ビルディング2F
FAX (06)6330-5535

**九州** 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4
FAX (092)472-2137

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

### ● 保証期間
お買い上げ日から1年間です。

### ● 保証期間中の修理
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

### ● 保証期間が過ぎているとき
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

### ● 修理料金の仕組み
**技術料**　故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
**部品代**　修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
**出張料**　製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

### ● 補修用性能部品の最低保有期間
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ● 製品の状態は詳しく
サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

### ● スピーカーの修理
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

### ● 摩耗部品の交換について
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。
本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。
摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品修理受付センターへご相談ください。

**摩耗部品の一例**
ボリュームコントロール、スイッチ･リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

### 永年ご使用の製品の点検を！

愛情点検

こんな症状はありませんか?

- 電源コード･プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常･故障がある。

**すぐに使用を中止してください。**

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、
必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検･修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社
〒430-8650　浜松市中沢町10-1